夕刊 滿洲日報 五月十五日

歸德蘭封を中心に近く兩軍主力戰
今日迄の前哨戰は北軍振はず 大勢は南軍側に勝味

【上海特電十四日發】最近數日來河北、山東省境地方から隴海沿線および河南、安徽省境地方にかけて屢々繰返された前哨戰を切つかけとして西北軍は十日

總攻擊令 を下して攻勢に出ると同時に中央軍もまた十日より十三日にかけて全線に攻擊命令を下すに至り兩軍は既に完全に戰鬪狀態に入ると共に兩軍の主力戰は目前に迫るに至つた、昨日來當地に達したる情報を綜合するに、十二日中央軍の楊虎城治部は亳州を占領し同地に在つた孫殿英軍の一部を捕虜とし孫軍の大部分は河南省内に向つて退却したことは確なる模樣である、又南京側では隴海線上の中央軍は既に歸德に入つたと發表したが同地は尚北軍の手に在ることは確である、斯くて北軍は今日までの

前哨戰に おいて形勢面白からざるものあるも大體において何等の影響も與へて居らずこれを動機として前線部隊武力を充實せしめると共に歸德蘭封方面に向つて續々主力を集中しつゝある、以上の形勢より見て兩軍は近く歸德蘭封地方を中心として大衝突を開始するものと觀られるが今日迄の小衝突によつて中央軍は積極的であるに反し北軍は第一線には例の

雜色軍多 く戰爭に對しては絶えず消極的に出でゝゐることが明かに看取される、これ等雜色軍の態度によつて北方主力軍が出鼻を折られる事もあらばこれが今次の戰ひにおいて北軍を敗退せしめる第一歩になりはせぬかと觀られる、要するに今日の狀態にして推移せば北軍には勝味少く陳調元、馬鴻逵等の寢返り其他豫想外の變化を見ざる限り中央軍を破ることは不可能であらうと觀測さる

于學忠氏赴奉

【山海關特電十五日發】奉天派の時局軍務會議に當地の于學忠氏も赴奉するが東北の時局に對する立場は此會議にて決定すると

劉氏蔣派に加擔
山西軍襲擊作戰 大沽方面より上陸し

【天津特電十四日發】芝罘の劉珍年氏は蔣介石氏の命令で十四日徐州に入つたが、蔣氏は氏を第十七軍長に任命し何事か軍命を授けてゐる、一時同軍が反蔣派に加擔したと傳へられたが今や態度を明白にした譯である、劉珍年氏は或は民船を徵發し長江艦隊掩護の下に大沽方面に上陸して山西軍の後方を襲擊するのではないかと噂されてゐる、因みに大沽の敵前上陸は河南における北軍不利の時奉天軍の動きと共にその行動注目を惹いて曾て張宗昌軍(畢庶澄氏)が斷行し失敗したことがある【寫眞は劉氏】

次の海軍會議は多分華府で開く
【齋藤外務省情報課長曰く】

【ハルビン特電十五日發】齋藤外務省情報課長は軍縮會議の後始末をして來哈、軍令部と財部問題につき語る

全權は政治的に調印したので海相としては不滿もあらうが大局からいへば軍人ばかりの主張では行かない、次期三十五年の會議は多分ワシントンだらう

分は來る八月頃樺太を、また十月頃臺灣を巡視したいと思つてゐる

拓務省では同省新設と同時に樺太南洋兩出張所をその翼下内に收めたが、其他の朝鮮、臺灣、關東廳などの出張所は從前通り離れた處に在り植民地事務の統一上不便勘くないので經費十萬圓、敷坪一千百坪の假舍屋建築の豫算を立てたが五年度には遂に實現の運びに至らなかつたので更にこれを六年度豫算に計上し次の通常議會の協贊を求むることに方針決定した

支那政府の郵稅引上
一般に重大影響

【上海十四日發電】支那國際郵便及び郵便爲替が銀價暴落に依り莫大の損失を招きつゝある現狀に鑑み交通部は郵政料金三分の一引上げ方決議し既に國民政府に申請中で正式決定を待ち直に實行せんとしてゐるが實行の曉には一般に多大の影響を與へるものとして注目されてゐる

天津封鎖命令拒絶
陳司令張學良氏に打電

【北平十四日發電】東北艦隊司令陳鴻烈氏は昨日張學良氏に對し國民政府は本艦隊を天津港封鎖に當らしむと傳へらるも斯かる命には服し得ぬと打電した

武器多量を南軍に供給

【奉天十四日發電】南京政府では過般王某を奉天に派遣して又武器彈藥の讓渡を交涉中であつたが愈々戰爭が始まつたので益々その必要を痛感せる結果十三日蔣介石氏より張學良氏に電報を以て至急讓渡方督促して來た、仄聞する處によればこの求めに應じ早速多量の武器を搬出して中央擁護の態度を明に示す事になつたと

外地の新規事業悉く協贊を得た
松田拓相得意に語る

【東京特電十四日發】松田拓相は十四日首相の貴衆兩院議員及び政府委員招待會散會後記者を引見し元氣で左の如く語つた

特別議會もいろ／＼議論は紛糾したが先づ無事に終了した、解散後の議會は何時もあんなもので總選擧當時の敵愾心がまだ去らぬ上に新らしく議席を占めた人が多いので自然

元氣潑剌 として院内の空氣も兎角荒つぽくなるのが常だ何れ通常議會までには與黨は勿論、野黨の幹部も充分考慮してあんな馬鹿々々しい混亂を惹き起すことなく、お互に眞面目に國事を議することになるだらうしかし短期の議會にしては政府も相當良い成績を擧げることが出來た、拓務省關係について見るも關東州の警察力の充實、外務管理、臺灣の阿片吸煙者救濟其他樺太、南洋などにおける各種の

新規事業 を追加豫算に計上、協贊を得たのは幸甚である衆議院は勿論絕對多數の與黨の支持があるから問題ないが貴族院においても先づ無事に議案の通過を見たのは何んといつても現内閣が總選擧で新らしい二百七十餘名の與黨を贏ち得た實力を認めた證據である、この模樣では内外の災禍が起らぬ限り現内閣も當分大丈夫であらう、議會も濟み政局も安定したから自

兩院議員光榮に感激
慰勞の午餐下賜

【東京十五日發電】畏き邊では貴衆兩院議員御慰勞の御思召を以て十五日正午德川、藤澤兩院議長以下各議員七百餘名並に濱口首相以下各閣僚、政府委員等を宮中に召され正殿において一木宮相、鈴木侍從長、奈良武官長以下侍立の下に一同に列立拜謁仰付られ更に豐明殿において午餐を賜はつた、宮内省側より一木宮相以下接待の任に當り一同光榮に感激して午後一時過ぎ退出した

農村經營の講演を御聽取

【東京十五日發電】天皇陛下には農村振興につき常に御留意遊ばされてゐるが、十五日午後二時より御茶の會を催させられ元代議士山崎延吉翁を御學問所に召され農村經營につき特別講演を御聽取遊ばされ種々御下問あり終つて有り難き御慰勞の御言葉を賜ひ別殿において茶菓を賜つたが牧野内府、一木宮相、鈴木侍從長以下側近奉仕者にも御陪聽を許させられた

東鐵電信權交涉
支那側が主權論强調

【ハルビン特電十四日發】東鐵の電信權會議は支那側委員より五ケ條に亘る案をロシヤ側代表に提示し、交涉を開始することになつたが、第四項の支那領國境外沿線電報及びモスクワ方面への打電については一切支那側は檢閱を行ふと主權論を主張してゐる、然しロシヤ側としては第四項支那側が飽くまで主張するのならば會議は決裂すると反對してゐる、これは東鐵暫行協定第九條によりロシヤは絕對反對することに決定してゐると

支那の赤色農民運動
勞農の支那時局觀(上)

支那の赤色農民運動は近時漸く識者の注目する所となつて來たが、この運動に最も早く最も強く注意を拂つてゐたのが勞農機關紙である。こゝ半年以上勞農機關紙には日々支那奧地の農民運動を丹念に報じてきた。之によつても南京政府を帝國主義列强及び支那地主資本家階級の傀儡とみる勞農が、いかに將來の望みを農民のパルチザン式暴動にかけてゐるかを判知し得やう、ロシヤ共産黨の支那革命援助は、今は何人も疑ふ餘地も要もない明らかな事實である、支那革命に關するロシヤ共産黨員の數多い著述を見よ、最近亡命のトロツキイが發表せる勞農對支政策の批判を讀まれよ、彼等は公然とロシヤ共産黨の對支那革命援助上の戰略戰術の當否について論議を鬪はしてゐる。左に譯出したのは四月二十八日附プラウダ紙掲載の勞農の支那通ミフ(ペンネーム)氏の論文である(幾島)

南京政府樹立後、年を閲する三年その間同政府は列强及び支那ブルヂョア、地主階級の支援により僅に國内の革命運動を彈壓し得たが外は國際帝國主義よりの解放を實現しえずして、却つて帝國主義に追從してその侮りと壓迫をうけ、内は和平統一を約し乍ら、國をあげて軍閥抗爭の巷と化し、いまや商工、農、財政各方面の危機に當面して完全に無能を暴露した。

×

以上が南京政府三年の治績であるが、重點は、この反革命政府が多少なり鞏固した期間にわたり勞農民の解放運動を鎭壓し得なかつた點にある。

×

一九二八年支那において罷業運動に參加した勞働者數は四十萬人强であつたが翌二九年には倍加して七十五萬となつた、この數字は支那のプロ運動の勢力と來るべき革命的動亂の好固の徵候である、且つ數の點のみでなく、一九二九年の勞働運動は二八年と性質を異にする、二八年の罷業大衆は小工業的紡織工場や、店舖の被傭者であつたのに、二九年になると罷業者の大多數が大工業(造船、大紡織工場、炭礦、鐵道、電車、印刷業)の勞働者になる。

×

二八年の罷業は主として上海を中心としたが(四十萬人の中二十五萬强)二九年になると天津、北平、漢口、廣東等に波及した、同時に赤色(第三インター系)勞働組合の組織的役割が增進し、現在その數四萬に達した、而もその實勢力は數に比して遙かに强大で到るところストライキ運動の發起者及組織者として活躍する。支那のプロ階級の經濟鬪爭がます／＼頑强となり擴大する原因は、主として茲にある。

×

またストライキ運動は依然經濟的性質のものであるが、漸次政治的色調をおびてくる、昨年のメイデイには上海の勞働者五十萬人の參加を見、八月一日の國際帝國主義戰爭反對運動には共産黨の指令により十萬人以上の支那勞働者が參加し、その他政治的色彩をおぶる街頭運動に四萬のプロレタリヤが參加した。以上は昨二九年の支那勞働運動の概勢である。

×

本年に至りこの支那勞働者の經濟鬪爭は鎭靜に赴くどころか、却つて旺になり、而も罷業勞働者の組織および自覺がます／＼高くなる傾向がある、更に支那の勞働運動において失業者がます／＼顯著な役割を演じだした、農村危機の結果赤貧に陷つた農民が多數の群をなして勞働市場に抛げ出され、次第に脅威となり、國民政府反對の氣勢を助長する。

海相と軍令部間の意思疏通に努める
政府の軍縮問題對策

【東京十五日發電】特別議會における軍縮會議と統帥權問題に關する政府の態度は自然樞府に持越されゝ譯でロンドン條約御批准についても樞府側よりこの問題に關する猛烈な質問が出るものと見られてゐるので政府もこの對策としては貴衆兩院におけるが如く無言主義を以ては到底濟むまじく相當苦心を重ねてゐる、一方財部海相は二十二日頃には歸朝すべく政府は先づ軍令部の感情を緩和せしむるため財部海相と軍令部首腦部と會見せしむることゝならうが、濱口首相は十四日午後兩院議員招待會後幣原外相、江木鐵相と共に之が對策につき熟議した結果政府の執るべき策としては先づ財部海相をして軍令部と膝突き合せて遺憾なき意思の疏通を圖らしむるものゝ如くである

排外思想普及努力
遼寧外交協會

【奉天十四日發電】遼寧外交協會は最近の共産黨事件により官憲の彈壓を喰ひその存在を失ふに至りたる爲め同會幹部は之が名譽恢復と併し青年會の名を以て排外思想の普及に努むべく計畫し左の如きスローガンを揭げて青年會員の募集に着手してゐると

各縣に青年會を設けこれと連絡一致協同して日露の東北侵略政策を一般民衆に知らしめ排外思想を鼓吹す

英海軍根據地築造方針

【ウエリントン十四日發電】ニュージーランド首相ウォード氏は政府のシンガポール軍港築造に關する意見はまだ何等の決定を見て居らず、全英帝國首相會議の協議を待つて今後の方針を決定するはずと發表した

齋藤總督と懇談

【奉天特電十四日發】財部夫妻、左近司中將、古賀大佐以下十二名十四日午後十時二十五分着奉、太田長官、森島領事、鈴木特務機關長外官民有志數十名に迎へられ嚴重なる警戒裡に下車、驛長室に小憩、太田長官等と秩父宮樣の御動靜を中心として歡談し、同五十八分安奉線で京城へ向つた、全權は開原まで出迎へた記者に車中にて語る

京城では一泊するが齋藤總督は海軍の先輩として壽府會議の全權であつたことでもあるから色々お話することがあらう、統帥權問題が非常に問題になつてゐるさうだが、そんことを僕が云々することは却つて國家のために不爲であらう

けさ安東通過

【安東特電十五日發】ロンドン會議より歸朝の途にある財部全權夫妻一行は十五日午前七時安東驛着

驛頭には宇佐美領事、井上地方事務所長、大津地方委員議長、山口第六大隊長、大津守備隊長、高山警察署長その他官民多數の出迎へがあり驛ホームにおいてそれ／＼謁見した、一行は驛樓上貴賓室が目下修理中のため自動車に搭乘領事館に向ひ小憩の後同七時五十分發列車にて南行歸途に就いた、全權は驛頭において記者に語る

自分は大正五年吉田領事(現外務次官)在任の時通過した事があり當時に較べて非常に發展してゐるものを見て感慨無量である

奉天驛における財部全權
全權夫妻に挨拶の太田長官

佛大型潛水艦の驚異的記錄
大西洋橫斷に成功

【佛領西印度マルチニーク島フォルト・ド・フランス十四日發電】フランス航洋潛水艦ルヅータブル號及びヴアンジユール號は(各千五百六十噸)はブレスト軍港出發以來アフリカのカサブランカ港、ダカル港及びカーブ・ヴエルド諸島經由フランス潛水艦最初の大西洋橫斷をなし五千哩を航走して三十四日目でマルチニークに到着した、兩艦の[illegible]力航續可能日數三十三日を超過すること一日である、右航海はフランス海軍省が各國の注目しつゝある三千噸級新潛水艦スルクーフ號の更に上を行く大潛水艦を建造する基礎的實驗の一つとして試みたものとされてゐる

日露漁業交涉はやゝ良好の程度
ロシヤ利權局と交涉した 川上日魯漁業社長談

【ハルビン特電十四日發】日魯漁業株式會社々長川上俊彦氏は十四日歸京の途に就いたが、氏は語る

北樺太の鑛業會社の隣接區マカレンスキ石炭礦の採掘權を得るため五年振で入露し一月末から四月末まで駐露中央利權局のレペヂフと折衝したが

埋藏量に 技術的意見の相違あり、本年はロシアが經營することゝなつて物別れとなつた漁業問題は駐露田中大使が條約に基き交涉中であるが、英米等の意見は殆んど問題とならず、日本は幸ひ隣接してゐるため先づよいといふ程度だが例のコルホーズでネップマンは姿を消しレーニンの遵奉者スターリンは反幹部派を國境に驅逐し純然たる共産左翼に還元し、新經濟政策から近代資本主義になると思つた豫測は、この五年間に

全く反對 の現象を呈し總ての交涉はなか／＼至難だ、片山潛氏の愛孃千代子さんは共産黨になり元氣である、中條百合子、岩佐あさ子の二人は近く歸國するといつてゐた、今回の赴露は先づ利權局と感情の融和に努める爲めであつた、ロシヤの物質缺乏は極度に達してその日の糧にも惱んでゐる

義勇隊を率ゐて製鹽倉庫を襲擊
反英兩女史の計畫

【ボムベー十四日發電】チヤブヂ氏の後繼者として反英運動を率ゐることゝなつた印度女流詩人サロジニ、ナイヅ女史はチヤブヂ氏の計畫を踏襲し十五日ダラサナ村の製鹽倉庫を襲擊することゝなつた又反英運動指揮者ナイヅ女史の義妹カマラデビ、チヤトパヂアヤ女史は義勇隊二千人を以てボンベイ近くのワダラなる官營製鹽工場を襲擊する計畫を樹て來る十七日朝より實行することゝなり國民議會ボンベイ省軍事會議は之を支持するに決した

自治への新十字軍
女詩人の決意

【ボムベー十四日發電】獄裡に在るガンヂー氏の志を繼いで反英運動の指揮に當つた詩人サロジニ、ナイヅ女史はアラハバードより十四日當地に到着製鹽工場襲擊を敢行のため同夜直にダシヤラートへ向ふはずであるが、女史は悲壯な決意を示しつゝ語る

ガンヂー氏を投獄し、チヤビジ氏を捕へた英官憲の高壓政策が果して私を目的地に到着するまで見逃して置くかどうか、又私達の計畫を實行開始まで傍觀して置くかどうかは疑問です、しかし私達は「自治」への新十字軍として飽まで進む積りです、運動團指揮の責任を擔けて爭ふ積りです、私の途は勝利か死かの二つあるのみです、周圍の人達は私が年五十に近く而かも病身だからとて切に出發を引留めて吳れましたが、全印度のためを思ふとジヤンダークのやうな感激が私の胸を打ちました

兇器携帶集會嚴禁

【ボムベー十四日發電】スラット管區長官は本日左の如き禁令を發した

向ふ一月間ダラサナ村、チエラバタ村、ウマルサヂ村にて四人以上集合する事、且つナイフその他兇器を携帶する事

右禁令を犯す者は刑事訴訟法第百四十四條にて處罰せらるべし

人事

▲牛島吉郎氏(北京滿鐵公所長)臨時藥務調査委員會に出席の爲十五日入港濟通丸にて歸連
▲柴田玄風師 外十七名、高祖善導大師千二百五十年遠忌に當り高祖の遺德を慕ひ參拜團を組織したが同上來連
▲間世田文雄(會社員) 十五日發旅客機にて京城へ

大觀小觀

不景氣の反面は好景氣、それは濱口か犬養かの政友會のスローガンにも明瞭。

◇

だが、現下の不景氣が果して好景氣を一面とした反面の不景氣なりや否や。

◇

若し、然らずして好景氣の反面の不景氣でない、すなはち換言すれば、その不景氣の原因が、經濟循環論的ものでなかつたとしたらよし、鶴首して好景氣を期待しても、結局、その好景氣にお目にかゝれぬことになる。

◇

問題は、そこから出發する。

◇

待てど暮せど來ぬものなら、何とか他に不景氣對策を攻究せねばならぬといふことになる。

◇

財界の立直しも、失業苦、就職難などの問題も、現在の不景氣を如何に認識するかから考察せねばならぬ。

◇

循環して來ぬものなら、それを期待するほど愚なことはないといふ結論に到着する。

天氣豫報

今晩 南の風 曇
十六日(南西の風) 晴時々曇
滿潮 午後 零時二十五分
干潮 午前 五時四十分 午後 七時十分

秩父宮殿下、けふ撫順炭礦を御見學

特別電車に召させられてお巡り 御熱心に種々御下問

【撫順特電十五日發】御滯奉中の秩父宮殿下には撫順炭礦御見學のため十五日朝八時奉天驛發の特別列車に召され九時十分撫順驛に御着、殿下には直に驛構内に堵列せる有資格者六十三名に列立賜謁の後

御徒歩 にて驛前廣場に堵列せる在鄕軍人、撫順中學生、青年訓練所生、工業實習所生六百五十名を御親閲あつて、驛前より特別電車三輛を連ねて中央の電車に召され中央事務所前にて御下車、三階の模型室に入らせられ山西炭礦長の説明にて各炭坑の模型を台覽、また山西炭礦長より炭礦の一般概況に就て御聽取、琥珀、石炭細工を台覽あり、次で連日の風凪ぎて薄曇りの空に微風そよぐ屋上ルーフに立たせられて撫順全市と各炭坑を御俯瞰、山西炭礦長が御指示御説明申上げた、一時間にして中央事務所を出でさせられ再び電車に召されて

古城子 採炭所事務所前の高砂町停留所にて御下車同所には千金小學生等が奉迎申上げた、殿下には事務所前の世界有數な大規模の古城子露天掘に成らせられ久保炭礦次長の説明にて採炭作業を御興味深く御見學種々御下問あらせられ十一時過ぎ高砂町より電車にて大官屯の製油工場にお成りあつて器械の音喧しく近代化學の躍動するオイルシエール工業に就て岡村調査役の説明にて御熱心に御見學、正午中央事務所に入らせられ貴賓室にて御携行の御晝食をとらせられ御小憩後午後一時十分孤家子に向はせられた

孤家子にて戰史御研究 奉天に御歸着

撫順の御見學を終らせられた殿下には陸大生としての御作業につかせられ特別列車にて午後二時五十分孤家子驛御着、御徒歩にて高木獨立守備隊第二大隊長の御先導で驛の東方約一町餘の鐵道線路上に立たせられ、昨日の文官屯戰史の御研究に關連する第四軍第六師團の一部大久保枝隊の苦戰につき當時戰鬪に參加した牛島少將の講話を陸大生と共に約一時間に亘り御聽取あり同二時五十五分孤家子驛御發、特別列車にて三時二十分奉天驛に御着、ヤマトホテルに入らせられた

勝は滿倶?實業? 兩軍の顏觸れ揃ふ

戰ひの日漸く近づき意氣軒昂 技倆全く伯仲の感

六月八日、本社主催で擧行される實業對滿倶定期戰をひかへ、兩チームでは昨今午後四時半頃よりそれ〳〵猛練習中であるがスタンドにはファン押しかけ盛に下馬評が飛んでゐる、實業側は既報の如く淺川投手及び立石三壘を迎へ昨夜着連した中川金三選手を殿りとして新選手の顏觸れも全部揃ひ加ふ投手を迎へ、同文書院の和田主將(外野手)及名古屋鐵道局の高須遊撃手、東京帝大の鈴田主將(二壘手)等新進を加へ、勝敗の數は全く豫測し難い、内外野を充實した實業團、高須、鈴田、片岡、健康舊に復した芥田等の强打者をそろへる滿倶軍、果して榮冠は何れへ、なほ大なる

期待を 以て迎へられてゐる滿倶戶倉新投手は青島中學卒業後同文書院に學び上海滿鐵事務所に勤務、全上海軍の投手として活躍昭和三年黃金時代の大每がマニラ遠征の歸途上海に立寄り對戰の際同チームを苦戰に陷れた等幾多輝しい記錄を有して居る

滿倶後援會會券 滿倶後援會申込を本社へ依頼された方は會券出來したるにつき本社庶務部で受領せられたし

高松宮 けさコロンボ御到着

【鹿島丸十五日發電】十三日以來風浪激しきため鹿島丸は豫定より遲れ十五日早朝五時コロンボに入港した、高松宮同妃兩殿下には午前九時鹿島丸に伺候したコロンボ總督代理の歡迎の挨拶を受けさせられたのち御上陸、先づ總督邸を御訪問後附近の名所を御覽あり、日本領事館にて午餐を召された、午後は附近を御見物夕刻御歸船のはずである

邦英王殿下 賜冠の儀

けふ御擧式

【東京十五日發電】故久邇宮邦彥王殿下の第三王子邦英王殿下には行く〳〵は東伏見宮家を嗣がせ給ふ趣きで十六日を以て滿二十歳に達せられ御成年式を擧げさせらるゝ事となつたが、これに先立ち十五日午前十時東伏見宮御殿にて賜冠の儀を行はせられた

るに武井、津田兩選手の闘運ありまた球場の新装もなり内外ともに清新の氣みなぎつて居る、殊に中川、淺川、立石の三選手を入れたことは

精神的 に及ぼす影響蓋し大なるものあり意氣軒昂である、一方滿倶側は濱崎、永澤の入營、長澤の離連によつて一脈の暗影をなげてゐたが全上海軍の戶倉勝人

けふ、連鎖商店が

賑々しく家族大運動會

實業黨る十五日午前十時より中央公園製氷會社裏グラウンドにおいて連鎖商店家族大運動會が催された、當日連鎖商店街は全休で朝九時すぎ各商店それ〳〵の意匠を凝らして大旆を立て得意の廣告術の行列をつくり市内を練り歩き定刻會場に乘込んで宮本會長の挨拶があつていよ〳〵競技が始まつた、店員さん達のランニング、算術競走、婦人提灯競走等、晩春に芝生萠ゆる中に嬉々として心ゆくばかり走り飛び常の忙しさを忘れた(寫眞會場で)

親子四名を射殺す

間島共產黨の暴動決死隊員

【間島特電十五日發】十三日午後九時ごろ頭道溝管内陽溪洞鮮人朴正世方に不逞鮮人六名闖入し朴夫婦及び息子夫婦の四名を射殺逃走した、右は朴親子が既報間島第四次共產黨の計畫せる陰謀に加擔しなかつた爲め同共產黨の暴動決死隊員の行爲と見られ、我官憲は犯人の捜査に極力活動中である

社金拐帶の駈落者捕ふ

大分から大連へ

大分縣速見郡北杵築村國東鐵道會社員鶴田守(三〇)は會社の金千五百圓を横領して同地の藝妓長野ナツ(二一)を千圓にて身受けし滿洲へ駈落と洒落込んだが、杵築署よりの手配により十四日午後八時廿四分沙河口驛に下車したところを沙河口署員に取押へられた、身柄は近く杵築署より引取りに來ると

東京から大連へ動物の試驗空輸

けさ日滿連絡機の第一便で 安着か珍貨物の鼬君

【東京十五日發電】本日朝東京發の日滿連絡機第一便で空輸始まつて以來の珍貨物が大連に輸送された、それは神田元柳原町農業東京園から大連地方法院檢察局の木村支那語通譯にあてた「鼬」で最初空輸規則に抵觸するではないかと心配されてゐたが、汽車では日數を要するので空輸會社でも動物空輸の試驗として特別に取扱ふ事となつた

弱い子故の親ごころ

生膽が藥になる 木村寬氏談

鼬の生膽は病弱な子供に非常によく利くといふことを或る雜誌の廣告で見ました、それで恰度私の子供が弱身ですから試めして見ようと思ひ一つがい農業東京園に注文しました、一つがいで三十圓ですが漸次繁殖させるのです、殊に鼬の生膽と生血は肺病や肋膜に効果があると聞いてゐますから實驗の結果利き目があれば人助けになると思つてゐます、元來貂、鼠、鼬は鼬鼠科に屬する動物で、そのうち一番貂が病氣によく利くさうですが高價で一寸手に入らないから鼬をその代用にする譯です、滿洲には鼬はゐますがなか〳〵捕獲に困難です、氣候、風土は繁殖のうへに心配はありません

偽刑事、少年に旅費の强要

圖々しくも受取りに來て 本物の刑事に捕はる

市内大黒町五四古川夏之助(二〇)=假名=が十三日夜浪速町大阪屋號で書籍閲覽中、突然後方より肩を叩いて「お前は今本を萬引したであらう、俺は大連署の刑事である」と引立てる男があるので、古川はその男と大連署前まで來たところ、刑事は本署で調べないで

お前の宅 まで行かうと更に大黒町の古川方に赴き古川より始末書を取ると俄に態度を變へ「自分は近く内地に歸るのだが旅費を出せ、もし應じない時にはこの始末書を新聞社に寄附けて掲載せしめるから……」と脅し、古川より現金一圓を取り十四日あらためて來るから三十圓用意して置けと命じ歸り、十四日午後五時ごろ再び來たところを張込中の

小崗子署 の立石、頭安兩刑事に逮捕された、この圖々しい男は原籍鹿兒島縣出水郡出水町、當時住所不定の原田鶴助(二七)といふ無職者である

遠い北歐の丁抹から美しく優しい贈物

けふ、柳樹屯少年赤十字團へ 長いお手紙を添へて

柳樹屯少年赤十字團では世界各國の少年赤十字團と圖書、作品、手藝品等の作品を始め繪ハガキ、寫眞、草花の種子まで交換し合ひ小國民同志の交驩を爲し天晴れ外交振りを示してゐるが、十五日には丁抹マリボ・ザブライベイト校の少年赤十字團から去る一月二十七日發送した

アルバム 一册が東京の本部を經て屆けられて來た、そのアルバムは丁抹王クリスチアン十世陛下並に同アレクサンドリン皇后陛下を始め皇太子、皇子及び同國旗、切手、クリスマス用の切手その他を貼附した壯大美麗なもので、ソレに添へた手紙には左の如く認めてあつた

なつかしい皆樣 私達は皆樣と一層よく知り、またたい皆樣と御友達になつていたゞきたいと思ひます、この本は遠い〳〵北の方にある

私達の國 をば少しでも好く皆樣に知つていたゞきたいと思ひまして作つたものであります、何うか皆樣のお持ちになつてゐる地圖で丁抹をお探し下さいませ、見出すのはさして困難でもありませんでせう、さて皆樣……皆樣も何うかこの樣な本を御送り下さいませ、そしてまた、皆樣から長い長い御手紙がいたゞけましたならば一層嬉しい事で御座いませう、私達は皆樣の

御返事を ば大變熱心に待つて居りますから出來るだけ早く御返事を下さいませ、私達はいつまでも〳〵皆樣の仲良しの友達——丁抹の友達でありたいと思ひます

デ盃歐洲ゾーン 日本—印度戰

けふから開始

【ロンドン十四日發電】デ盃戰歐洲ゾーン二回戰日本對印度の試合は十五日よりロンドン皇立植物園コートで行はれることゝなつたが組合せは左の如くである

▲第一日(十五日)
太田—マダン、モハン
原田—チャランジヴァ

▲第二日(十六日)
原田 安部—(ソニー チャランジヴァ)

▲第三日(十七日)
原田—モハン
太田—チャランジヴァ

支那オリムピック選手 けふ上海を出發

一路遠征の途に上る

【上海十五日發電】オリムピック出場支那選手一行百五十一名は今朝八時郵船大洋丸に乘込み十時解纜一路日本に向け遠征の途についた、支那側の見送り頗る盛大で「勝利を豫じめ祝す」等と書かれた旗を押立て歡呼を浴びせてその行を盛んにした、一行の内譯左の通りである

中華體操代表張伯苓氏以下役員二十二名△トラックフイールド男二十九名、女六名△蹴球十五名△排球男十二名、女十五名△庭球男二名、女二名△籠球男十名、女十四名△野球十六名△水泳男六名、女二名

なほ一萬メートル豫選優勝者趙德新は腸窒扶斯に罹り一行から除外された、總指揮張伯苓氏は語る

支那は萬事他國に遲れ運動も例外たるを得ず、優勝を確信するには時期尚早だが、過去三年間の進歩は見るべきものがある、併し大會の眞目的は人格と精神の向上にあり、予は船中でもこのスポーツ精神を選手に説く積りである

女流水泳選手

支那側で極東大會に送る

【上海十四日發電】極東大會支那水泳選手として陳玉輝、朱敬新の二女子は正式に追認されることゝなつた、支那が女流水泳選手を國際競技に出すのはこれをもつて最初とするのでその活躍振りが期待されてゐる

極東大會準備員各部長會議

【東京十五日發電】極東大會準備委員各部長會議は十四日夜左の決定をなした

一、東京市より大會に二萬圓を寄附されるから東京及び府下の小學兒童團體入場券を十錢に割引す

二、東京市主催で「東洋の親善の夕」を催すからその具體案を決める事

三、全國の體育主事に大會のフリーパスを交附す

四、入場券は野球、籠、排球の一日券を除き十五日より前賣する

滿鐵社員會獻金總額

五萬五千圓餘

滿鐵社員會では昨秋幹事會を開いて滿鐵社員獨自の立場から私經濟合理化のため諸般の實踐目標を定めて率先我國朝野の公私經濟緊縮運動に參加する一方、國債償還基金の一端として社員の國庫への自發的獻金を十二月一日から本部に於て取扱ふことゝなり、爾來約五回に亘り各地社員の現金又は債券をもつてする獻金を取纏め保々幹事長より大連民政署を通じて獻金の手續をとつて來たが、十四日第六回目の分九千二百八十餘圓をもつて一先づ獻金運動を

打切る ことゝなつた、而して同日までの社員の獻金總額は五萬五千七百三圓九十一錢(内譯現金四萬九千七百七十八圓九十一錢、債券五千九百二十五圓)に達してゐるが、最初より各自の自由意思によることゝし獻金額等に就ても何等の標準を設けなかつたにも拘らず、極めて良好な成績を納め得たものといはれてゐる

戀の女を刺し己れは縊死

奉天溫泉クラブの集金人 女は助かるらしい

【奉天特電十五日發】十五日午前三時奉天附屬地南方砂山東南端の野原で情死を圖つた年若い邦人男女があつた、男は山梨縣生れ奉天溫泉クラブ集金人宮川幸太郎(二[illegible])、女は當地霞町十一番地平井文子(二[illegible])で、十五日未明まづ男が女の心臟めがけて炊事用庖丁を突き差し斃れるのを見て現場より七十メートル離れた樹木に繩をかけ縊死を遂げた、併し女は死にきれず溢る

血潮を 押へて半里もある千代田通派出所に駈つけ屆出たものである、文子は以前、溫泉クラブに女中奉公をしてゐたことあり

その當時から切つても切られぬ仲となつてゐたといふことで、聞くところによれば兩人は數日前、給水塔附近の堤防で甘い戀を私語き もうこのまゝ死んでも思ひ殘すことはないといつてゐたといふことで豫て死に場所を求めてゐたものらしい、また文子は多情の女で度々女給を志願して無斷家出したことあり、この程も

大連に 逃亡、某カフエーに住み込んだことがある女である 文子は目下、回生病院に入院せしめ加療中なるも生命は助かるらしいと

日本大相撲

二日目取組

【東京十五日發電】日本大相撲夏場所二日目の取組左の如し

(太郎山 汐ケ濱(晴ノ海(池田川
(大島 綾ノ浪(若常陸(藤ノ里
(若瀬川(肥州山(劍岳(沖ツ島
(伊勢濱(常ノ山(駒錦(常陸岳
(吉野山(寶川(瀬川(朝潮
(外ケ濱(信夫山(玉碇(常陸島
(鏡岩(若葉山(古賀浦(能代潟
(武藏山(綾櫻(天龍(新海
(雷ノ峰(玉錦(眞鶴(豐國
(大ノ里(出羽岳(常陸岩(山錦
(清水川(宮城山
(常ノ花(和歌島

人妻に怪しい振舞

市内平和街十番地阿片小賣商梁扶櫻使用人李孝訓(二[illegible])は十四日午後四時半ごろ、市内大龍街六七焦沙(三七)の妻景氏(二七)留守居してゐる處へ馴れ〳〵しくあがり込み怪しからぬふるまひに及ばんとしたが景氏の救ひを求める聲に近隣の者馳つけ、李は引捕へられ、小崗子署へ突き出された

中等學校商業科目研究會

來る十七日午前九時より大連商業學校に市内各中等學校の商業擔任教諭等集り商業科目研究會が開かれるが、中學、女學校は本年始めて商業科目を必修學科としておいたので、今度の研究會では主としてこの點について協議される模樣である

支那娘行方不明

市内大黒町一二二馬魁遠長女馬阿桂(一[illegible])は十四日午後六時ごろ小崗子へ買物に行くと稱して出たまゝ行方不明となつたので、馬より捜査願ひを出した

本社見學

旅順師範學堂生徒三十名は十五日朝、天藤教諭に引率されて來連し本社を見學した

艶色生膽祕譚（112）

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

憂鬱症（二）

「お仙どの、助勢いたすぞ」突如として——が、緯々、朗然たる聲音で叫んだ左近。

「あツ！」

捕吏が異口同音にあげた驚きの聲を尻眼に、ギラリ鞘ばらひした太刀、かるくふれば、お仙の右手へピンと張り挽めてゐた捕繩ブツリ眞二つとなつて虚空にはねあがつた。

彈みをくつた長太、

「あツ！」

と動顚する。

「おツ！」

お仙は不意に現れた助勢者の姿しかも左近のおもかげそこに見て思はず聲をあげたが

「お逃げなされ！」

この一聲に、御用提灯めがけてパツと投げつけた眼つぶし。

その煙幕をたてに、宵暗めがけて一散に驅けだした。

「ソレツ！浪人を逃すな！」

左近はとある天幕小屋へ驅けこんだが、たちまち迫る御用聲、ハタと逃げ路を失つてしまつた。

「ええ、無益の殺生いたさねばならぬか」

から決意すると、袴の股立ちキツととりあげ、再び表へ出てゆかうとした。

と、かるくその肩を叩く者がある。

「げツ！」

左近はパツととびのいて身構へる。

「左近様！叱ツ、靜かに！」

「なんだ三藏か」

「さ、はやくからおいでなせえ、戯談ぢやアありませんぜ」

まつくらな懸け舞臺の奈落へ、三藏はグイ〳〵と左近をひつぱりこんだ。

「どうして、こんな處にゐるんだ？」

「ま、話はあとのことでさア、一寸樣子を見て來ませう」

三藏は身輕にとびだしてゆく。

濕つた土の香に猿の檻が近いかその小犬便の香ひがいりまじつて鼻をつく。

「三藏め、變幻出沒、おかしな處にとびこんでゐたものだよ噺」

耳をすませば次第に遠ざかる御用聲。

あとはシインとして、噺折々低く、猿の唸く聲。

「憎いことをいたした、斯る急場でさへなかつたらば、お仙にめぐりあふたは何によりの機會だつたに」

左近は血に染んだあいくちかざして、スラリと立ちあがつたお仙の姿が瞳の底につよくつよくやきつけられてゐたのである。

「左近様、御安心なせえまし、捕方退散、御安心なせえまし」

くらがりの底から三藏が囁く。

「三藏、醉興で刀はぬかぬぞ」

左近は不服さうに云つた。

「おつと、何もかも承知の助でさア、憎い處でお仙めを……エツへへ……」

「なんだ、知つてゐたのか？」

「へい！」

「で、こんな處に何んだつて居合せてゐたんだ！」

「さ、それが大に考へあつてのことなんで、まア此處を出ませう」

「うむ！」

左近は三藏に手をひかれて奈落を出た。

と、まつくらだつた天幕小屋に、は、うつすら灯りがさしてゐた。

「大きにお世話、ぢやア親方、何分たのんだぜ、そのうち猿公を借りにくるからな」

「うむ！」

三藏の聲に、樂屋のれんからヌツと首を出した隻眼の大男は、ぶあひそにうなづく。

左近は何が何だか腑におちぬ心持で三藏とも〴〵天幕小屋を出た。

長谷川櫻邦がいよいよ明日より演藝館に行く事になつた、常盤座では近く、博多より桂詩郎を呼ぶと噂されて居る▲櫻邦の脱退については色々と内部の衝突が相傳へられて居るが▲表面上に於ける小泉常盤座館主、小田演藝館々主、及び長谷川櫻邦の間には何等わだかまりなく▲美しい友義の間であると▲大日活では「ふるさと」宣傳のため市內全カフエーに宣傳文句入りのナプキンをくばることになつた▲ドロしたと傳へられて居た演藝館の東、飛んだのではなく家に引こもつて外へ出ないのださうで▲裏面には複雜な理由があるらしく、館有某有力者との正面衝突がその最大原因だとも云はれて居る

四家文子孃一行の物凄い前景氣
＝沿線各地も既に決定＝

本紙が後援する所の東都樂壇の流行兒として全國的に盛名を謳はれて居るアルトの獨唱家四家文子孃來滿の噂は可なり大なるショックを與へたらしく當地は二十一日と決定して居るが、尚沿線各地よりの申込多く、既に旅順、鞍山、奉天、長春、安東等は決定した程のすばらしい人氣であるが、一行は四家孃の外にハイドンのバイオリニスト杉山長谷雄氏及び伴奏者木村氏の三氏であるが、杉山氏は昨年來連したハイドン、クワルテツトの指揮者で氏の技倆は既に定評ある所のものである

キネマと演藝

關東浪曲の花形　篠田實ちかく來連

篠田實が高尾か紺屋が實かとあまねく世の人に謳はれて居る關東浪曲の花形篠田實が村上演藝部の招聘で愈々六月初旬來連ときまつた人も知る實は當今日本隨一の關東

本紙愛讀者のために『大忠臣藏』日延べ
本社聯合販賣店主催で

目下市內磐城町大日活に於て上映されつゝある日活春季超特作「大忠臣藏」は連日大入滿員の盛況を續け十五日を以て打ち上げの筈であつたが、本社聯合販賣店に於ては特に大日活と折衝の結果、十六日より三日間日延をなし、特別に讀者の爲に優待會を催す事となり讀者の半額割引を行ふ事になつた日本武士道の精華「大忠臣藏」を見落された讀者は本紙刷込みの讀者券を以て盛んにこの好機會を利用されたい

日活特作『大忠臣藏』
讀者優待割引券
五月十六日より（三日間）
階上六十錢　階下五十錢
於大日活
主催　滿日聯合販賣店

第六回　滿日勝繼碁戰（勝林氏三回 四回目）

二段　林　　二子　井上　（仁作氏　大市氏）

○	●	○	●
一二一　ワ十二	一二二　ル十五	一二三　ワ十三	一二四　ル十四
一二五　ル九	一二六　タ十二	一二七　レ十一	一二八　ヌ九
一二九　リ八	一三〇　ヌ八	一三一　ヌ七	一三二　ル八
一三三　ヲ八	一三四　ル七	一三五　ヲ七	一三六　リ七
一三七　チ八	一三八　ル十	一三九　ト九	一四〇　ワ十一

—【7】—

昇之助一行日延し　義太夫大會開催
浪曲を抜き大檢藝妓が助演

十一日以來連日好評を續けて來た歌舞伎座の女義太夫、豐竹昇之助一行は十五日を以て當地打上げ、十六、十七の兩日は休養して十八日旅順、十九日大連出帆上海へおもむく豫定であつたが、大連素義會の發起應援により、滿員御禮興行として、十六、十七のあき日を利用し、浪曲を抜いて女義太夫大會を歌舞伎座に於て行ふ事に決定したが、此の興行には大連檢番義太夫藝妓湖之助（湖月）玉糸（末廣）愛之助（笹邊）八兵衛（淡月）豐廣（笹邊）茶目丸（吉田）の六人が自發的に應援出演する事になり、入場料は階上階下共に一圓と決定した。ともかく大檢義太夫藝妓が興行にまじつて出演するといふ事は未曾有の事であり、又絶後であらうと思はれるが、昇之助師匠に對する友誼の發露として同好者一同に大なる感銘をあたへて居る。尚十六、七兩日の語り物は左の如く決定した

十六日　夕顏棚（昇若）糸（昇華）、柳（昇華）糸（昇光）、八陣（昇光）彈き語り、壺坂（愛之助）糸（小登昇）、又助（豐廣）糸（小登昇）、合邦（玉糸）糸（新六）、菅四（昇之助）糸（新六）

十七日　竹雀（昇若）糸（昇華）、御所（昇華）糸（昇光）、日吉丸（昇光）彈き語り、鳴戸（茶目丸）糸（小登昇）、榛作（湖之助）糸（新六）、野崎村（昇之助）糸（新六）

演藝日記

▲五月十四日　旅順映畫協會員五名が來連し「大忠臣藏」旅順上映について大日活林氏と打合せ及び協定して歸旅した。帝國館で月形の「涙」を試寫した。定評ある映畫である。愛之助日延に關し同一行、大檢義太夫藝妓及び新聞關係者が翠香階上に集合して打合せを行つた

ラヂオ

大連　JQAK（五月十六日午後七時）

▲五月祭練習（イ）合唱、石森延男作歌、櫛木二龜郎作曲（ロ）舞踊　櫛木龜二郎
▲箏曲「吉野天人」琴富森大檢校、同高木夫人、尺八牟田歸風
▲清元「鳥羽繪」淨瑠璃多波羅、三絃多波羅夫人、上調子清元延榮龍
▲支那劇「南陽關」連東倶樂部部員
▲料理獻立
▲天氣豫報
▲ラヂオ體操

東京　JOAK（五月十六日午後六時二十五分）

▲趣味講座「異郷十八年の旅」、布俊明
▲謠曲「通小町」シテ觀世鐵之丞、ツレ山口高德、ワキ觀世織雄
▲歌澤（一）新榮（二）わしが思ひ唄　歌澤芝銀、三味線同芝若
▲放送舞臺劇「東下り」（場景）三島宿立場茶屋の場（配役）神崎與五郎（坂東秋歌）茶屋亭主吾作（尾上新七）女房（坂東彌幸）下女（同榮之助）旅商人（同香造）按摩（尾上多賀造）長吉（坂東榮五郎）飛脚物吉（同盛造）馬子關五郎（市川團右衞門）長唄囃子連中（杵伊三郎社中）

組合幹部の改造意向は依然小賣部を存置
滿洲經濟聯盟側では絕對に反對
第二回會見は結局物別れとなる

滿鐵消費組合幹部（田村、市川、酒井、元木四氏）と滿洲經濟聯盟正副會長（小田、千田、伊藤、鹽尻四氏）の消費組合問題に關する第二回會見は十五日午前九時より同十一時半まで滿鐵本社に於て行はれた、今次は第一回會見に於て仄めかされた如く聯盟側の申出に對し組合側の眞意を表明したものであるが、仄聞するところによればその眞相は左の如くである

即ち新設される會社組織のものは仕入を目的とするものであるが、これのみにては一般商人が必ずしも利用しないと思はれるから會社は立行かぬ虞れがあるなほ半面に於て組合が全廢さるれば一般滿鐵社員が不安の念に驅られるのを避け難いから小賣を全廢する譯にいかない、よつて組合としては組合支部所在地に直營の小賣部を存置し滿鐵の內外人に廣く販賣し以て物價の標準を示すことにより仕入會社の機能と相まつて二十萬邦人を平等に利益したい、なほかくの如き全滿的有力機關が生るれば進んで支那商と對抗出來るのみならず華人方面への販路開拓も出來るであらう、それで商人側に於て會社設立に賛意を表し熱意があれば滿鐵としても援助を惜しまない

然るに聯盟側としては所謂會社組織のものは專ら仕入のみを行ひ、從つて消費組合は解散され小賣は一切爲さないものと忖度し、小賣相場表現のためには各地に陳列館の如きものを設くれば目的を達し得るであらうと考へてゐた、よつて組合が小賣廢止には强硬な反對意思を有つことが明になつたので一應物別れの態で再考を申合せて會見を終つた、因に組合の方針に絕對に反對なのは聯盟の大連側にして奧地側は事情自ら異るものがあつて必ずしも反對でなく恐らく賛意を表するものと觀られてゐるので今後聯盟內部には相當激しき議論が行はれるものと觀らる

會見內容報告

大連實業聯盟役員の多くは滿洲經濟聯盟の役員を兼てゐるが十五日午後三時より評議員會を開き經濟聯盟正副會長より滿鐵消費組合幹部との會見內容について報告を聽きたるのち之が對策を評議する筈

附加税徵收の命令に接せず
猶豫期間を設くるか

大連、安東海關に於ける輸出附加税の實施は日支關稅協定の成立より支那側の自由裁量に歸したるため、正式調印の日より十日後即ち十六日より行はるゝやも知れずと關係方面に於ては之れが實施期日に就いて多大の注意を拂つてゐたが、今十五日に至るも大連海關には總稅務司より何等の命令に接しないので、或は暫時の猶豫期間を置くのではないかと觀らるるに至り、某所に達せる內報によれば一ケ月間位の猶豫を設くるものとの說さへ傳へられて居る、右に關して北代海關長は語る

未だ總稅務司よりは何とも命じてきません、從つて何等の命令がない以上は從來通り附加稅は徵收しないわけです、或は相當の猶豫期間を置くものとも考へられますが若し然うだとすればその期日を判然と示して具れると當業者も安心出來ませうがね

海老不漁で取引額激減
四月中の大連魚市場

四月中に於ける大連魚市場の取引高は數量五十萬五千百八十九貫、金額三十萬千二百七十八圓にしてこれを前年同期に比すれば數量に於ては三萬三千三百四十九貫の增加を見たが金額に於ては却つて九萬千百四十二圓を激減してゐる、その主因は例年この季に入荷旺盛なるエビの不漁によるもので即ち前年は十三萬六千四百十八圓の取引があつたのに本年は僅か六萬二千百九圓に止まつたゝめによる取引高一萬圓以上のものを示せば左の如し

	取引高（貫）	取引額（百圓）
△州內日本人		
カレイ	八五、三三九	四、一九六
グチ	一四、二〇四	八一七
平目	一七、九三四	二三、八
△州內支那人		
グチ	一〇、五八五	一一、四
△內地物		
カヂキ	五、六七二	一一、七
△支那物		
車エビ	二五、二八四	五三、九

油房振興への科學的研究の輪廓（三）
最近に於る業績

引續いて大豆油の用途について述ぶれば中央試驗所で青木氏によりタンタルスと名付けられる防水劑が發明された、これは成分の上からいへば大豆油に一種の石鹼やセメントやコンクリートに加へ防水劑として廣く用ひられてゐる、この方面における用途も更に徹底的に研究を重ねれば一層完全な防水劑やその他布地に塗る塗布劑の原料如きものも創製することが出來ると思はれる

◇

大豆油はまた將來はこれを加工してゴムの代用品として一般に用ひられる時代が來るものと信ぜられてゐる、なぜなら大豆油に硫黄の化合物のやうなものを加へて熱すれば固まり、それをゴムの代用品にすることが出來るからである、これはドイツなどでは或程度まで生產し商品化されてゐるが日本ではまだ十分研究が進んでゐない、ゴム代用品生產に成功すればゴムの生產が熱帶地方の一部に限られてゐる一方近代工業の發達と文化の向上とは益々ゴムの需要を喚起して供給が到底これに伴はないだらうと豫測されるので極めて前途有望である

◇

最後に大豆油はこれを化學的にある種の加工を行へば全くその姿を變へて普通の石油とかガソリンのやうなもの、即ち人造石油ともいふべきものゝ原料ともなる、これについては中央試驗所の佐藤博士が多年熱心な研究を續けてゐる無論今日のやうに大豆油が高くて石油の安い時代にはこれが工業化といふことは早急に實現しさうにない、然し世界の石油埋藏量には限りがあり、專門家の研究によればその壽命は五、六十年、永くて百年を超えずと謂はれ、石油に代るべき燃料の發見や創製は世界的の問題になつてゐるので佐藤氏の研究の如きものは極めて意義あるものである

◇

以上述ぶるところは之に要するに油房振興策として先づ現在製造してゐる豆粕や豆油をもつと多方面に利用する道はないか、それだけでは徹底しないから進んで現在の簡單な機械壓搾式による抽油法を改良し科學的に生產方法を講じて大豆の經濟價値を高むる道はないか、最後にかくして生れる豆粕や豆油の用途を將來どういふ方面にどんな方法を以て開拓すべきであるかといふ問題について多くの學者や研究家達が行つてゐる數ある研究中いくつかの顯著な例をあげたのである

◇

滿蒙開發上極めて重要な位置を占むる油房工業を如何にして回復振興するかの問題は久しいものであるが、在來の非科學的な生產行程や生產品の低級な價値獲得だけに止まつてゐる間は目的は達せられるものでない、なぜならこれらの部內に於ける油房工業は日進月步の一般工業界から取殘されてゐるといつてもよい位であるから、從つて根本的立直しのためには本稿に述ぶるが如き專門家や關係者の研究は極めて貴重なものであつて恐らくこれらの研究が[illegible]つて振興の鍵となるであらうことが確信される、この意味に於て油房が滿洲の特殊工業たる以上特に在滿邦人の專門家や關係者により熱心な研究が進められて、オイルセール工業に於て納めたやうな目覺ましき成績を一日も早く實現せんことを希望すると共にこれらの研究乃至實際化を有効に援くるために組織的にして有力な後援機關を設くることが必要ではなからうか（終り）

金福鐵道の補助願ひを滿鐵では斷はる
但し通學列車に對しては運轉費半額を補助

滿鐵が金福鐵道の創業當初補助した金額は五十六萬圓であるが、同鐵道では既に該補助金も四年度に殘されてゐた額が僅に三萬六千五百圓であるため年度末の決算において株主への配當が出來ず滿鐵に對して補助金附方の請願中だつたが滿鐵では重役會議の結果これを否決した、これに對し金福鐵道當局者は語る

五月末東京において總會が開催されるので萬事は總會で決定することにならうが滿鐵の補助金がなければ株主への配當は出來ない、四年末の營業成績は四萬圓位の純益になつてゐるので滿鐵の補助金殘額三萬六千五百圓を加へると一分か二分の配當は出來やうけれどこれは無配當も同樣だから配當などせず据置くことにするより外あるまい、私鐵經營などは營業成績と配當とは別々に考慮して貰はぬとなかなか經營出來るものではない、內地又は朝鮮では補助法案があつて年額五十萬圓乃至二百萬圓位の補助を得て配當を行つてゐる狀態であるが關東州では金福鐵道一つだから斯ういつた制度がなく、只補助金をお願をするよりほかに途がない譯である、人員の整理は昨年の三月行つたから假りに補助金下附がなくとも重ねて整理しやうなどゝは考へてゐないが東京の總會においてどう話が出るかは判らない

通學列車 尙滿鐵では金福鐵道に對する補助金は打切つたが城子疃、貔子窩間に通學兒童のため所謂通學列車なるものを一日一往復運轉してその運轉費半額即ち二千五百五十圓を補助けることゝし四月十五日からその運轉を見つゝある

國際決濟銀行
廿一日から開業

【東京十五日發電】國際決濟銀行は來る二十日拂込みを行ふ旨十四日日本側出資銀行幹事銀行たる日本興業銀行に入電あり、依つて同銀行は二十一日からいよいよ開業し預金の受入れ、その他の銀行業務を始めると共に近くドイツ賠償公債の發行も行ふものと見られてゐる

支那內爭で鐘紡安
損害懸念から

【大阪十五日發電】鐘紡安は支那の內爭による紡績の損害懸念によるが東新安は鐘紡安によるものであると

州內工業見本市
出品の數次第で開催

滿洲見本市の一部として州內工業生產品見本市開催の計畫があるとは既報したが十五日正午より輪組聯合會事務所に主催及び後援並に生產關係者二十餘名が參集して開催の有無につき最後的打合をなしたところ民政署石塚商工係主任より出品餘りに少數なるときは州內工業の權威に係はるので申込數を見たる上決定しては如何との提議あり一同これに贊成した、そこで聯合會より直に各方面に約百ケ所餘りに出品勸誘狀を差出し、申込は民政署經由にて二十日頃まで最低三十小間位纏まれば開催することになつた

素晴しい申込み
見本市出品

滿洲見本市の出品期限は十五日であるが十三日までに到着した正式申込數は左の如く三百六十五小間に達し第一會場には收容しきれない盛況であるが、なほ福井、福岡、和歌山、京都等よりも相當數申込あるのは確定的である、それで多分商議樓上並に青年會館を第二、第三會場にあてることになるであらう

▲鹿兒島五▲三重縣二〇▲大阪八六▲愛媛四▲靜岡四〇▲栃木五▲兵庫三〇▲山口二五▲神奈川二〇▲廣島二〇▲東京六〇▲愛知五〇計三六五小間

續落の鈔票は六圓臺も割る
安値六十五圓八十錢

當地鈔票は新安値から新安値へと續落を重ね、既報の如く昨日前場は六十六圓十錢と驚くべき新安値へ暴落したが、後場は小戻しを見せ六十六圓六十錢と引締て止めた、しかし今朝は海外材料としての銀塊は別項の如き安値を入れ、上海標金は五百二十三兩四と寄りアト上伸し、五百廿六兩八とまたもや新高値へ躍進した、地場鈔票は以上の銀安材料を眺め、六十六圓二十五錢と寄り、標金の急騰につれ遂に六圓臺を割り、安値は六十五圓八十五錢と又當市場開始以來の新安値へ暴落し、六十六圓丁度と昨後場の止めより六十錢安で大引、今の所銀強材料とては何もなき折柄日先依然ジリ安商狀を辿るものと一般に觀測されてゐる

あす開催する全滿商議協議會
滿鐵消費組合問題を議題に
出席者の顔觸れ

全滿商工會議所では滿鐵消費組合問題に關し既報の通り各地においてそれぞれ對策案を作成中であつたが、更に全滿商議聯合會として意見を纏めることになり、十六日午前十時から大連商工會議所において該問題に關する全滿商議協議會を開催するが當日の出席者を示せば左の如し

（奉天）副會頭三谷末次郎、議員入江英一郎、同藥尻錫太郎、書記長野添孝生（開原）實業會頭川島定兵衞（鞍山）實業協會長加藤政人（長春）副會頭岡田小太郎、書記長大垣鶴藏（營口）副會頭陽甲子郎、書記長日下淸履（鐵嶺）書記長松崎巖造（安東）會頭荒川六平（撫順）書記長森山環（大連）會頭村井啓太郎、副會頭山口啓三、書記長篠崎嘉郎 哈爾賓、遼陽、四平街は未定

四月末現在組銀帳尻
不況を物語る

四月末大連組合銀行帳尻は左の如くである（單位千圓）

△金勘定	四月末	前年四月末
預金	九七、七六二	九五、〇二六
貸出	一〇二、〇四六	九九、九八六
△銀勘定		
預金	一六、六一七	一八、四九〇
貸出	一〇、四九五	一〇、七九四

即ち金勘定に於て預金は前月末に比し二百七十三萬六千圓を增加したが、これは主として定期預金の增加によるもので財界不況により資金に需要減を來し長期遊金の增加によるものである、更に前年同月末の一億八百二十四萬一千圓に比すれば七百四十七萬二千圓の減少を示した、次に貸出に於ては前月末に比し二百六萬圓、前年同月末の一億百四十二萬九千圓に比し六十一萬七千圓を增加した、銀勘定に於て預金は前月末に比し三十四萬六千圓、前年同月末の一千六百二十七萬一千圓に比し二十三萬三千圓を共に增加し、貸出に於ては前年末に比し百六十三萬九千圓を前年同月末の一千二百十三萬六千圓に比し二百七十四萬四千圓を激減してゐる

黃塵

◇…國民政府財政部では十三日金本位制法案を發表したとの入電に當市の銀價は十三日より落潮を辿り今朝は有史以來の安値六十五圓臺に下つた。

◇…金本位制實施の眞僞は保し難きもかゝる入電ある每に相場の變動から商內の激增を來し利益を受けるのは錢鈔信託會社である。

◇…支那において金本位制が早急に實施出來るかどうか疑問としても將來においては度々銀市場の大きな材料として取扱はれるに違ひない。

◇…恐らく日本の金解禁が銀市に變動を與へたと同じやうに支那の金本位制問題は將來銀材料としての大きな題目であらう。

◇…支那が銀價國なるが故に市場の生命を與へられてゐたと思はれた銀市が今度は金本位制實施說によつて當分新たな生命を與へられることになるは面白い現象である。

◆訂正 前回寒村とあるは農村、喚かれとあるは嘆かれの誤字につき訂正す

市況

今日の相場

▲五品 現物七圓四十錢
▲新株 錢鈔直十三圓八
▲綿糸 七限一五三圓三
▲綿布 銀安に買氣無し
▲麻袋 氣配現二六錢七
▲大豆 五月限三錢方安
▲豆粕 保合商狀で大引
▲豆油 强氣配を呈した
▲高粱 保合商狀で大引
▲鈔票 六十六圓で大引
▲大洋 九十八圓一〇錢
▲小洋 百八十三圓一五

特產 材料薄で一般平調

今朝の市場は差したる新規材料も無く大豆は弱保合、豆粕、豆油も亦添ひ保合商狀を呈し、平凡なる場面に推移した、今日の油坊生產高は四萬八千枚で操業工場は二十軒である

◇定期前場（銀建）

▲大豆（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	百五十車			

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	七千枚			

▲豆油（保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	五千箱			

▲高粱（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	五十二車			

▲包米（出來不申）

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	七〇三〇	七〇四〇
出來高	四十車	
普通（袋物）大豆（裸物）	六九四〇	六九四〇
出來高	四十車	
豆粕	二二七五	二二八〇
出來高	二萬八千枚	
豆油	一九九〇	一九九五
出來高	三千五百箱	
高粱	四五二〇	[illegible]
出來高	二車	
包米	四三〇〇	[illegible]
出來高	四車	

定期喰合高（十四日）（前日比較）

	喰合高	前日比較
大豆	二八三九車	[illegible]
高粱	二一〇九車	[illegible]
豆粕	六二四千枚	[illegible]
豆油	九九〇百箱	[illegible]

錢鈔 標金高銀塊安で鈔票暴落

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は十九片十六分の一と[illegible]

◇定期取引

◇現物取引

株

當限受渡高は株數千二百枚代金一萬圓足らずと寥々たるもので當限落後の喰合も中限一千二百六十枚先物三百六十枚と激減を示してゐる▲今朝內地は鐘紡の二圓七十錢安新東の一圓二十錢安を筆頭に諸株共軟弱を入れて當市現物の新東、鐘新もこれにつれて低落を示したが地場株は依然として閑散裡の保合であつた▲內地も玉整理の揉み合ひを繰返してゐるが矢張り財界の實相が依然として不況を示す以上低迷を續けるであらう▲失業問題は日々やかましくなる一正貨は漸減し金利は昂騰すべき筋道にあり政界も軍部問題にからんで不安の事情あり更に銀價は慘落を示すなど彼これ綜合すれば到底强氣を持てる時代ではあるまい▲組合では十八日午前十時から敷島神社の春季大祭を擧行し市場繁榮の靈驗あらたかなるやう祈願すると

豆

大豆は銀暴落により昨日前場一氣に昂騰を呈したが▲今朝は銀價の六圓臺割れを眺めたが響かず五月限は三錢方の低落を呈した▲豆粕、豆油も亦添ひ人氣引き立たず平凡なる場面を辿つた▲高粱は今朝出廻り十五車ほどあつたが連絡貨物多く差したる材料とはならず保合で大引▲既報の油坊聯合會の耳付粕に關する委員會は昨日取引所に於て開催されたが[illegible]

商品 前場

麻袋（弱含み）[illegible]

出來高（銀對金）五萬六千圓（銀對半）一萬八千圓

株式 五月十五日限受渡高 前回より減少

地場株不動

內地株軟弱

市場電報（十五日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊 一九片十六分一
同 先物 一九片十六分一
紐育銀塊 [illegible]
孟買銀塊 [illegible]
英米爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]

棉花

●米棉（換算六十錢安）現物、五月、七月、十月、十二月、一月 [illegible]

●印棉 ベンゴール、ブローチ、ウームラ [illegible]

大阪株式

東京株式

大阪期米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

神戸豆粕

橫濱生糸

印度麻袋

上海爲替情報

【上海十五日發電】倫銀は引續き支那賣り印度買氣薄に安く標金押値買氣ありたると三井物產、紡績筋、英米煙草等のデマンド一時に出廻りたるため三井、正金、滙豐の爲替買物多く標金は志豐永大連筋、元茂永、福昌の買に煽れも加はりて、一段と高かりしも、デマンドの一巡と大連筋志豐永、賣り標金は僞物寄り行過ぎにありたるため反落した、乘換は無難乃至二三匁先安見越し住友は現物七百本買ひ標金賣り一兩安にて同豐と片變り出來た

上海標金

寄付	五二二兩九
高値	五二六兩八
安値	五二二兩八
大引	五二四兩二

爲替相場（十五日正午）

奧地市況（十五日）

綿糸受渡高 五月十五日限

大連商品後場における延取引五月十五日限綿糸受渡高は扇面標百六十五梱、代金二萬三千九百五十圓で最高約定値百五十七圓五十錢最低約定値百四十八圓五十錢であるが受渡內容は左の如し（單位梱）

取引人	賣	買
日本棉花	三五	一〇
永順利	九〇	八五
三井別口	二五	—
從泰祥別口	一〇	六五

滿洲日報

現代社會を把握する唯一の武器!!

社會科學大辭典

定價金拾五圓
特價發賣 金拾貳圓
書留送料內地五拾四錢
至急最寄書店又は直接本社でお求め下さい。

社會科學の知識なくして現代に生存するは至難だ。本辭典は實に現下の社會思想、社會運動、社會問題に關する總知識の一大集成である。經濟學、政治學、法律學、哲學、史學、教育學、文學及び內外の社會科學者、社會運動家、政治家の經歷までを詳述せる我國最初の社會科學大百科辭典だ。包含する項目は實に二千有五百に達し、執筆者は斯學各方面の權威を網羅して百三十一名。語彙豐富にして、內容は正確、敍述は簡潔にして且つ平易、檢索また簡便にして價格は低廉。凡そ辭書として備ふべき有らゆる條件を斯くの如く完備せるは稀有である。而して本辭典が歐米の類似の辭典と比肩して最も特異なるは『日本的』なる點にある。我等は之を以て日本に於ては勿論、世界に於ける唯一無二の最良辭典として廣く江湖に薦む。

宛然是れ社會科學の小圖書館だ!!

社會科學大辭典執筆擔當者

（ＡＢＣ順）

社會民衆黨々首　日本大衆黨々首　東京帝國大學教授　法學博士　東京帝國大學教授　大原研究所員　東北帝國大學教授　京都帝國大學教授　大原研究所員　東京帝國大學教授　法學博士　東京帝國大學教授　東京帝國大學教授　法學博士　東京帝國大學教授　法學博士　大原研究所長　法學博士

安部磯雄氏　麻生久氏　穗積重遠氏　長谷川萬次郎氏　石濱知行氏　河合榮治郎氏　櫛田民藏氏　河村又介氏　嘉治隆一氏　森口繁治氏　森戸辰男氏　美濃部達吉氏　牧野英一氏　大內兵衛氏　大森義太郎氏　蠟山政道氏　末弘嚴太郎氏　堺利彦氏　高柳賢三氏　高野岩三郎氏

（以下未開揭出）

坐右不可缺の書

慶應義塾大學教授　小泉信三

改造社の社會科學辭書は坐右不可缺の書である。日本で社會科學の研究に從事する者は特殊の困難に逢着する。日本人として日本の事は無論知らなければならぬ。併し我邦の社會科學は、今のところ未だ西洋學問取次ぎの段階を脫却してゐるとはいはれないから、殆ど同じ程度に西洋の學問や事情を知らなければならぬ。又最近殊に帝國主義の研究が勃興したから、支那、印度、廣く東洋一般の事情を知らなければならぬ。社會科學の發達と共に一部の著作家は盛んに哲學的用語を雜にするから其意味も心得てゐなければならぬ。外國語並に外國語の略語を頻用すると語も亦た近時の一流行であるから、それにも通じてゐなければならぬ。此等の要求を一々滿たすといふことは實に容易な事ではない。社會科學辭書としては、前後九冊から成る獨逸の國家諸學辭典第四版、最近十五冊の第一冊を出したセリグマン教授監修に係る亞米利加の社會科學百科全書を舉げなければなるまい。それは何れも紀念碑的大編纂物であつて、其內容の詳しさ深さ（亞米利加物の方は未知數であるが）に就ては定評のあるものであるが、而かも此等の大辭書も、到底上述の如き多方面の必要には應ずることが出來ぬ。況や各項目の記事が詳し過ぎ長過ぎると、いふ或る意味での缺點があり、加ふるに外國語で書かれてゐるといふ不便がある。改造社の此辭書は、此等の諸體を考へて見ると、其規模の大小其他では比較出來ぬとしても、或場合には之に代り、或場合には之を補ふのみならず、多數の日本讀書人に取つて必要なる多くの項目を有する點に於ては、實に之に優るものだとも謂つて好い。改造社の刊行物中確かに此辭書は最も永續的價値を有するもの〻一であるといふことは斷定して憚らぬ。

特價提供〆切 六月廿日限

特色

□社會諸科學に關する知識は、その大小に拘らず、一切の項目を悉く網羅す。——されば、本辭典一卷を備へば、實に凡百の社會科學の書に匹敵す。□記述の方法は、平明にして懇切であるから、頗る理解し易く、その上、記事の取扱は、精確嚴正であるから、何人も安んじて信賴し得。□各項目には、一々、英・獨・佛等の原語を添へ、必要に應じて希臘、羅甸の原語をも引用して、淵源を闡明し、眞理を剖析す。□各項は互に連絡を圖り、引照を示してあるから、如何なる事項も掌を指す如く、容易に、正確に、廣く、深くその知識を收得し得。□各項目毎に內外の參考書目を舉示し、讀者の便益に備ふ。□各項目は、それ〴〵專門學者の實際家之に當り、且つ責任を明かにして署名す。□編纂は嶄新にして學術的。□校正は嚴正無比。□辭典の生命たる「索引」は、親切周到を極め、實際使用上の便益を圖る。□製本及び用紙は堅牢・強靭にして、絕對に破損の憂なく、印刷は頗る鮮明。「辭典」界切つての良書籍。

內容見本無代進呈

特價豫約規定

□體裁　全壹冊四六倍判、脊革、角革、兩面クロース、函入製本堅牢優雅、總六號活字、頁數一千四百二十餘頁　□頒布方法　豫約者のみ特價を以て頒つ締切期日までに最寄書店又は本社へ御申込下さい、締切以後は定價に復す。□刊行期日　昭和五年五月十日發行。□定價　金拾五圓。□特價　金拾貳圓。□拂込方法　一時拂＝御申込と同時に金拾貳圓拂込。二回拂＝昭和五年五月及六月中に金六圓宛二回拂込。但し途中解約者には返金せず。□配本　一回拂の方には昭和五年五月十日より配本。二回拂の方は二回目の御拂込と同時に配本。□送本料　會費の外に送本料を申受けます。東京市內金十二錢。內地五十四錢。鮮滿、臺、樺八十五錢。外國實費。□特價期間　昭和五年六月二十日限。

東京市芝區愛宕下町　改造社　振替東京八四〇二番

生理學汎論

醫學博士　浦本政三郎氏著　菊判布裝全壹冊　正價金參圓五拾錢　送料卅錢

本書は新たに高等學校教授課目に加へられた生理學の教科書又は同程度の修學參考用として編著されたものである。從來生理學の著書も一二に止まらないが何れも醫學書として編まれたものであつて生理學を生物現象の機能的方面を開拓する主要な生物科學の一分科として取扱つたものがない。本書の出現は正に此缺陷を補ふものである。全卷編を生理學總論、各論及實驗に大別し總論には主として生活體の化學的及エネルギー論的事項を記述し各論には生物機能を動物性官能と植物性官能との二方面に分ち前半には感覺運動の如き動物性官能に關係ある部分の生理學に就きて又後半には循環呼吸、榮養代謝排泄等を記載せり。第三篇に實驗を記述せるは本書の最も特徴とする所にして實驗は神經筋生理學を主とし動物性官能に關する簡單なる實驗ではあるがそれにより興奮性、收縮性の如き最も生理的な概念を把握する事が出來る。殊に本書の如く瀰汎に渉れる事項にも拘らず巧に各部の連絡を採れるが如きは確かに著者の如き豐富なる學識によつてのみ企劃し得る所であつて眞に本邦唯一の優著として之を高等專門學校學生、中等教員並に同檢定受驗者又は一般斯學學修者に薦むる所以である。

新刊

- 八木理學博士・小泉農學士　函數生物學　菊判布裝全壹冊　正價金六圓五十錢　送料五十五錢
- 三宅理學博士　昆蟲學汎論　菊判布裝全二冊　上卷金五圓　下卷金五圓也　送料各四十五錢
- 田原理學博士　一般植物學　菊判布裝全一冊　正價金三圓五十錢　送料三十錢
- 田原理學博士　植物形態學汎論　菊判布裝全壹冊　正價金四圓八十錢　送料四十五錢
- 湯野理學博士　ローマ字書き　實驗遺傳學　菊判布裝全一冊　正價金五圓也　送料四十五錢

基準有機化學

東京帝國大學助教授　理學博士久保田勉之助氏著　正價金五圓八十錢　送料五十錢

本書は高等學校高等科化學教授の要目に準據し同程度諸學校の教科參考用たらしむる目的を以て編著されたものであるが又一面中等教員並に同檢定試驗者にも好箇の參考たり得るものである。其內容は專門程度の有機化學として現在に時代遲れのせぬ堅牢なる礎石として自信あるもの即ち有機化學の專門知識に入るに今日の基準として保證され得る作品として提案すると云ふ心意氣を以て久保田博士多年の研究と其豐富なる經驗とを記述されたものである。故に敍述も懇切にして詳密、行文平易明解、然も斯學の最事項を網羅して遺憾なく眞に斯學最新の優著として推薦するに足る。切に本書が斯學新進學修者に繙かれんことを期待するものである。

新刊

- 松井理學博士　分析化學　菊判布裝全一冊　正價金四圓八十錢　送料五十五錢
- 松井理學博士　有機化學講義　菊判布裝全一冊　正價金四圓也　送料三十錢
- 內山農學士　ベルトラン　實驗生物化學　菊判布裝全一冊　正價金四圓也　送料廿六錢
- 久保田理學博士　化學實驗法　菊判布裝全一冊　正價金一圓五十錢　送料二十二錢
- 山岡理學士　化學史傳　菊判布裝全一冊　正價金四圓八十錢　送料五十五錢

元素と化合物

秋田鑛山專門學校教授　理學士今泉善夫氏著　正價金五圓八拾錢　送料五十錢

本書は無機化學の各論的事項即ち單體及化合物の化學を網羅し夫等の產狀、製法、性質等に就きて最も詳細に記述せるものであるが、斯くの如く單體及化合物全般に渉りて廣く收集記載せるものは邦文書中其の類を見ざるところにして加之各元素のスペクトル線の波長表を附してスペクトル分析に、又廣く結晶の顯微鏡寫眞を添附して元素の顯微鏡的檢出に便ならしめたる等特に著者の苦心の存する所にして高等學校、專門學校等の學生の修學參考たるは勿論各種化學工場、研究所、病院、其他一般化學關係者の必ず備ふべき良書として之を御薦めする。

新刊

- 鮫島理學博士　物理化學實驗法　菊判布裝全一冊　正價金五圓五十錢　送料五十五錢
- 箕作理學博士　理論化學　菊判布裝全一冊　正價金七圓　送料五十五錢
- 富永理學士　無機化學　菊判布裝全二冊　總論金三圓八十錢　各論金三圓八十錢　送料各三十錢
- 箕作理學博士　理論化學講義　菊判布裝全二冊　上卷金三圓　下卷金二圓八十錢　送料廿六錢
- 北岡理學士　書沼忠大　トムソン　化學と電子　菊判假裝全一冊　正價金一圓八十錢　送料二十錢

出版元　東京市麴町區中六番町五四　電話九段千拾　振替東京百七　合名會社　裳華房

大支那大系

豫約募集　全十二卷

創立三周年記念出版

東洋文化の綜合鳥瞰　新支那研究の大文獻

謎の國支那！廣大無邊の土地と人口と、恐るべき無盡の資源を包藏してアジアに蟠居する支那の未來こそ必ずや世界を恐倒せしめずにはおかないであらう。**今や吠える支那の一顰一笑は電光の如く世界の耳目を聳動しつつある。**此澎湃たる民族の動きを見よ！光芒燦然たる其文化の跡を見よ！支那は古來吾國との交通最も密接の間にあり輓近事毎に重大なる國際問題を釀生しつゝあるの時**大支那の眞相を把握せずして何が政治ぞ！外交ぞ！經濟ぞ！文化ぞ！藝術ぞ!!**茲に於て我が萬里閣は遂に起つた。即ち**支那學界、支那研究のオーソリテイを網羅總動員して滿天下に獻ぜんとする。**其內容の偉觀は我社三ケ年の苦心編纂になる、蓋し支那研究上曠古の一大文獻！速に申込あれ

申込金不要

第一回配本（五月十日）●風俗趣味篇
第二回配本（六月五日）●政治外交篇

編纂顧問（順序不同）

陸軍中將貴族院議員　阪西利八郎
文學博士　服部宇之吉
男爵滿鐵理事　大藏公望
駐日支那公使　汪榮寶
子爵　澁澤榮一
法學博士農學博士　新渡戸稻造
文學博士　內藤湖南
伯爵　內田康哉

(1) 大支那總論　文學博士　內藤湖南
(2) 現代支那史觀　國學院大學教授　松井等
(3) 政治外交篇　外交　岸田英二　政治　時事新報外報部　榛原茂樹
(4) 財政經濟篇　財政　長野朗　經濟　大阪每日新聞經濟部長　長永義正
(5) 地理交通篇　地理　三高教授　藤田元春　交通　長野朗
(6) 社會民情篇　社會　長野朗　民情　後藤朝太郎
(7) 思想宗教篇　水野梅曉
(8) 風俗趣味篇　後藤朝太郎
(9)・(10) 文學演劇篇　特殊文獻　大東文化學院教授　國分青厓　說文　文學博士　鈴木虎雄　戲曲　東北帝大教授　青木正兒（交渉中）　小說　一高講師　長澤規矩也（交渉中）　女流文學　臺北帝大教授　久保天隨（交渉中）　民間文學　東大助教授　竹田復（交渉中）　現代文藝　前北京新聞編輯長　瀨沼三郎　現代劇　榛原茂樹　映畫　大每東亞通信部副部長　村田孜郎
(11) 滿蒙事情篇　松井等
(12) 美術工藝篇　書道　帝室博物館美術部長　河井荃廬（交渉中）　繪畫　帝國美術院會員　溝口禎次郎　原田謹次郎　金工　香取秀眞　石工　工學博士　關野貞（交渉中）　木工　東京高等工藝學校長　安田祿造（交渉中）　彫刻　工學博士　關野貞　建築　工學博士　伊東忠太　陶器　特許局審査官　奧田誠一　漆器　東京美術學校教授　六角紫水　染織　明石染人　服飾　東大助教授　原田淑人（交渉中）

大特典 新興支那大地圖 進呈

▲會員全部洩れなく進呈＝全額拂込會員には第六回配本と同時に月拂込會員には全十二卷完本と同時に進呈す。每縱四尺橫三尺精巧鮮明彩色印刷。學校會社銀行家庭の掛圖用。產業全般一目瞭然。

體裁

▼四六判背皮總クロース金文字入　▼本文九ポイント總ルビ付六百頁內外用紙別漉光澤紙　▼口繪寫眞版三十頁、刷込寫眞五十葉入（內容見本進呈）

豫約略規

▼會費每月拂二圓　一時拂二十三圓に割引（直接本社註文）　▼送料一冊に付市內六錢、市外十二錢づつ　▼配本五月より每月一冊宛、昭和六年二月完了。絕對に分賣せず

東京日本橋東京驛東口　振替東京七七二〇　電話日本橋（二）一五二五　二四三七

萬里閣書房

社說　日支關稅協定の將來

幾多の紆餘曲折を經て日支關稅協定は十六日より正式に調印され、今日より效力を發生することゝなつた…［illegible］…

…如きも曖昧なのが少くなかつたが現に總額十億元を超えてゐるのに對し支那の支拂能力は極めて微々たるものであるから、我國としても極めて不確實なものや利は切捨てゝ支那の現狀に大きな同情を寄せることが大局から見て、兩國のため得るところ多くなからうか。

◇

要するに我國としては何れの問題にせよ、今後も大局高所に着眼して忍び得る最大限度の讓歩をなして赤心を披瀝すると共に最後まで讓るべからざるものは斷乎として主張し以て自主外交を確立せねばならぬ。支那としても今回の協定は我國が支那の繁榮を熱望期待するあまり讓り得る全部のものを讓つて成立したことを十分諒解して今後、誠意と友誼とを以て協定を遵守し信を國際間に厚くすることにより共榮への道を進まねばならぬ。かりそめにも協定蹂躙乃至濫用、高率の輸出稅課徵、外資拒否、重商主義、以夷征夷主義等の如き橫道逆用の誘惑に陷らば他國民より以上に自國民の幸福を害うて永く迷路に入るであらう。

失業者を救ふいろ〳〵な方策

閣僚から濱口首相に進言せるも　實行は容易でない

【東京十五日發電】政府は特別議會に於て失業者救濟の爲め［illegible］…

…かつた事を暴露して居り、從つて政府が議會後の緊急解決案件として本問題に就て其の具體案を明にし實行に着手するは

容易ならず　と見られて居る。而して閣內に於ても失業救濟事業には國庫補助の條件を緩和し補助額を增加すべき事

一、失業救濟事業の認可は非常時として認可條件を緩和する事、智識階級の失業者は思想方面にも重要なる關係を生ずるから極言すれば無條件認可も差し支ない

一、經濟事業「農業調査、國勢調査、資源調査等の調査は勿論其の他公共事業」…すべしとの意見が起り首相に提言してゐるが、問題は直ちに

財源に影響　するので大藏省の容認を得る事が容易でなく實行に就ては政府自らも確信を持つてゐない模樣である

殘された重要政策

達成に全力を注ぐ　民政黨の方針

【東京十五日發電】民政黨では議會に於て…［illegible］…する方針及び各種政策の遂行に關し協議する筈であるが、特に問題に關する對軍令部關係、政府關係につき善處の方法を講ずると共に、產業合理化國產獎勵、失業防止及び之が救濟に關し協議する筈である

本日の閣議

【東京十五日發電】政府は十六日午前十時から閣議を開き…［illegible］

米關稅改正に抗議

【ワシントン十四日發電】米國關稅改正案に對し米國々務省は諸外國政府より抗議を受けてゐるがその數は三十二ヶ國に達してゐる

籠城三ヶ月　降らぬ高桂滋軍

頑張り中央軍に對抗

【天津特電十四日發】…高桂滋軍は旣に投降して改編されたと傳へられてゐるが、事實は

全く無根　蔣介石派の宣傳［illegible］…た、初めから陳調元氏の部隊軍が諸城を包圍し又蔣介石軍は攻めに方針を改め包圍してゐたが最近山東西部の戰ひが緊張し濟寧附近が危ふくなつた爲め包圍を泰安の馬鴻逵軍に讓つた、斯くて陳漢耀軍は莒縣を、馬鴻逵軍は諸城を監視の形式で

包圍して　ゐるが城內からも一發も擊たず、城外からも攻擊せず睨み合つてゐるが面白いのは攻防兩軍で互に使節を交換して何事かを協議しつゝある一方城內の野菜が缺乏した場合は包圍軍が無料で供給し物々交換の取引も行はれ城內の住民も休戰狀態なので平常通り營業をつゞけてゐる、高桂滋氏が今後如何なる態度を取るか疑問だが目下の狀態では依然蔣介石側に

投降せず　頑張つてゐる、一般は之を民國內戰の三大籠城の一だとし敵味方共に「好看！」と稱し高氏に敬意を表してゐる（寫眞は高氏）

石氏の部隊陳漢耀軍が莒縣を包圍して頻りに攻擊を加へたが高軍は孤立無援ながら克くこれを防ぎ往年の武漢の劉玉春氏、涿州の傅作義氏の如く敵をして一兵だに城內へ入れしめず對峙してゐる、蔣軍側では猛擊するも落ちないので兵…

天津に新稅關

山西側で設置に內定

【北平十五日發電】山西側の天津海關差押へ目的達成の爲め新稅關を設置せんとする計畫進捗し、不日具體化せんとしてゐる、新設の場所は塘沽、大沽說もあつたが徵稅に不便の爲め天津の舊ドイツ租界碼頭に臨時徵稅所を設置することに內定せる模樣である

徐州、漢口地方を二週間內に攻略

馮玉祥軍の意氣込み

【北平特電十五日發】南北兩軍は愈々隴海線方面で衝突近く大決戰が行はれるものと豫想されたが當地に達した情報によれば馮玉祥氏は二週間內に徐州、漢口を占領する意氣込みで先づ隴海線方面に主力を集中二十餘萬の軍隊を三路に分ちて進擊せしめて居る、右路は孫蔚如、萬選才軍で蘭封、考城一帶に駐まり、中路は鹿鍾麟軍で鐵道に沿ふて前進、左路は孫殿英軍で歸德、潁州、亳州、馬牧集一帶にゐる、尚第八方面軍總司令樊鍾秀軍は孫殿英軍と協力して敵に當るべしとの命を受け前敵總指揮任應岐軍は許昌上蔡方面より進擊中

葫蘆島築港計畫宣傳

起工式は未定

【山海關特電十四日發】北寧鐵路局の消息に據れば、葫蘆島築港工事は請負者たるオランダシンヂケート側で目下續々材料を運搬すると共に近くオランダ汽船の手で浚渫事業も開始されるが鐵路局港務處は工事監督の爲め先月三十日奉天から該地に移轉し商埠局內で事務を執つてゐる一方護路隊一個小隊も派遣され治安維持に任じてゐる、起工祝賀會は六月十五日に內定してゐるが確定的ではない、當日は港內暗礁の爆破作業を試みて景氣を添ると尚大連港の水深は十米突內外だらうが葫蘆島は十二三米突內外だから將來港外の小島暗礁等に浮標燈臺さへ据つければ如何なる大船でも自由に入港することが出來ると宣傳してゐる因に工事材料の運搬は事實らしいが起工式は尚日取さへ決定してゐない、鐵路局では目下頻りに該島に關する宣傳材料を集めてゐる

第二回國勢調査規則と施行細則

本日廳令で發布さる

豫て關東廳當局に於て起案中の今秋十月一日を以て決行さるべき第二回國勢本調査に關する規則及施行細則は這般開會される評議員會に諮り研究の結果最近愈々決定を見たので同廳では今十六日の廳報を以て詳細なる規則を公布したが

主なる要項　は左記の通りである、尚今回の調査における新味は產業、失業の調査や住居の室數の調査が加はつたる外、被調查者の範圍を現在主義としたることゝ調査の方法を世帶主自ら申告書に記入する所謂自計主義を原則としたること、次に先年の第一回調査における調査委員は全部警察官を以て充てられたが、今回は官公署、學校、その他諸團體民間の各方面より名譽的に適任者を推擧し官民協力しての重要なる一大調査の良結果を圖ることゝなつた諸點である

國勢調査要項

一、調査期日　昭和五年十月一日（午前零時の現在に依る）

二、調査地域　關東州及南滿洲鐵道附屬地

三、調査事項　一氏名、二世帶における地位、三男女の別、四出生の年月日、五配偶の關係、六職業（本業及副業）七所屬の產業（勤め先の名稱及業務の種類）八失業（日本人）九普通敎育の有無（滿十五歲以上）十本籍民籍又は國籍、十一出生地、十二來住の年（日本人）十三住居の室數

四、調査方法　調査票は各世帶に付一通を用ひ各世帶員に關する事項を列記する世帶票式とし世帶主又は世帶管理者を申告義務者とす調査票の配付蒐集は國勢調査委員をして之に當らしむ

五、調査機關　地方實查は地方國勢調査部長（州內は民政署長及民政支署長、附屬地は事務官）警察官署長）指揮監督の下に國勢調査委員（公務員及地方有志）をして之に當らしめ外に地方國勢調査參與員（公務員及地方有力者）を置き趣旨の普及並調査の圓滑を計らしむ、但し陸海軍の部隊艦船外國軍艦の調査に付ては關東長官に於て其の首腦部と協議し特別の取扱を爲すものとす、國勢調査委員は警察官署長の推薦に基き地方國勢調査部長の內申に依り關東長官之を命ず地方國勢調査參與員及國勢調査委員は名譽職とす

六、結果の整理公表　調査結果の整理は全部中央集查とし申告書其の他の材料は其の儘地方國勢調査委員長より進達せしめ本廳に於て之を整理し結果表を作成するものとす而して結果發表の豫定は左の如し

▲人口概數報告　昭和五年十二月

▲人口確定報告　同六年六月

▲全體結果報告　同六年より八年

各國の犧牲で軍縮會議は成立

樺山伯門司で語る

【門司特電十五日發】ロンドンにおける軍縮會議に顧問として臨んだ樺山愛輔伯は大連から香港丸で今朝門司着、下關山陽ホテルに休憩し再び船に歸り正午發海路神戸に向つたが、英國式紳士の如き伯はにつこりとして語る

コンフアレンスといふことは不足を

持ち寄つて　會議するといふことである、既に不足を持寄るのであるから各國とも皆多少の犧牲をしのんでをる、犧牲をしのんだから成立したのである、即ち英國は大巡七十萬噸を要求して二十萬噸減の五十萬噸で折れ合ひ、米國は二十三萬噸の要求をして十八萬噸となり日本は總體的に對米七割の主張をなし內容において潛水艦七萬五千噸の主張が英米と同じ五萬二千噸となり大巡において論點を殘す形となつた米國が軍縮期間內において三隻を建造した曉千九百三十六年後には日本は對米六割二厘となるといふので軍部の論議となり、此の結果は國防をあやふしとされてをるが

三十六年に　なつて直ちに戰爭が起るわけではなく、三十五年まである會議の效力內に良く考へてよいと思ふ、殊に會議の精神から、また國際信義の上から見て卅六年にすぐ危機を生ずるとは思はれぬし缺陷を補ふ道は考慮されてをる、若槻全權は專門家の意見を良く聽き、會議に於ては遺憾なく論議を盡された、その率直公明の態度には列國皆敬服した、軍縮會議に臨む列國專門家の基礎的主張は皆練りに練つたもので讓步されぬ立場であるが、專門家の意見だけでは當然會議は決裂の他はないから政治的に

何れも讓步　をして成立したので、日本が讓步しなかつたら全く成立しなかつた、英米共非常にこれを德とし日本に感謝してゐる、此の無形の政治的利益はやがて外交關係において好轉すべく、殊に日本は支那において米國との外交關係が好轉することは確かで此の利益は軍縮會議において失つたものを償つて餘りあるに至るであらう、米國全權のキブソン氏リード氏等は政府反對黨の人であるが「吾等は全權であるから政府の主張を支持する反對黨としての意見は國に歸つてからのことで、此の會議においては沈默を守る」と言つてゐた、財部海相の立場は

最も同情せ　ねばならぬ全權として臨んだので海相として臨んだのではない、若槻全權の回訓後海相が私電を發したと批難するが其後幾多の私電は發せられてをると會議に於てはあくまで全權であり大局から見て全權の任務を果されたもので若し日本が會議決裂の責任を負ふやうにでもなつた時には日本は苦しい立場となり、外交その他あらゆる方面に困難を來すかも知れない、財部全權としては問然するところはない、ただ財部海相として問題を殘したとの論議はあるかも知れぬが大局から見て樞密院といへども理解を持つと信じてゐる

鮮農壓迫のため新なる積極政策

移民開墾辦法を設く　間島琿春方面で

間島琿春地方に於ける支那側の積極政策は最近愈々著るしくなり、各種の法令を發してこれが斷行を期してゐる、而してその現はれとして旣に鮮人敎育權の回收、在住鮮人の戶口及び財產調査、土地測量鑛區調査等續々として實施され更に進んでは日本の警察權にまで容喙しこれがため旣に數回に亘り日支警官の衝突事件をさへ惹起してゐる程であるが、更に最近探聞するところによれば間、琿兩縣では鮮農壓迫のため新たに移民墾荒辦法を設け鮮農の取締をすると共に省外各地よりの支那人移民を獎勵し、之に積極的の保護援助をなし以て鮮農に對抗せしむべく旣に本年も播種期にあたり移民に種子を與へ農具を貸與してその發展を援助してゐると

一、之れによつて得たる株式差金一千五百六十萬圓を損失に補塡す

一、大阪船場、橫濱、上海、漢口、大連、靑島、孟買、蘭貢の八支店を殘し東京、名古屋、天津、香港、カルカツタ、スラバヤ、シドニーの七支店を出張所とす

決戰期が近づいた南北兩軍の陣容（上）

戰線實に百八十邦里

南軍

南軍は蔣介石總司令の下に三軍團長（韓復榘、劉峙、何成濬）を置き更に後方には有力なる豫備隊を擁る南北百八十餘邦里、東西、同じく百五十邦里の半月形大戰線を布く、即ち南北は浦口より禹城に東西は徐州、宿州、蚌埠を起點にして遠く京漢線の駐馬店、信陽、襄陽に及び所謂支那式の萬里の戰場は未曾有の廣袤と稱せられてゐる、初め蔣總司令は內戰作戰を主として買收により北軍の潰滅を謀つたが最近では之を變更して攻防兩線の作戰を進め親く徐州に出馬して全線を指揮しつゝある、今その陣形を見るに東、津浦線の徐州より西、平漢線の駐馬店に至る線を第一線とし

第百四十五旅　彭啓彪（韓莊）
第二師　顧祝同（徐州）
第三師　陳繼承（碭山）
第一師　劉峙（永城）
第四十七師　王金鈺（駐馬店）
第四十八師　上官雲相（同）
第五十四師　郝雲鵬（確山）
同上第二旅　岳維峻（同）
第十七師　楊虎城（南陽）

の大軍を備へ更に津浦線方面には第五十二師（蔣鼎文）の一部を臨城に、第二師（顧祝同）の大部を曲阜に、陳調元軍の第四十六師（范熙績）第五十五師（阮肇昌）を濟寧、兗州一帶に、馬鴻逵軍の第六十四師を泰安に、陳調元軍の警備第一二旅を濟南に備へ、第一軍團長韓復榘氏は其主力――第二十九師（曹海林）を膠濟沿線に第二十師（孫相宣）を禹城に――を黃河沿岸に進め北軍に對峙せしめてゐる、次いで第二線は東、宿州を起點として西、信陽に及び

第二十一師　李雲杰（宿州）
第百二十五旅　彭進之（同）
第七師　王均（同）
第五十二師　葉開鑫（渦陽）
第十師　楊勝治（大和）
第六師　趙觀濤（信陽）
第四十四師　蕭之楚（襄陽）
第五十一師　范石生（同）

の各軍は蜿蜒として第一線に呼應し安徽、河南の各地で北軍と對峙し更に第三線は安徽の蚌埠、鳳陽を起點として西、遠く漢口に呼應する線で

第五師　熊式輝（蚌埠）
第十一師　陳誠（同）
第九師　蔣鼎文（孝感）
第四十五師　衞立煌（壽陽）
第四十八師　徐源泉（德安）

の各軍が控てゐるのみでなく南京浦口には第廿八師（米文和）第廿九師（袁德世）の各軍が編成ある暫編第一師…二師（張治中）と共に總豫備隊と…

…軍費において優勢で早くも北軍にありとさへ傳へられつゝ

鄭州における邦人保護を要求

北平矢野書記官より

【北平十五日發電】陸、海、空軍總司令部外交署長茶鶴年氏は昨夜在留邦人の保護方要求の書翰に接したので今朝閻、馮兩氏に對し右の趣きを傳へ特に保護辦法を講ぜられ度いと打電した

鄭州邦人避難

【北平十五日發電】鄭州來電によれば最近中央軍飛行機は毎日三、四回當地に三、四十個の爆彈を投下し居留邦人は鄭州病院に全部避難してゐる

日棉整理決定

二千萬圓に減資

【大阪十五日發電】日本棉花は豫て業績不良の爲今回整理する事となり整理案は債權者たる正金銀行と協議作成中の處、十五日左の通り發表された

一、資本金五千萬圓を二千萬圓に減資す

營業稅調查委員

十五日關東廳より囑託

本年度からの關東州內に於ける營業稅は去る三月三日關東廳報を以て公布されたる改正營業稅規則に依り賦課さるので、その課稅標準の決定は從來民政署限りにて決定されてゐたのが、今後は

關東長官　に於て囑託した各民政署（支署）管內居住の義務者より成る民間の所謂營業稅調查委員會に諮問しその上で決定さるゝこととなり、從來より餘程負擔の公平と合理化を見たが同廳では十五日左記の通り今明年度中の各管內委員を囑託發令する所があつた

▲旅順民政署所轄內　岩永幸三郎、田中德三郎、孫兆安、王錫三

▲大連民政署所轄內　株式會社滿洲銀行頭取村井啓太郎、大連工業株式會社代表者枡田憲道、瓜谷長造、赤松常吉、政記輪船股份有限大連分公司代表者獅谷仙次郎、鈴木新五郎、張本政、曲子源、麗陸堂藥誠九

▲金州民政支署所轄內　加世田彌次郎、郭光甲、王志元

▲普蘭店民政支署所轄內　小出英吉、孫中正、林學善

▲貔子窩民政支署所轄內　稻田太造、安積善、高丕德

ヂルシュ族遂に叛亂

【ボムベイ十五日發電】從來英國の統治に忠實であつた印度西北部の土地のヂルシュ族も遂に叛亂を起しミラムシヤ附近のダツタケルを占領した、北部のジリスタン駐屯軍は飛行隊の應援を得てこれを…

高粱輸入稅

廢止令近く公布

旣報今期議會に政府案として提案される滿洲高粱の輸入稅廢止案は旣に貴衆兩院を無事通過し兩三日中法律を以つて公布さることゝなつたが、實施の上は年額二十五萬圓の輸入稅が廢止さるので當業者の一大福音である

商品信託總會

役員改選さる

大連商品信託會社では旣報の通り十五日午後三時から臨時株主總會を開き左記の件を附議した

一、昭和四年十二月以降營業經過報告及將來の方針

一、役員總辭任に付全員選任の件

一、定款變更の件

右の內定款變更の件は原案通り承認し役員の改選は銓衡の結果左記の通り選任し取締役社長は井上輝夫氏に內定した

（取締役）井上輝夫▲中川隆造▲漏子祥▲松村久兵衞（監查役）恩田龍壽郎

大連市役所の職制改正

本月末に發表

大連市役所の職制改正は目下田中市長、永井助役の手に依り鋭意準備中であるが、發表および實施は今月末になるであらう

畑軍司令官入院

畑關東軍司令官は數日前來小腸を病み官邸に臥床療養中であつたが治療の便宜上十四日から旅順衞戍病院に入院した尙病狀はさしたることもない模樣であるが當分面會を斷る由

はるびん丸船客

【門司特電十五日發】十七日大連港外着豫定のはるびん丸の主なる乘客左の如し

侍從武官蓮沼蕃、農林省技師近藤次郎、三木與、會社員前川清逸、川崎舍恒三、林達夫、關東廳技師武田守人、製菓業和田宇三郎、額賀民江

關東廳辭令（十五日附）

任關東廳屬　勳七等　岡本五六

人事

▲善導大師參拜團　一行十八名は十五日來連、十八日奉天へ向ふ豫定

▲長澤圭五氏（關東廳技師）關東廳土木課に轉じ近く旅順へ移轉する十五日、各所歷訪挨拶

▲杉野耕三郎氏（辯護士）山城町二ノ五に移轉し辯護事務に執掌すると

安東囃子

秩父宮さまが橘山からのお歸り道で達子營の支那農家へ成らせられたとき▲御案內申上げたのは全線の驛長中の元老で首山の名物男として知られてゐる男澤芳三郎氏であるが▲殿下が味噌壺の蓋をおとりになつたので「これは虫がわくほど美味しい味噌でございます▲支那人の申しますのには虫でも美味いものと不味いものをよく存じてゐまして虫がわくから美味いと申して居ります」と御說明申し上げたところ、殿下には扈從者を顧みられて御哄笑遊ばされたと洩れ承る▲また奉天で支那商が骨董の僞物をホテルに持ち込んだのを入田滿鐵囑託が發見し台覽に入れることを取り止めたといふ支那らしいエピソードが傳へられてゐる。

本日廳報を添ふ

特產

定期後場（銀建）

▲大豆（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	七〇四〇	七〇四〇	七〇三〇	七〇四〇
六月末	七一三〇	七一五〇	七一一〇	七一四〇
七月末	七一〇〇	七一三〇	七一〇〇	七一三〇
八月末	七一七〇	七一九〇	七一七〇	七一九〇
九月末	七二〇〇	七二三〇	七二〇〇	七二〇〇
出來高	百七十車			

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	一三〇〇	一三〇〇	一三〇〇	一三〇〇
七月限	一三一五	一三一五	一三一五	一三一五
八月限	一三一〇	一三一〇	一三一〇	一三一〇
出來高	三萬九千枚			

▲豆油（見醒）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	二〇三〇	二〇三〇	二〇三〇	二〇三〇
七月限	二〇四〇	二〇四〇	二〇四〇	二〇四〇
出來高	一千箱			

▲高粱（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	四四〇〇	四四〇〇	四四〇〇	四四〇〇
六月末	四三七〇	四三七〇	四三七〇	四三七〇
七月末	四三八〇	四三八〇	四三八〇	四三八〇
出來高	八車			

▲包米（出來不申）

現物後場（銀建）

	寄付	大引
混保（袋込）	七〇五〇	七〇六〇
大豆（裸物）	―	―
出來高	三十車	
普通大豆（袋物）	六九六〇	六九六〇
大豆（裸物）	―	―
出來高	二十車	
豆粕	一三八五	一三八五
出來高	一千枚	
豆油	二〇一〇	二〇一〇
出來高	二千箱	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔

定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	期近 二百二十五萬圓			

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金）一萬四千圓（錫對洋）二萬二千圓

神戸特產（十五日）

大豆現物、先大豆、先豆粕、豆粕現物、滿洲小麥、豆油現物　[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	不申	不申
鐘紡新	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株新	[illegible]	[illegible]
鐘紡新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]

東京株式（短期）

銘柄	後場寄	後場引
中信	[illegible]	[illegible]
先新	[illegible]	[illegible]
中豆	[illegible]	[illegible]
先豆	[illegible]	[illegible]

	値
寄値	五品
引値	不申
高値	不申
安値	不申

大阪期米

限月	後場寄	後場引
五月	二七四七	二七五〇
六月	二七六五	二七六六
七月	二七九七	二七九九

神戸期米

限月	後場寄	後場引
五月	二七五六	二七五二
六月	二七七八	二七七六
七月	二七九九	二七九九

東京期米

限月	後場寄	後場引
五月	二七二一	二七二二
六月	二七四〇	二七三八
七月	二七六三	二七五九

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]

貧乏人に購買力を與へよ
國民所得の尠い日本
國產愛用に當面して

どこの國でも金持はコスモポリタンである、金さへあれば世界中から最上等の品物を取寄せることが出來る、洋服にしてもイギリスの生地を取寄せて作る、手織がよければスコッチ・ホームスパン、アイリッシュ・ドネガル——何でもお好み次第である。

貧乏人の購買力

貧乏人はさうはゆかない、彼等は已むを得ざる國產愛用者であるその國產さへも思ふやうには買へない、彼等に今少し購買力を與へよといふ議論が勢を得て來た、さうすれば國產品の需要も增加するであらう、アメリカの「賃銀革命」とか「高い賃銀の經濟」とかいふのも畢竟その狙ひどころは國產愛用——國內產業の繁榮維持である、近代的の產業は總て大量生產である、從って大量需要がなければ成り立たない、大量需要の消長は大衆の購買力の增減から起る。

日本の國民所得

インド人はドウテイといふ大巾の綿布を身に纏ふ、小賣値段にして一着分邦貨一圓か二圓ぐらゐ、わが國でも近年これを作って年々三、四千俵インドへ輸出してゐる、インドには三億の民衆が居る、不識をかこつイギリスの綿業者が斯う言ってゐる、三億のインド人が各々一年に今一着餘分にドウテイを買ってくれたら、ランカシアの紡績會社は忽ち息を吹き返すと、大衆に向って消費を節約せよと呼びかければ、應と答へて出て來るものは產業不振の鬼である、その鬼を擊退するために政府は今や國產愛用——即ち國產品の消費促進運動を始めやうとして居る、ところが日本國民の所得は他の國民に比べ非常に少い。

一人國民所得（昭和三年）

國	國民所得	一人當（圓）
アメリカ	九百億ドル	一、[illegible]〇〇
イギリス	四十億ポンド	八[illegible]〇
フランス	二千五百億フラン	五〇〇
ドイツ	六百億マーク	四[illegible]〇
日本	百二十億圓	二〇〇

國民所得の少い日本の產業界は海外の購買力によって維持されてゐる、世界的不景氣が來て、輸出が振はなければ日本の產業が萎縮するのは當然である。

日本の個人所得

わが國の購買力が振はないのは富の分配が不公平で貧富の懸隔が甚だしいからだといふ說がある、大藏省の調べによると昭和三年度の第三種所得稅納稅者は左表の如くである

個人所得	人
千五百圓以下	二八二、一五五
二千圓以下	二一四、一〇七
三千圓以下	一六七、六八三
五千圓以下	一四三、三四四
七千圓以下	五一、三二四
一萬圓以下	三四、五九〇
一萬五千圓以下	二三、三五八
二萬圓以下	一〇、一一九
三萬圓以下	八、九六〇
五萬圓以下	五、九三二
七萬圓以下	二、一七七
十萬圓以下	一、二九八
二十萬圓以下	一、一五〇
五十萬圓以下	四二八
百萬圓以下	四〇
二百萬圓以下	一八
三百萬圓以下	五
計	九四六、六八八

アメリカに就いて右と同じやうな表を作り、日米の比較をして見ると日本では年收五千圓以下が納稅者總數約百萬人の八割四分に當り、アメリカでは五千ドル以下が納稅者總數二百五十萬人の六割四分になってゐる、要するに貧乏人の割合は日本の方が多く、金持の割合はアメリカの方が多いといふことになる。

廿一個條々約
無效論の再檢討
中華民國國恥記念日に際し

法學士　渡邊龍策

【下】

(二)無效論の第二理由

日支條約無效の第二の理由として唱へられる所は、該日支條約は強制に基いたものなるが故に無效であると云ふのであって、これは支那側に於て機會ある度毎に力說される所である、併しこれは法律上から論じても事實上から見ても共に理由をなさないものである。

先づ法律的見地から之を論じて見よう。條約は合意なるを以て其の成立する爲めには双方の國家の意思の一致がなければならない。己の判斷力を奪はれて無意識、又は無理に調印せしめられた條約の無效なることは個人間の契約と同じである。併し謂ふ所の自由意思とは條約の談判調印の任に當る全權委員その人の自由意思を云ふのであって、その代表する國家の自由意思ではない。國家の機關として談判調印に當る全權委員に對して加へられたる暴行強迫に因って結ばれた條約は、眞の國家意思の一致なしと認むべく、無效を主張し得るのであるが、國家が強國威壓を受けた結果、又は戰爭に敗れた結果として結んだ條約も、國際法上は有效なものと看做されるのである。若し然らずとすれば、戰勝國の銃劍の前に成る講和條約の如きは殆ど成立する機會がなくなり又戰敗國が何時でも其の欲する時に於て無效を主張するに至り、國際關係の安全は保し得られない。國際法が未だ強力に依る紛爭解決を禁ずるまでには行かぬ爲めに、強力に依り結ばれた條約の效力を否認することが出來ない現狀にあっては致し方ない事である。この見地よりして往年の日支條約談判を見るに、該談判者その人の意思の自由は何等妨げられてゐなかったので、この點に於て條約の無效を主張し得べきものではないと信ずる。

更に之を事實上から見る時に、該條約の無效、從って關東州租借地、南滿洲、安奉兩鐵道の返還を主張するのは實にピント外れである。何となれば、大正四年の日支條約は最後通牒によって其の內容の大部分を支那が承諾したもので、該條約の大部分はそれ以前に既に協定が遂げられて居ったものである。それを日本の關東州租借權の延期は不當の事態の下に獲取したものであるといふのは、ちと虫がよすぎはしまいか。ましてやその最後通牒なるものも、當時支那政府側より國內の異論を取鎮むる必要上、之を發して呉れとの秘密の依賴があったがために發せられたものであるとの噂が眞なりとせば尚更のことである時の外務大臣加藤高明伯も亦公然と最後通牒は讓歩するに際し支那國民に對して袁世凱の顏を立てるために彼に依って懇願されたものであるとの言を洩らしたことは、敢てブロンソン・リー氏のジャパンタイムス紙上に於けるすっぱぬきを俟つまでもないことである。

(三)支那の取るべき道

以上の如く所謂二十一箇條約、即ち大正四年五月廿五日調印の日支條約なるものは無效は、何等道理に合せるものが無いのである。にも拘らず今日に至るも支那側論客は十年一日の如く同じ論鋒を以て無效を口にしてゐるのは遺憾な事である。勿論世界の形勢は日增に變遷する。時代の變化と共に支那の狀勢も大分變って來た。そこに古き條約を新しき條約に改め時代に適合せしめねばならぬ必要があらう。だが、改訂せざる條約はそれが早晚改訂を要するものとしても、それを無效とすることは國際秩序の許さゞる所である。

十年一日の如く二十一箇條問題を大切にして、そしてその振廻し方までも型にはめて置く間には、世界の一足先に進んで行ってしまふ。支那本國の所謂輿論のリーダーたる若き人々が反省して、內容そのもの々整備に努力するならば二十一箇條問題の如きは何かあらん。期せずして彼等の正當なる要求は國際平和場裡に圓滿遂行貫徹されてゆくであらう。

螟蟲類の研究
——世界人類の爲に——
間島へ來たカートライト氏

米國農務省昆蟲局技師東洋部主任ウキリアム・カートライト氏は粟螟蟲寄生蜂に關する調査研究の爲去る四日同省技師吉川正雄氏を帶同し朝鮮經由で來龍、目下同島總領事館囑託農學士の助力を得て專ら研究材料の蒐集に努めてゐるが、カ氏の來間は突然のことではなく、

北鮮旅行

昨年の秋吉川技師が北鮮旅行の序を以て試みに來間した結果、間島が粟螟蟲寄生蜂の研究上頗る有望なる地方であることを知り、次いで同年の秋後藤助手の來間となり生活史研究の爲め數萬匹の螟蟲がワシントンへ發送されたのであった、ところが途中その八十五パーセントが黴菌のため死滅したので、研究上若干の支障を來たし、同時に此の黴菌が果して間島に於て既に螟蟲に働きかけてゐたものとすれば、螟蟲の天敵として此の黴菌もまた有效に

利用し得

られるのではないかとの疑問が生じて來たので、愈々東洋部主任カ氏の來間となったものである、而して昨年來間島において新種と見られる粟螟蟲の寄生蜂が三種發見されてをり、此のうち一種は朝鮮の元山鎮城等においても發見され、その分布區域は先づ元山までと見られてゐるが、他の二種は現在のところ間島だけで發見されてゐるものであって、以上三種の寄生蜂は目下ワシントンの本省においてタイプ・スペシメン（基本標本）に照らし合はせてゐるとのことである。右についてカ氏は大要左の如く語る

螟蟲の天敵は日本、朝鮮を通じて現在

十二種が

判明してゐるが各種の地方的分布區域は未だ完全には明瞭ではない、世界の何處かで有效なる種類を發見すれば他地方の螟蟲驅除に利用し得られるのだが、氣候その他環境の關係上米國の全土に繁殖せしめることは困難で、勢ひ其の利用は地方的に制限される、此の研究は決して米國のみの利益でなく、其の利用は全人類に莫大なる利益を與へる日本でも農林省の

桑名博士

が力を入れ各府縣の學校、農事試驗場等を連絡を執って材料の蒐集其他調査上多大の便宜を與へられ共同研究の形となってゐる、當地方でも日支一般人士の理解ある援助を希ひ度い

尚同氏の滯在は約二週間の豫定で此の間螟蟲四、五萬匹を蒐集し、結果によっては今夏再び來間して寄生蜂の生活史、習性等を直接現地について研究する心組である＝寫眞はカ氏＝（間島特信）

探偵小說　女妖　(90)

江戶川亂步作　橫溝正史　伊藤幾久造畫

古塔の老婆(十)

河内莊の表まで來ると、門は左右に開いたまゝになってゐた。浪子はそれを見ると急いで馬車から飛び降りる。他の人たちもそれに續いた。

古い城廓の中は森閑として物音一つ聞えない。それが一層浪子を不安にした。最早取返しのつかぬ事が起ってゐるのではなからうか。小夏は既に、あの恐ろしい惡魔の毒手にかゝってゐるのではなからうか。

さう思ふと浪子はがくがくと足が慄ふのを覺えた。

「一體、何處へ小夏ちゃんを連れて行ったのだらう」

人々は恐ろしげにそっと顏を見合せながら呟く。

「多分、あの塔の頂邊の、誰も入るもの々ない小部屋に違ひない。彼處なら、誰にも知られずに、三月でも四月でも人を押込めておくことが出來るからね」

一番この塔について詳しい老役人がさう言った。

「塔の頂邊の小部屋ですって？」

浪子は聞き返す。

「さうです。昨日、お利枝婆さんが殺されてゐた、あの下の部屋です」

「ぢや、其處へ案內して頂戴。さア、一刻も愚圖々々してゐる場合ではありません。かう言ってゐるうちにも、どんな恐ろしい災難が小夏ちゃんの身の上にふりかゝってくるかも知れたものぢゃありませんよ」

さういはれると、今迄愚圖々々してゐた村の人々も一齊に奮ひ立った。

小夏——あの可憐な小夏——彼女を憎むべき惡魔の手にゆだねてどうなるものぞ、村の人々ははっきり理由は知らないながらも、何かしら切迫した事情が小夏の一身を取卷いて、渦卷いてゐる事が察せられる。彼女も亦、昨日婆さんのやうに、痛ましい犧牲者となるのではなからうか。

老役人を先頭に立てゝ、人々は又しても昨日と同じ螺線狀の階段を登って行った。皆一樣に口を噤んで、時々恐ろしげな顏をはっと洩らすばかりである。

突然、浪子が

「アレー」

と言って立止る。

見れば埃っぽい階段の上に、くっきりと白く、小さい靴の跡がついてゐるのではないか。

「小夏ちゃんのだ！」

人々は息を呑む。

然り！

この古塔に登る者に、こんな小さい小供の靴跡が、小夏以外にあらうとは思はれぬ。

「ぢや、やっぱりこの塔の上にゐるんですね」

「さうだ！やっぱりあの、誰も知らない小部屋の中にゐるに違ひない」

うねうねと蛇のやうに曲りくねった螺線狀の階段を登ってゆくとやがて、其處に一寸した廣い廊下があった。仰げば昨日お利枝婆さんの殺された塔の頂上が見えた。

それを見ると人々は、今にも其處から血汐でも垂れて來さうな無氣味さを感じるのであった。

「此處です。此處です」

ふいに先頭に立ってゐた老役人はさう言って立止った。見ればそれは一見壁としか見えない扉で、餘程注意しなければ、其處に扉などがあらうとは思はれぬ。

人々は息をつめて中の樣子を覗いた。

中からはことりとも音がしない。浪子は暫く聞耳を立てゝゐたが、やがて決心を決めると、つかつかと歩みよってそっと、その扉に手をかけた。

扉は難なく、スーッと開く。

薄暗い、ごみごみとした部屋の中、其處に蒼白い顏が、まるで幽靈のやうに浮いた。その顏を見た途端、浪子は

「あっ！」

と叫んで扉を握ってゐた手を離した。

意外！其處に浮いた白い顏は……

通俗病理　皮膚病の話

皮膚病を掻くのは一番惡い　小兒には指サックをかけよ

皮膚病は大抵痒い、稀には痒くないものもあるが多くは痒いからツイ掻きたくなる、大人でもさうであるから子供は無論掻く、特に幼兒は無意識にそれを掻く。掻くから注意しないと病氣を身體中に蔓らせて仕舞ふ。痒いから掻くと其の部分が刺戟されるために一層痒くなり終ひには搔って取りたい程痒くなるものである、さうして掻いた傷に膿れ上ったり血が出たりして、それが爪に附着し、他を掻くと直ぐ傳染して行く、誠に始末が惡い。しかし子供はそんな事を云ったとて痒いのを我慢しては居ない、委細構はず掻くからさういふ場合には親が注意して手袋の樣なものか指サックの樣なものを穿めさせて爪で直接掻かぬ樣にしてやらなくてはいけない。

皮膚病にも色々……

皮膚病と云っても種類は多い、中には命を奪ふ怖るべきものもあるが大體膿を持つ性質のものと膿を持たぬものと二樣である。膿む方には濕疹、膿疱疹、膿痂疹などがあり、膿まぬ方には白癬菌によって起る色々なものがある。膿む方は俗にくさ、とびひなどゝ云はれる種類で膿まぬ方はたむし、はたけ、しらくも、ぜにがさ、なまづなどゝ呼はれてゐる類である。まだ其他にも皮膚科に屬する病氣は澤山あって一々述べたら長くなるから略すが、何と云っても一番困るのは膿を持つ種類である、この種類のものは大抵最初にポツリと赤く粒の樣なものが生じて痒いものである。虫にでも螫された位に思って掻くとズンズン擴がって行く、水を持ち掻き破るとその汁の付いた所へドシドシ擴がって行く、胎毒などゝ云はれて無心の幼兒が頭や顏一面に膿疱を出してゐるのは皆この種の病氣なのである。

物凄い皮膚結核……

皮膚病の本は皆黴菌で色々の種類があるからどれも同じものと思ふ譯には行かない。中には結核菌が皮膚面の目に見えない樣な小さな傷から潜入して怖るべき皮膚結核を起すことがある、狼瘡といふ病氣はこれで狼瘡結節といふ小點から漸次に潰れ出して段々と變化して深部を破壞し鼻も口も潰れ裂けて狼に食はれた樣になって死んで仕舞ふといふ物凄いものである、又或る種のものは寄生虫が皮膚の下にトンネルを作って四方八方に擴がって行くひぜんと稱するものはこれで容易に治らない。表面から藥を塗布した位ではトンネルの中の虫は死なゝい、地下鐵道へ飛行機から小爆彈を落した位で大した威力を揮ふ譯に行かないのである、ひぜん三年しつ三年、治って三年また三年といふ位で厄介なものといふの外はない。

罹った時の手當……

なぜ皮膚病にかゝるか、皮膚に疵があるからである、或は皮膚が荒れてゐるからである、或は體質の異常から皮膚の抵抗力が弱くなってゐるからである、或は胃や腸の機能が完全でないからである。決してだしぬけに皮膚病は起らない必ず原因があるものである。健康な人で皮膚がよく手入れされてゐれば容易に外部から病菌などが侵入し得るものではない、皮膚はそれ程に強い力を有してゐるものなのであるから皮膚病に罹らぬ心得はいつも皮膚を丈夫にして置くといふことである。

しかし不幸にして皮膚病に罹ったら輕い中に若しして仕舞ふ樣に手當しなくてはならぬ、素人が強烈な殺菌藥などを無暗に用ふることは禁物である、却って病氣を增惡させることがある、深達力のある、殺菌力のある、さうして皮膚を荒さずに保護する性質の藥を用ゐて蔓延を防ぎ同時に皮膚を丈夫にするのがよい方法である、家庭の常備藥としては『ヨーヂ水』などが安全で有效である、この藥を綿に含ませて濕布の樣に患部を包んで置くと大抵の皮膚病は輕くて濟んで仕舞ふばかりでなく肌が美しくなるといふ特色がある。鬼に鐵棒である經濟的でもある。これから暑くなると子供や婦人は虫にさゝれたりアセモに苦しめられたりして皮膚藥を使ふことが多くなる、さういふ場合にこの『ヨーヂ水』は理想的である。

家庭とコドモ

尊き母性愛 (下)
『母の日』の教訓
高崎能樹

母親の慇懃は餘りに絶大で、どんなに讃美しても物足りない事は無論であります、けれども今度は位置を代へて讃美を受くる母親自身の立場になつて見ませう、眞に

愛に生きる には果して現在のまゝでよいでありませうか子供を善く生かす爲めに充分の準備がありませうか、むしろ母親は正しく理解されるよりも餘りに歎はれ過ぎてはゐないでせうか、可なり反省の餘地があるやうに思はれます、スミス夫人はその著「嬰兒の教育」の中に「多くの母は正しき天性を授けられてゐるが、悲しむべき事には正しき見識を缺いてゐる、ありていに言へば今日地上に於ける有ゆる

專門家中で 母といふもの位自分の事業に對して素養の乏しいものはない」と申して居りますが、必ずしも過言ではありますまい、實際私共は既に數人の子供を生みても尚母としての資格なき人を見ることが多いのであります。母は子供に取つて肉體の母たる丈けでなく、精神の母となることが最も大切な任務であります母親の心を刺す悲みは、その子供が病の爲めに永久に眼を閉づることよりも、罪の子となつて永久に母のハートから離れ去ることであります。されば母親はまづ自らの慾を棄ひ、盲目的な愛に溺れず、飽くまでも美しき模範を示して、人格的に感化することが大切なことでありませう。私の感銘してゐます

一人の夫人 は、若きお産の後に「奥様！男のお様子が立派にお生れになりました」よといふ産婆の言葉を聞き「神様よ、あなたは只今この賤しきしもめを、尊き靈魂の宿された幼き者の母として下さいました。思へばあまりに尊い務めでもあり、又重荷でもあります、どうぞ私を聖めてお用ひ下さいませ。あまりに賤しく、罪深き爲めに尊き靈性を傷つくることの御座いませんやうに！神様よ！私は嬉しう御座います。けれども又心配でも御座います。何故かなれば私は餘りに罪深う御座いますから。願はくは罪人なるしもめを憐み給へ！」と繰返し〳〵祈られたと云ふ事でありますが、心ある母親は子供に對する時、まづ自らの

無力と罪深 きことを悟るでありませう。實際母の務めは祈りなしには出來ません。神の前に、又子供の前にまづ自らの聖められん事を願ひ全く自我を殺し、神よりの賜物を以て心に滿たすことを努めねば眞の教育は出來ないでありませう。實に神の御前に自分の一切を投出して仕舞ふことが第一條件であります。それから修養に努め、良書を愛讀して、母性に授けられた愛情を神聖にし、その態度を聰明にすることが必要であります、即ち母親は子供を教育すると共に、絶えず自己を教育せねばならぬのであります……世界で有名な文豪や偉人や科學者たちは、その幼少の頃斯うした母に指導を受けて、その大成の基礎を造つてゐるのであります。男と結婚して、良書と離婚する婦人は母たる資格を失ふ者と云はねばなりません。

トツト ノ オバチヤン コンチワ、イヽオベベ、キテドコヘ イツテキタノ？ オヤオヤ ハイカラナクツダコト
トツト ノ オバチヤン ハイカラダ ネ、

大チヤンノモウジウガリ (103)
ハルミチ作 ジラウ畫

ドジンドモハ ワイワイ サワグバカリデス 大チヤン ト ヲヂサン ハ ソノマニ テツポウ ヲ カマヘ ウワバミノ アタマ ヲ ネラツテ 「ドドーン」ト 一セイシヤゲキヲ シマシタ

アタマ ヲ ウチヌカレタ ウワバミ ハ タカイ キノウヘ カラ オソロシイ モノオト ト イツシヨニ シタニ オチテ マモナク シンデ シマヒマシタ

此の頃される 鯖の料理法

頻りに食膳を賑はしてゐた鰹もボツ〳〵終りに近づきこれからはいよ〳〵鯖の盛漁期に入る、味も一年中で最もよい時である。元來鯖は値段の安い魚であるだけに何となく立派な御馳走にならぬやうな氣がするが決してさうでない、驚くべき滋養分を持つてゐる、日本人が此上ない御馳走と思つてゐる鯛や鮪などよりどれ位身體のためになるかわからない、鯖の料理法を二三擧げて見やう、先づ何と言つても一等うまいのは鹽燒である

◆鯖の鹽燒 先づ新らしい鯖を買ひ頭を切り、腹部を開いて腹を洗ひ去り、直ちに三枚におろして鹽でくるんで置く、かくて一時間ばかり經つて水で洗ひ、よく起つた火の上に鐵架を渡し其の上にのせて皮目の方から燒くのである、おろし生姜を添へて食べる

◆鯖の付燒 前と同じやうに三枚におろし腹骨を去つて二十分間ほど醤油に漬け程よく燒いて之に生醤油を注ぎおろし大根を添へて食べる

◆鯖のたまり燒 鯖の切身を味噌に醤油と味淋と味の素を入れてどろ〳〵に溶いたものゝ中に一晝夜漬けて置く、燒く時は味噌を十分かき落して洗はずにそのまゝ串又は燒網で燒く、ほどよく燒けた頃皿に取り微塵生姜をふりかけて食べる、微塵生姜といふのは根生姜の皮を剝いて細かく微塵に刻み酢に浸したものを布に包んで絞つたものである

◆鯖の葱ぬたあへ 三枚におろし腹皮を去り小骨を拔いて小さく切り、すぐに酢の中に浸し一二分經つてから之を目笊に上げる、一方別に味噌に少量の砂糖を加へ、之をざつと摺り、味加減を試みた上裏漉にかけ更に別に葱の白い部分を茹で、之を竪に裂いて酢で洗ひすぐに酢を切つて一寸五分位の長さに切り、この三品を程よく混ぜ合せ、小皿に盛り分けて供す、味噌生姜をかけても妙である

茶はこうして風味よくのむ

一口に 茶と言つても、玉露のやうに飲んだあとで何とも言へない風味を殘すものもあれば、又お茶の仲間入りをしたといふに過ぎない番茶の類もある、しかし出し方入れ方によつては優良品も味が落ち、番茶も馬鹿に出來ない味の出るものである、一體茶の中で一番優れたのが玉露、その次が煎茶、下つて番茶といふ順序であるが、此の外に抹茶に用ひる薄茶濃茶もあれば、紅茶もある。玉露にする茶は二三百年も年數を經た樹から採るのであるが

茶の樹 が古ければ古いほど佳いものが採れる、採取する前には豫じめ其の新芽に日覆をする、こうして置くと柔かい色のよい葉が出來るのである、玉露のやうな上等の茶は番茶並に沸騰した湯を入れたら臺なしである、一度沸騰した湯を半分以上冷してから使はなければならぬ、煎茶は玉露と番茶の間で、一度沸騰した湯がちよつと冷め加減の時入れるとよい味が出る、煎茶は甘味と香ひの高いのを賞美する、

番茶は 茶としては一番劣つたものであるから風味はないがよく火で焙じてから出すと香ばしい味が出る、湯はよく沸騰してから用ひるのである

カメラ遍歴 大連郵便局の巻 —その二—

日々取扱つてゐる數多くの郵便物の中には隨分奇拔なものや滑稽な間違ひをしたものが少くない、他縣へ送る手紙に「何々郡何々村」など、縣名を落したもの、姓名だけしか書いてないもの、さうかと思ふと裏面は完全に記載してあるのにかゝはらず宛名のところがブランクになつてゐるもの、これおや如何に郵便局でも配達のしやうがない、それから支那の切手を貼つたのなどは土地柄有りさうにも思はれるが、收入印紙を麗々しく貼つたりする者があると思ふと反對に情なくなる、更に奇拔なのは通常葉書を二枚糊でくつゝけて往復葉書としたものなどがある、それから新聞雜誌などに通信文を記載したもの、葉書の表面に通信文を書いたもの、風俗壞亂の猥畫などを封入したものなど忙しい掛員を手古摺らせること夥だしい

◆此のやうにして係員のテストを經た郵便物は一々縣別地方別に分類され、各區の分は一まとめにしてズックの袋に納め堅く封をして夫々汽車汽船或は飛行機に託送されるのである

◆斯のやうに郵便物を送り出すと同時に他局からの郵便物は船毎汽車毎、飛行機の着くごとにめまぐるしく到着する、之らの郵便物は配達通信夫の配達するもの局内に於て交付するもの私書函に配布すべきもの留置のもの無集配局所に送るもの等に大別し、市内配達の分は四十四人(市外は一人)の配達人が夫々自分の分擔區域の分を道順に揃へ嬉しい便り悲しい便りを大きなカバンに詰め込んで所定の時間に威勢よく配達に出かける、しかし持つて出た郵便物の幾分は次のやうな事故のために持ち返らねばならない

番地記入のないもの
同居者の肩書のないもの
門標の出てゐないもの
門標が磨滅して不分明のもの
全然町名が相違したもの
轉居先不明のもの
勝手な番地記入のもの

◆ずつと以前に於ては支那方面との通信は極めて不便であつたが現在では北平、天津、青島、上海及それより以南は毎日奉天を經京奉並に津浦線によつて發着してゐる青島、上海へは大連汽船の大連丸西京丸、榊丸等の出帆を利用することになつてゐる、又芝罘へは隔日に便船で發着、ハルビンへは毎日二回發着してゐる

◆歐洲方面への通常郵便物は方向全く相反する二つの線がある、一つは神戸又は横濱を經、更にシヤトル或はサンフランシスコを經由して大西洋を横斷するもの、今一つはシベリア鐵道に依りモスクワを經由するものであるが此の經路を希望する場合は VIA SIBERIA と朱書しなければならない、この線によれば米國經由に比し約半分の日數で到達する、シベリア經由の郵便物は火曜日午前八時發及土曜日午前十一時發列車に間に合ひさへすればハルビンで歐洲行直行列車に直ちに連絡することが出來る、又シベリア經由は郵便物の到着は火曜日と土曜日の午後六時である―此の項未完―【寫眞説明＝便船を待つ外國行郵便物の山】

薩長内閣と政黨内閣　日本主義を捨てた政黨

伊藤彦造畫

維新に際し、薩長が勤王の急先鋒となつて策動し、幕府を倒して王政復古に至らしめた動機は何であるか。

薩藩は其の管理せる琉球に屢々外人が寄港したので、海外が文化の進んで居ることを知り、又長藩は關門海峽を擁し、外船の頻々たる往來に依て海外の侮るべからざるを知り、此の二大藩に於ては對外心が旺盛になつて居たのである。他藩で見ると、話に聞く位で實地外人にも接せず外船も見ないのだから、薩長の勤王倒幕論を以て危險思想視して居たのである。

薩長では、我國が對外的の國防なく、外敵襲來せんか一大危機である、徳川幕府の下に擧國一致で外敵に當るといふことは到底出來ない問題である。そこで第一に幕府を倒して王政に復し、皇室を中心として擧國一致で對外策を執らねばならぬとして、薩長二藩が勤王の急先鋒となつて遂に明治維新の大業を成就せしむるに至つたのである。その間薩長は夥しい犠牲の士を出し、莫大なる戰費を消費したのである。故に薩長内閣が明治時代中得意の地位を占めて居つたのである。徳川幕府は十五代、三百年といふ長い間覇權を握つて居たが、薩長内閣は僅か五十年、遂に歐米摸倣の政黨内閣論の爲に藩閥勢力を失ふに至つたのである。

元治元年 英・米・佛・蘭ノ四國艦隊下ノ關砲撃

附言　薩長内閣の時はどうであつたか、日清戰爭あり、日露戰爭あり、其の難局に當つて過たず、轉禍の任を完うし、國威を發揚し國家の發展に盡したものである。然るに現代の政黨内閣になつて何をしてゐるかといふと、政權爭奪に夢中になつて黨爭に耽り、政權の獲得をする爲に不淨金をバラ撒き、其の間惡事醜行が行はれ、思想を惡化せしめ收拾すべからざる狀態に陷り、國民の士氣は將に地を拂はんとして居るのである。今や我國は對外問題、不景氣襲來、失業問題、國民の生活問題等國家多難の時である。政黨も代議士も政爭心を去つて、協力一致國家の爲に盡せ。

第二篇　教育美談　右其百〇一　左其百〇二　有田音松

英米と日本の大勢　内政を顧みよ日本國民

伊藤彦造畫

我が日本は歐米文化を採り入れて殆ど歐米化の日本となつたが、翻つて經濟上から考へて見ると、米國は天産に惠まれ殷富であり、土地は廣く加ふるに豐饒であり、自給自足して有り餘るので大量生産に依て、國産品を全世界に輸出する大成金國であるから、如何に人口增加するも意とせず、將來の發展は益々たるものである。

又英國にしても、機械工業で行詰りに瀕して居るといふことは、スペングラーが「沈み行く黄昏の國」と題して西歐文明の沒落の原理を説いて居るが、英國はまだ印度やアフリカ其他に尨大なる版圖があるから、愈々行詰つたら局面打開の途もあるであらう。

退いて我が日本を考へて見ると、都市の有樣は殆ど歐米化したが、經濟上はどうか、人口は激增し土地は狹く天産乏しく自給自足の出來ない狀態に陷りつゝあるのである。然るに我が國民は英米のやうな綺靡な國民の淫樂放縱なる贅澤振を眞似て狂態見るに忍びざる狀態で、政治家も學者も歐米摸倣狂に陷り新人がつて國の亡びるのも顧みないといふ慨はしい現狀である。願くば日本固有の良風美俗は今や地を拂ひ、亡國への道程を辿りつゝあるのである。

附言　米國や英國は、國が富裕であり領土はあり、如何なる贅澤でも出來るであらうが、日本といふ國は英米と異つて地域は狹く、人口は日々激增するので今や食糧問題に悩まされ、行詰りの斷崖に立たんとして居るのである。此の問題を如何に處理せんとするかゞ焦眉の問題である。然るに政黨は此の難局を顧みず、政權爭奪に狂奔し其の醜態見るに忍びず、國民は歐米の淫樂放縱を摸倣し虚榮華美に流れ、國家の經濟難をも顧みざる淺墓しき狀態である。驕る者久しからずである。歐米の裡に衰亡ありて、今に目醒めざるにおいては國家は衰退である。亡である。軍備も何の用をなさず、戰はずして自滅する外はないのである。警醒せよ、奮起せよ、此國難に。

亡國の兆？

秩父宮樣
鐵道守備實況を親しく御視察
昨夜は奉天ヤマトホテルへ 今朝公主嶺へ御出發

【奉天特電十五日發】本日撫順炭礦を御視察遊ばされた秩父宮殿下は御歸奉の途中孤家子の戰跡を御視察相成り、同地御發車前獨立守備隊孤家子の分遣所に御成り遊ばされ沿線の片田舍まで我守備兵が

鐵道守備に　當つてゐる現場を親しく御視察遊ばされ午後三時二十分御着奉、多數官民の奉迎を受けさせられ御假泊所ヤマトホテルに入らせられた、かくて殿下は御來奉三日間全く御寛ぎの寸暇もあらせられず御多忙中の中に御豫定の撫順御視察を恙なく終へさせられ、御假泊所ヤマトホテルに入らせられて後はゆつくり旅の御休養遊ばされたが、十六日は午前七時五十分御假泊所を御出發浪速通りを奉天驛に同七時五十三分御着

第三ホーム　から御乘車、軍隊儀仗上長官、領事、郵便局長、取引所長、警察署長、地方事務所長、滿鐵公所長その他各團體代表等多數のお見送りを受けられ、八時御發車一路公主嶺へ向はせられるが、車内では高木奉天守備隊長が沿線における鐵嶺、昌圖などの戰跡地につき殊に露軍側の戰況を御說明申上げる御豫定である

十七日御日程

十五日撫順炭礦御見學の秩父宮殿下には十六日公主嶺に赴かせられ十七日も同地御滯在の御豫定であるが宮殿下十七日の御日程は左の如くである

▲午前八時　御假泊所御出發▲同八時二十分騎兵隊練兵場御成(御講話孤田中佐)▲御假泊所御歸還の時間は未定

御道筋

一、御假泊所司令官々邸より陸軍道路武士道農町一、二丁目を經泰平通より驛前に出て堀町五、六丁目を一直線に東方に向ひ遠方踏切を越え騎兵隊練兵場を遮斷一直線に騎兵隊へ

二、騎兵隊より御往路の反對に御歸還

琥珀細工と高麗燒獻上
撫順炭礦から

【撫順特電十五日發】秩父宮殿下の撫順に於ける御動靜は夕刊所報の如くであるが御覽に供へた琥珀細工に非常に御興をもたせられ、御自分御選定遊ばされたものなど十一點を炭礦より獻上した、また露天掘より掘出した約六百年前の高麗燒も併せて獻上した

酒肴料下賜
撫順の關係者へ

【撫順特電十五日發】畏くも秩父宮殿下には十五日お傍近く奉伺した御說明役御先導者お召電車の運轉手車掌等の炭礦從事員に對し特に酒肴料を下賜された光榮に浴した人々はたゞ感淚に咽んでゐる

聖上・皇后 葉山へ
照宮御同伴で

【東京十五日發電】天皇、皇后兩陛下には來る十七日午後一時宮城御出門、照宮樣御同伴にて葉山御用邸に成らせられ十九日還幸啓遊ばされる旨十五日仰出された

故鄕に錦を飾る ライオン首相
高知では政民を問はず 熱狂的の歡迎準備

【高知十五日發電】久しきに亘り其の闘省を鄕黨に勸められた濱口首相は國家の大事業たる金解禁その他總選擧も終つたので、愈々故鄕に錦を飾り來る廿日なつ子夫人同伴東京發廿七、八日頃當地着の筈であるが、當地にては政民を問はず土佐の誇りとして熱狂的歡迎をなすべく待ち受けて居るが、當日はライオンの模樣をつけた緋の陣羽織を着し港に迎へ首相をして腹の皮をよらしむる計畫をして居る

初夏の店頭
幅を利かす「一文字」

大村臺北間 海軍飛行
良好な成績

【臺北十五日發電】大村臺北間を飛行の十三式海軍攻擊機三機は十五日朝大村發午前十一時五十五分臺北練兵場に安着追風で豫定より二時間早く到着した

佐世保臺灣間 長距離機到着

【臺北十四日發電】今朝四時二十分佐世保を出發した佐世保—臺灣間長距離飛行の海軍機二機は午後三時四十七分クルベー灣に着水した航程七百七十浬所要時間九時間

倉元代議士 歲費の盜難
一千四百圓也

【東京十五日發電】十五日午前六時ごろ麻布廣尾三三、代議士倉元要一氏方八疊の居間の用簞笥の抽斗に入れてあつた十四日貰つたばかりの歲費千四百圓の現金が何者にか竊取されてゐるのを女中が發見鳥居坂署に訴へ出た、同署で取調べたところ午前三時頃湯殿の潜戶から怪漢が忍び入り竊取逃走せるもの〻如く大きな足跡の外手懸りなく犯人嚴探中である

小賣兼業に多數は反對
消費組合問題に關する 大連側の評議員會

滿洲經濟聯盟の大連側評議員會は消費組合問題對策協議のため十五日午後三時半開會、二十名の全評議員並に伊藤、鵜尻兩奧地部會長も出席、小日山會長議長席につき交渉の顚末を詳細に報告したのち昨夕刊所報の如く消費組合側は仕入機關たる會社は各地に直營の小賣を營むとを絕對的のものとするが

評議員會の　態度如何といふところを知らなかつたが結局大連側評議員會に議論百出して停止すると諮れるに議論百出して停止すると、即ち一は多數說にして

新會社の目的は專ら仕入にあると信じたが小賣兼業たる以上絕對に反對である、なぜなら小賣を爲す以上小賣商壓迫は益々深刻化するのみか、會社自體收支償ふかを恐れる、又滿鐵は我々のためにその約言を忠實に果したことは殆どない

その他種々の反對理由が擧げられた、その二は少數說にして

組合が小賣を行ふのは商人の仕入を會社より爲さしむることになり會社の基礎を鞏固にし、一面滿鐵社員が安心して株主となり

會社の顧客　たらしむるにある、故に會社小賣が公課や經費の算定等凡てが一般商人の割合と同一標準を以て行はる〻ことを條件とせば贊成であるとするものである、兩說は相對峙して讓らず、こゝに於て小賣開始の代りに標準値を公示する陳列所を設置するとか、或は日曜休日、營業時間の制限とかによる會社小賣にしては如何との說も出たが、小賣は組合側として絕對的のものなればとて成立しなかつた、かくの如く大連側が一致しないのに加へて伊藤副會長は

奧地を代表　し奧地では市中小賣値が高いので組合は市中全般に全く開放されてゐる、然るに會社設置されば商人も會社と同一資格を以て商賣出來るので努力一つにて會社の販路を奪ふことは容易である、從つて奧地は一般に之れに贊成を表して居り、要望第二案には反對である、故に大連側が會社小賣に絕對反對なれど土地事情が異る以上奧地は別個に要望する外ないと極論するに至つた、玆に於て

滿場色めき　たち本日は大連評議員會の座談會であるから正式の決議は然るべき手續を要する、而も十六日の商議聯合會、經濟調査會の經過を確かめず、太田長官や仙石總裁の回答にも接せずして州の內外が單獨行動に移るのは早計であるとの自重論に大勢傾き、なほ州內と奧地とは土地事情大いに異るので州內は小賣を拒むも奧地は贊成し、聯盟が團結して之が交渉をなすべしとの議論も出たが結局まとまらず十六日の商議聯合會終了後仙石總裁に正副會長が陳情することを申合せて七時散會した

西久保弘道氏重態

【東京十五日發電】西久保弘道氏は腎臟結石を病み千葉縣東葛飾郡八幡町の自邸で靜養中であるが、十四日重態に陷りリンゲル液およびカンフルの注射を行つてゐる

明日火蓋を切る 早慶の野球試合
物凄いばかりの人氣
戰を前の兩軍陣容

【東京十五日發電】過去三十年の歷史を背景に熱血の一大會戰早慶野球戰は全國ファンの視聽を集めて愈々十七日第一回戰の火蓋は切つて落されるので、狂瀾の如き人氣は物凄い入場券の爭奪戰を隨所に演じ十圓、廿圓と鰻上りのプレミアムさへ生むに至り其の停止する處を知らざる有樣である、早大は昨秋の榮冠を固く保持して旋す派遣を目標に一擧早大を粉碎して雪辱を期する意氣込みで練習を續け居り、市岡腰本兩監督の胸深く潛める作戰や如何に兩軍の陣容を尋ねると

早大軍　戶塚早大合宿では西村森を首め昨秋三回戰に本壘打を飛ばして優勝の因をなした佐藤選手等何れも良い當りを見せて見物のファンをよろこばせる、病後の身を敢然とふるひたつた小川投手の練習振りは淚なくては見られぬ悲壯な姿である、負傷靜養中の富永選手は晴れの試合に出られぬ小壯の身を撫へながら若い選手をはげまし何にかと注意して居る、市岡監督も「小川富永兩選手の不出場は可成りの傷手ですが他の選手は何れも元氣で」と多く語らず、一文字に結んだ口もとに再勝を期する決意を見せて居る

慶大軍　新田環大合宿所では選手會議の眞最中如何なる秘策をめぐらしたか約一時間の後打揃つてグラウンドに出場早大多數に備へる左投手の打擊練習を總つて最近好調に向つた宮武投手も水原、蝎石兩選手と共に元氣一杯な投球練習を行つて五時近く全部合宿に引揚げた、食後は麻雀をやるもの、マンドリン、ハモニカを樂しむものなど賑やかな夜を迎へて餘裕を見せて居た

初夏の味覺
鯖やサワラ出盛る

「さば、さば、さば！」海の蒼さをそのまゝ肉の中まで浸み込ました樣な水々しいすつきりした形の魚が籠に山と盛られて行商人に擔がれてゆく、今が鯖の出盛りだ、昨今乃木町の水產會魚市場へ龍口沖からあがる鯖は毎日二萬六、七千本宛く船ごとに山と積まれて來る、値段も三百目以上もある大きなのが一四七、八錢といふ殆ど捨賣同然で今が一番安い、次に多いのはサワラで毎日六、七千本漁れ百匁十錢位だ、若葉萠ゆる鰆春の候、利刃の刃の樣に引き締つた肉が市場の店頭に躍る有樣はおよそ食慾を刺戟するものだらう、近海の牛鰮は未だ少し早く、本月の二十日すぎに漁れ出す見込みだといふがドウした加減か本年は不漁だらうと悲觀の向が多い、また出盛つた蝦はコ、一週間位が懸命で段々少くなつてゆく(寫眞は出盛るサバ)

田嶋の紅白 競獵會
十八日に開催

大連獵友會主催、本社後援の春季第二回田嶋紅白競獵會は來る十八日三十里堡、西嶋驛一圓に於て擧行することゝなつたが、參加者は十八日午前一時大連驛に集合、一時二十分發貨物列車にて出發、歸途は十一時四分三十里堡驛發、十二時卅分大連驛着、紅白組合せは第一回のまゝなるも新參加者は抽籤して分け、賞品は勝軍および個人賞一等より五等まで授與、なほ

樂しい五月まつり

日時　五月十八日(日曜日)午前十時より—午後二時半まで
場所　大連運動場—參會參觀隨意
參加團體　市內各社交婦人會、各宗教婦人會、各高女同窓會、各女學校、各小學女生、各公學堂女生、中華青年會女子部等
演技順序　▲五月祭合唱歌全員▲旗體操小學校女生(小學校五年以上女生)▲五月をどり女學校生徒▲をどり中華青年會女學生▲五月をどり小學校女生▲トウインクル、ダンス女學校生徒▲五月をどり一般婦人▲行進(プロネード)婦人女子全部▲君ケ代合唱全員

主催　大連市
後援　滿洲日報社

赤十字巡回 施療好成績
延人員二萬人餘

赤十字大連支部が四月十日から行つてゐた管內の巡回施療は十三日終了したがこの二十七日間に施療した實人員は三千三百八十七名延人員二萬三百六十八名の多數に達した、實人員で最も多いのは消化器病の一千百六十一名、その次ぎが皮膚病およびその附屬器病の五百五十六名、眼およびその附屬器病の五百十二名、トラホームの三百八十三名、呼吸器病の二百三十五名、全身病の百四十八名、神經系統百三十六名の順序で成績は頗る良好であつたなほ同支部大連診療所では來る二十六日から患者の入院を許す由である

同日は午後六時より信濃町「ミツワ」に於て懇親會を催すことゝなつてゐる、詩壇不參加者も振つて出席して貰ひたいと、會費二圓當日持參のこと、因に紅白戰參加者は團體旅行割引券請求の都合があるため大連市對馬町一大連獵友會事務所(電話七三二四番)に通知されたいと

土屋代議士 告發人として取調らる

【東京十五日發電】東武、庄司良朗兩代議士を公務執行妨害で告發した土屋淸三郎氏は、十五日午前十一時再び告發人として東京檢事局に召換され當時の模樣につき聽取された

志賀代議士召喚

【東京十五日發電】暴行代議士志賀和多利氏は十五日東京地方檢事局の召喚を受け午後三時半檢事局に出頭、市原檢事の取調べを受け午後四時四十分歸宅明日も續行されると

法政遂に勝つ
對帝大二回戰

【東京十五日發電】法帝野球二回戰は十五日午後三時二分神宮球場で法政先攻に開始し、九回迄兩軍無得點の爲め補回戰に入り十回表法政四球の連續に滿壘の好機を得四球の押出しで二點を得、結局二對〇で法政辛くも勝つ試戰五時十分バッテリー法政西垣、倉、田坂、帝大館古、高橋、小林

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
法政	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
帝大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

大相撲 初日大賑ひ
優勝旗返還式

【東京十五日發電】大相撲夏場所は十五日初日の蓋を開けた、毎場所吉例の五十錢デーとあつて早朝から好角家が詰めかけ十一時頃までに九分通りの入りだ、今場所から協會の英斷によつて四本柱の檢査役が土俵から下にさがつてしまつたので土俵は邪魔物が無くなつて好評である、仲入り後恒例の挨拶のため入間川德務取締役が協會幹部や大關、橫綱を伴つて土俵に現はれ一場の挨拶を朗讀し、それから東方三役が出場して優勝旗返還式を行ひ協會幹部高砂子がこれを受取り式は滯りなく濟んだ

初日の勝負

勝		負
綾浪	(押し倒し)	吉野山
太郎山	(押し出し)	若常陸
若瀨川	(寄り切り)	駒錦
藤の里	(寄り切り)	晴の海
大島	(寄り切り)	劍岳
伊勢濱	(押し出し)	荒熊
常陸岳	(はたき込)	池川
常陸島	(わたし込)	沖つ海
幡瀨川	(下手投げ)	和歌島
信夫山	(差し手)	朝汐
玉錦	(突き放し)	淸水川
山錦	(押し切り)	若葉山
眞鶴	(寄り切り)	武藏山
能代潟	(押し倒し)	綾櫻
天龍	(うちやり)	寶川
玉錦	(吊り出し)	新海
常陸岩	(寄り切り)	雷ケ峰
豐國	(寄り切り)	出羽嶽
大の里	(寄り出し)	鏡岩
宮城山	(突き手)	外ケ濱
常の花	(突き出し)	古賀浦

打出し午後六時

大倶、工大蹴球戰

來る十八日大連運動場に於て擧行される五月祭終了後午後四時より同所に於て大連倶樂部對旅順工大のラグビー試合を擧行することになつた

畜魂祭を執行

大連屠場肉商組合では來る十七日正午から市立大連屠場に於て畜魂祭を執行すると

青訓座談會開催

關東廳、軍司令部、大連民政署、滿鐵會社、大連三青年訓練所の各青訓關係者は來る二十二日午後七時から大連ヤマトホテルで青訓生の市中雇傭主方面と青訓座談會を催すと

バード少將

【バルボア(パナマ)十四日發電】南極探險を終へて歸米の途にあるバード少將は今日當地に到着した

廣告祭謝恩慰勞宴

大連新聞社廣告祭謝恩慰勞宴は十五日午後六時半より廣告行列出場者および各方面關係者二百餘名を招待し扇芳亭において開かれた、席定まるや寶性社長の挨拶、永井大連市助役、平田出場者側代表の謝辭あり恩田熊藏郎氏の音頭にて大連新聞の萬歲を三唱して乾杯しそれより昇之助の壺坂、大連檢番の元祿花見踊、獅子等の餘興あり九時半盛會裡に閉宴した

寫眞個人展

近來支那側における寫眞研究熱は加速度的に向上し苟くも新人たる資格の一にさへなつてゐる際、斯界に有名なる居哲屋氏の來連を機會としてその作品百餘點を紹介するため中日文化協會主催のもとに十七日午前十時から午後五時まで同協會內に個人展覽會を催すことになつた參觀隨意

本社見學

普蘭店民政支署管內各事務所書記(支那人)二十名は坂井武雄氏に引率され十五日午後本社見學を行つた

公示催告

大連市沙河口黃金町三十番地
申立人　朝枝唐一

目錄
一、倉荷證券　壹通
一、證書ノ番號及發行日附　第九〇八九號　昭和五年三月七日
一、寄託者　多久洋行
一、發行人　合資會社大連倉庫
一、入庫日　昭和五年三月七日
一、品名數量　白碎米叺入無印壹等品壹百九拾五個
一、價額　金壹千七百五拾五圓也
以上

右證書ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ昭和五年十一月二十日午前九時迄ニ當法院ニ權利ヲ屆出テ且ツ其證書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及ヒ提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無效ヲ宣言スルコトアル可シ

昭和五年五月十四日
關東廳地方法院

▥日活現代劇臺本より▥ この母を見よ（二）

畸面座同人構成

若い美しい『寡婦の新生活』――これだけの言葉で、もう思ひ盡せない程の多岐多難な『女』の運命に同情せねばならない

桑木家――

建物の階上へ通ずる綺麗な階段から、むさくるしい衣服を纏ひ、泥まみれの長靴や地下足袋をはいた幾人かの男が引つきりなしに立ち現はれた。これはさま／＼な家具を運び出す人足で、その手に運び出される家具――マホガニイ製の食卓、ダマスク織の腕椅子、しやれた衣裳箪笥、大理石の平板を張つたテイ・テイブル、可なり大きな幾つかの姿見、二鉢の夾竹桃――等で飾られた倭子達の家は恐らく小綺麗で樂しい家庭であつたのも昨日の夢となつた。

人足は次から次へと運び出した

そして戸口に立つてぢつとしてゐる倭子と、驚きの眼を見張つて居る中子の傍を通つては、門脇に引張込んである荷車に積み込んで行つた。

倭子は品物の一つ／＼を見送つた。彼女に取つて二度と返つて來ない過去をまざ／＼と眼の前に現はしてくれる懐しい記念品の數々は失はれた幸福の物言はぬ證明者、その一つ／＼に彼女は最後の別れを告げねばならなかつた。

母様、私達のお家は……

中子は驚く母の着物を引張つた

時計は三時半を示して居る。

電燈は薄暗く、世界は不氣味な深夜の沈默を守つて居た。●

中子が云つた彼女達の新らしい家――あまり美しくない下宿屋の二階で、明日への努力を決心した倭子は、よく眠つてゐる中子に母の慈愛を瞳いた。

母さんは

きつと中子ちやんを幸福にしてあげますよ

倭子は二十五歳、中子は五歳。

其の前途には……

【寫眞は瀧花久子松平千鶴子南部章三島村靜子】

映畫キャスト

原作	エリイザ、オルゼシュコ「寡婦マルタ」より	
脚色	八木保太郎	
監督	田坂具隆	
撮影	伊佐山三郎	
父	桑木　元	南部章三
母	倭子	瀧花久子
子	中子	松平千鶴子
街の女	辞子	入江たか子
乾氏夫人	英	百合子
おみつ		佐久間妙子
臼田夫人		津島ルイ子
娘瑠璃子		小西節子
婦人用品店主		常盤操子
よね		島村靜子
滿村　等		大原仁美
大村書店主		村田廣壽

そして或る日

一人の大學生が息せき切つて桑木家へ駈込んで來た。

「奥様、奥さん早く病院へ先生が大變です！」

平和な一家を突然襲つたこの嵐。倭子が病院へ駈つけた時には桑木は冷たい死の手へ……

腦溢血――

桑木の若さと、健康と、精勉さとは、汲んでも汲んでも汲み盡せない泉だつた筈だのにその泉は思ひの外早く涸れてしまつたのである

名醫の診斷も、同僚や教へ子の温かい看護も遂に甲斐なく、愛しい妻倭子や、唯一人の愛兒中子に「左様なら――」を告げるひまも無く、淋しく死んで行つたのであつた。

夫の死と共に倭子の家庭的幸福は終りを告げたばかりでなく、彼女の物質生活の基礎をなして居たものも同時に足下から滑り出してしまつたのである。

勿論幾分の『金』が無いでも無かつたが、それが何にならう。極めて近い明日の鑑に過ぎぬではないか、

新刊紹介

▲富士（六月號）堀部安兵衛の巻（小島政二郎）喜劇王チャップリン（寺田鼎）夢の港（益田甫）炎を踏む女（三上於菟吉）朱判の鬼の手（小泉長三）戀車（吉川英治）その頃を偲ぶ（川島芳子夫人其他七氏）その頃を偲ぶ（大錦卯一郎）あけてビックリ秘藏珍藏玉手箱等（定價五十錢、東京駒込坂下町大日本雄辯會講談社發行）

▲春泥（五月號）子浦及下田（木村莊八）等（定價廿五錢東京荏原郡東調布下沼部其社發行）

▲フイルハーモニー（五月號）オネガーの管絃樂曲（菅原明朗）等定價卅錢東京荏原郡中延新交響樂團發行

▲大乘（五月號）妙法蓮華經（大谷光瑞）等（定價四十五錢京都紀伊郡堀内村字堀内三夜莊内其社發行）

▲婦人と新社會（五月號）定價十錢東京四谷南伊賀町其社發行

▲ポケット型野球記錄帖（小泉癸南著）東京日本橋柳川通河内書店發行

▲蒼空（井上信子第二句集、白石綺想郷編）川柳句集、昭和元年以後の作品「何う座り直してもわが姿」等三百餘種を載す流石に滋味のある作品揃ひである（定價八十錢東京落合萬ケ谷柳樽寺川柳會出版部發行）

▲航空時代（五月創刊號）航空時代の誕生（阪谷芳郎）時運の要望に合致（小泉又次郎）其他大毎奥村總務、東朝美土路主幹、下村副社長、緒方編輯局長、西野空輸社長始め各專門家執筆、用紙も體裁も相當に好い（定價五十錢東京銀座皆川ビル其社發行）

▲婦人運動（五月號）温情主義の破綻（奥むめお）等（定價二十錢東京市牛込本村町職業婦人社發行）

▲作品（五月號）ルウベンスの僞畫（堀辰雄）等（定價三十錢東京神田通新石町其社發行）

▲農民鬪爭（五月號）定價二十錢東京小石川小日向臺町マルクス書房發行

▲青年學生愛誦集　校歌、寮歌、軍歌、唱歌、民謠等日本各地で愛誦されてゐる通俗的な歌を集めたもの（定價卅錢東京神田中猿樂町大光館書店發行）

＝滿日俳壇＝募集規定

次回課題「雷」「毛虫」「薔薇」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切五月二十日▲封筒に「滿日俳記」と明記▲宛先東京市牛込區若松町八二島田青峰

滿日勝繼聯珠（七）

中央聯珠社大連支部第一次戰譜

第八回（その二）

上木　三山

先番　高橋　桂山

【定先題直打六號桂新月】
【四段井村永治講評】

本局は前局と對比して含味されたい

黒（五）は正着でよろしい。

白（六）は後手の常套手段たる餘手策である。之にて三號嵐月、四號水月、五號山月たも還されたことになつた。猶（六）に對し黒（七）の組立は何處

▲感想【上木曰く】（六）は「イ」又は「ロ」も相當面白いと思つたが、桂山君では然う甘く乘つても呉れまいし、結局常套な手段に落ちた

滿洲日報

社説　日支關税協定の將來

幾多の紆餘曲折を經て日支關税の協定が正式に締結され、今十六日より實施、茲に支那の國定税權の確立を見るに至つたのは兩國の和親友交上、喜ばしいことである。然るに我國當業者間には互惠税率適用の品種少く期間短きのみか增率と消費税の課徴が保留されたこと、陸境關税低減が撤廢されたこと、釐金等の内地通過税廢止と無擔保及不確實債務整理との聲明が不確實なことなど協定の殆ど全部に亘つて不滿の聲が高まりつゝある。これらの不滿は一應無理からぬことではあるが我が對支外交が多年思はしく運ばず、關税交渉においても最後に取殘され、しかも支那の對外感情が決して改善されない折柄、短期とはいへ日本ひとり互惠協定に成功したのは結構であるとの見方も相當有力に行はれてゐる。いづれにせよ既に協定が成立した以上は國民齊しく時節柄非常の決心を以て專ら我國産業の改善充實に最善を盡くして新關税の障壁を打破するやう力めねばならぬ、こゝにも協定の内容に關する批評は避け、主として本協定を通じて將來考慮せねばならぬことに二、三觸れてみたい。

◇

甚だ不滿足なものではあるが税率改正に伴ふ附帶事項として三つの重大な案件が定められた。第一は陸境税輕減（今日より四ヶ月の期限で）の全廢であるが、これは列國の對支特權に均霑してゐたものであるから列國が特權の抛棄をなした以上、我國のみ固執する譯にはいかぬ。然しそれは原則的に容認すべきものであつて朝鮮と滿洲とが鴨緑江、豆滿江の二江を隔てて經濟的に倚存し、兩岸の何れにおいても兩國民が雜居して經濟上の利害關係を全然、一にしてゐるのを考へるとき例外的に一部生活必需品の輸出入税輕減が爲されなければならぬと信ずる。よつて我當局は機を見て支那當局が自國民の福祉のために、この點を冷靜に判斷するやうに交渉すべきであらう。なほ陸境税輕減が撤廢される結果、内地朝鮮通過貨物の多數が直接、大連港經由となることにつき當業者は周到な用意を爲すべきことといふまでもない。

◇

第二は支那内地諸通過税廢止の聲明であるが元來これと關税改正とは切離して考へられないものである。然し聲明の如く本年の双十節を期して廢止さるゝやは大いに疑はしい。なぜなら各種の通過税は各省が搾取するに誂向の財源であつて、これが廢止は地方財政制度の根本的改革を意味し、代るべき極めて有力な財源が見出されねばならぬから。されば短期間に實現することはなか〳〵容易でなく況んや中央政府の威令は揚子江流域の數省に及ぶのみで、それ以外の各省は殆ど獨立國の觀があるにおいては尚更である。よつて當業者が本税廢止に伴ふ負擔輕減を見込むことあらば、それは極めて早計に失し、假令、實行さるゝも、その場合は關税增率を以て結局、有名無實乃至改惡に終るのが落ちではあるまいか。故に我が政府はこれに關しても支那政府の誠意に訴へ少くとも支那政府の威令、行はるゝ所のみにても實現せしむるやうに努力すべきである。

◇

第三に我が對支無擔保及不確實の債權整理問題については本年十月一日、又は同日前に債權者の代表者會議を招集することになつた大問題については曩に北京會議において債務整理額、平等無差別原則、等が議定されたが元利償還問題の如き重要案件については日、英の議論が一致しなかつたことを記憶せねばならぬ。從つて代表者會議開會前に豫め日、英間の十分な協商が遂げられることを要する。元來これらの債權が明白に國家間の貸借關係たることはいふまでもないが當時、契約對手方が已むを得ぬことから中央集權的主權者でなかつたことが多く、借款の使途の如きも曖昧なのが少くなかつた、しかも現に總額十億元を超えてゐるのに對し支那の支拂能力は極めて微々たるものであるから、我國としても極めて不確實なものや利子は切捨てゝ支那の現狀に大きな同情を寄せることが大局から見て結局、兩國のため得るところ多くはなからうか。

◇

要するに我國としては何れの問題にせよ、今後も大局高所に着眼して忍び得る最大限度の讓歩をなして赤心を披瀝すると共に最後まで讓るべからざるものは斷乎として主張し以て自主外交を確立せねばならぬ。支那としても今回の協定は我國が支那の繁榮を熱望期待するあまり讓り得る全部のものを讓つて成立したことを十分諒解して今後、誠意と友誼とを以て協定を遵守し信を國際間に厚くすることにより共榮への道を進まねばならぬ。かりそめにも協定蹂躪乃至濫用、高率の輸出税課徴、外資拒否、重商主義、以夷征夷主義等の如き覇道利用の誘惑に陷らば他國民より以上に自國民の幸福を害うて永く迷路に入るであらう。

特別議會に殘されたる各種重要政策の對策
先づ直面する軍縮問題につき政局の推移注目さる

【東京十四日發電】特別議會において政府はこれといふ手傷も負ふ事なく切り拔け得たが今後尚殘されてゐる色々の問題があり政府の行手は必ずしも平坦なりといふを得ない狀勢にある、これ等殘された諸問題と政府の方針を今一應吟味すれば左の如くである

軍縮協定問題

本問題は議會終了後政府が先づ直面せねばならぬ問題である、歸朝後の財部海相を中心に政府軍令部、陸軍、樞密院等の間に深刻な政治的葛藤が展開されるであらう而して一切の締め括りは條約御諮詢の際樞密院でなされるのであるから今後の政局は樞密院對政府關係を繞つて動き政府の對策も主としてこれに向けらるゝ譯である

財政々策

六年度豫算編成方針は六月始めの閣議で決定されるがその根本方針は金解禁後の財界均衡が未だ常態に復せぬから從來の緊縮節約非募債主義を繼續し只失業救濟のため必要の範圍においてこれを緩和する事になつてゐる

經濟政策

景氣恢復のため政策を更新すべき事は各方面の興望であるが政府としては兌換制度擁護のため飽くまでその所信を貫徹すると揚言してゐる、然し政府の努力に依り消費方面の合理化は大體

而して編成に當つて考慮すべく全議會で言明された事項は（一）行政整理（二）陸軍整理があるが從來の行懸りに顧みて餘り大した事は期待されぬその他税制整理については近く税制調査會を設置して調査の上來議會に提出する事となつて居り關税改正については關税審議會の答申中今期議會で實現された以外のものは來議會に廻される譯であるがこれ等に就ては政府は實際の必要に迫られない限り見合せる方針である

社會政策

その目的を達したと見られるので今後は生産分配の合理化即ち主として經濟の根本的立て直しに全力を濺ぐ方針であつて國産愛用宣傳の如きその一つである

失業問題に對する對策は政府においても途方に暮れた形で應急策を講ずると共に失業防止委員會を設けてこれから調査に着手するといつてゐるが通常議會までには果して成案が出來るかどうか疑問であり出來たにしても財界の不況と共に今後一層歳入減を來す事を知つてゐるから本問題は六年度豫算編成期に於ける政府の最大の苦難であらう勞働組合法、小作法等は既に調査を終了して居り來議會に提出する事になつてゐる

選擧革正

選擧革正は總選擧の終了に依り無用の長物となつた形で今日まで僅かに一回の革正審議會總會を開いただけであるが今後は選擧費の減少、投票買收、官憲の干渉壓迫の防遏の三點を中心として徐々に調査を進める事にな

兩院議員に午餐下賜

【東京十四日發電】畏き邊にては明十五日貴衆兩院議員に午餐を賜はる御豫定であるが一木宮相より兩院議長に對し起訴中の者は參內を遠慮せしむる樣通告があつたのでこれ等の者（全部で十六名）は議長の注意に依り明日の光榮を御遠慮申し上ぐる事となつた

政友更生策
人材主義で幹部組織
總務は減員して連帶責任

【東京十四日發電】政友會は議會を終了したのでいよ〳〵來る十六日本部に議員總會を開き田中內閣以來の幹部を改選して犬養總裁の下における新陣容を整へ

黨の更生を圖ることゝなつたが、その人選は犬養總裁の將來における人事行政の一半を察知し得るものとして黨の內外より注目されてゐる而して犬養總裁は複雜なる黨情に鑑み愼重な態度を持し何人にも意中を明かにせざるため目下黨の大勢は犬養總裁の意中を付度する程度にとゞまつてゐるが、首腦部間の意嚮を綜合するに大體において從來の地方團體主義を改め人材本位となし有力な人物を以て幹部を組織する方針で殊に幹事長中心主義に依る幹部間の不平を緩和するため筆頭總務制を設け總務も五名ぐらゐに減じて實質的にも

連帶責任を負はしめ同時に幹事長は事務幹事長として能力を發揮せしむる意嚮なるもの如く右の方針に依つて銓衡するものとすれば筆頭總務には久原房之助氏か山本条太郎氏の外なくその他の總務には人物と地方關係を併用して堀切善兵衛（東北）森恪（關東）秋田淸（中國四國）田邊熊一（北信東海近畿）松野鶴平又は山崎達之輔（九州）氏等有力な候補者と見られ幹事長としては松野、山崎兩氏が最も有力で兩者の內いづれかに決定すべく若し松野氏が

幹事長になれば山崎氏は總務か政務調査會長重任となり、山崎氏が幹事長となれば松野氏は總務か少くとも黨務部長に推さるるものと見られてゐる、なほ遊說部長、通信部長等の候補者としては砂田重政、山口義一、牧野良三、安藤正純氏等が有力視されてゐる

葫蘆島築港計畫宣傳
起工式は未定

【山海關特電十四日發】北寧鐵路局の消息に據れば、葫蘆島築港工事は請負者たるオランダシンヂケート側では目下續々材料を運搬すると共に近くオランダ汽船の手で浚渫事業も開始されるが鐵路局港務處は工事監督の爲め先月三十日奉天から該地に移轉し商埠局內で事務を執つてゐる一方護路隊一個小隊も派遣され治安維持に任じてゐる、起工祝賀會は六月十五日に內定してゐるが確定的ではない、當日は港內暗礁の爆破作業を試みて景氣を添へると尚大連港の水深は十米突內外だらうが葫蘆島は十二三米突內外だから將來港外の小島暗礁等に浮標燈臺さへ据つければ如何なる大船でも自由に入港することが出來ると宣傳してゐる因に工事材料の運搬は事實らしいが起工式は尚日取さへ決定してゐない、鐵路局では目下頻りに該島に關する宣傳材料を集めてゐる

濟南事件の行賞
十四日附發表さる

【東京十四日發電】昭和三年支那事變功績者行賞は十四日天津部隊の分につき左の如く發令された

旭日重光章、一時賜金七百圓　陸軍中將　新井龜太郎

瑞三、賜金四百圓　步兵大佐　鷲津鈆平

旭四、賜金三百三十圓　步兵少佐　河野悅次郎

金鵄勳章功五級旭六年金三百五十圓　步兵中尉　桑川好春

功七級旭八年金百五十圓　步兵上等兵　鈴木藤吉

一時賜金四百圓　一等主計　一宮友一

瑞五賜金四百圓　三等軍醫正　西宮啓吉

なほ金鵄勳章以外の勳章と一時賜金を下賜されたる將官十七名、賜金のみの將校、同相當官七十五名、准士官、下士叙勳者四十三名、賜金のみのもの百六十二名、兵卒叙勳者三百七十一名、賜金のみのもの一千七名、軍屬叙勳者二名、賜金のみの者十三名である

軍縮と日本の態度
遙に大なる稱讚の念を懷く
米全權ス氏の報告

【ワシントン十三日發電】スチムソン國務長官は本日上院外交委員會においてロンドン海軍會議の報告を行ひ日米關係につき左の如く述べた

日本は補助艦において對米七割を主張したが我等の仕事は日本以上の海軍力を建造するまで八年間日本は現狀維持を續けられたいと日本に要求する事であつた、六吋巡洋艦においては我等はアメリカが七萬五千噸から十四萬三千噸まで建造する間日本が實質的現狀を維持する事を要求した、日本の六吋巡洋艦は現在九萬八千噸なので今次の條約に依つてはこれに僅かに二千噸を加へ得る事になつたのみでこれに對しアメリカは二倍に增加する事となつた、我等は會議を終つて別離するに當り日本全權及び政府に對し以前よりは遙かに大なる稱讚の念を懷いた實に日本はその相手國が日本以上の海軍力を建造する時日本のみがその手を縛られる樣な條約にも參加する勇氣を有してゐたのである

今後一層國利民福政策の實行を期す
十四日民政黨議員總會に於ける
濱口總裁の演說要旨

【東京十四日發電】民政黨では十四日午後五時より丸の內東京會館に議員總會を開き濱口總裁以下黨出身の各閣僚並びに各幹部兩院議員等三百餘名出席、中村院內總務の挨拶あり濱口總裁より左の如き演說あり六時閉會引き續き同所に於て議員懇親會を開き大いに氣勢を揚げた

議會終了後の本議員總會席上一言する前に今議會における我黨幹部諸君議員諸君の勞を感謝する僅か三週間のこの議會において義務教育費增額及び豫算案の通過せるは最も欣幸に堪へぬ

×

議會では軍縮及び經濟問題が主として貴衆兩院を通じて論議されたが軍縮問題に就いては條約實質論及び締結形式論として囂々たる非難を受けた、實質論としては條約のため帝國の力量が國防の不安を來しはせぬかといふ議論であるが、等の見解はこの條約が一九三六年以後も永久に持續するならば或は然らんも三十六年までの短期條約に過ぎぬから條約の許す限り國防の缺陷を來さぬと答へたが反對黨は反對の論をなした政府の見解ではこれ等は毫も取るに足らぬ即ち政府は國防上の責任は飽くまでこれを負ふ旨を言明した、形式論としては統帥權問題も盛に繰返された政府軍部間の關係につき憲法第十一條、第十二條の解釋が論ぜられたが我等の立場は憲法論をなす必要を認めぬ依つて答辯はしなかつたが問題の要點結論を見て述べたるはロンドン條約調印に際し帝國の兵力量に就いては軍部專門家の意見を十二分に斟酌して政府はこれを決定した即ち政府が責任を執るは勿論であり憲法論をなす要は政府に無い、斯かる形式論が貴族院において起つたのは當然なるも衆議院が又これに會期全部を費したるは不可解である、即ち反對黨は前半分は憲法形式論、後半分は小橋前文相問題に關する餘の責任論で終始し國民の實生活に即する政策論のなかりしは深く遺憾とする

×

經濟問題は金解禁問題の蒸し返しで景氣問題もあつたが反對黨には一定の主義方針は見えなかつた既に金解禁斷行々は其善後策に向つて總ての經濟政策を集中せねばならぬ、即ち兌換制の維持金本位制擁護である、若し政友會のいふ如く今日緊縮方針を棄て公債濫發に依る事業を起さばその結果は推して知るべきである反對黨は金流出二億圓を非難するが我等はこれに驚かぬ若し彼等のいふ如く積極策を執らば決して金流出は二億圓で濟まぬ斯くして如何にして金本位制の維持が出來やう、若しさうならば我金利は騰貴し物價は激落し帝國産業の破壞を來すであらう

×

政友會は景氣恢復失業救濟を唱ふるも方法は公債濫發積極策に依り帝國産業を破壞せんとするものである、政府の産業振興發展等に就ての豫算金額を過少なりと評するものあるも政府の目的は國民的運動の口火をつけ導火線とならんとするもので我等はこの見地から國民の自覺心に燐寸をつけ一筋の途を開くものである失業問題の解決は由來金の要るものであるが政府は相當の責任を以て當るは勿論であり而して財政事情の許す限り將來に向つて努力する事は勿論で言明せる通りである

×

今後我等は如何なる信念を以て行動すべきであらうかこの特別議會は我黨內閣の將來永く政治的活動をなすべき第一の關門に過ぎぬ依つて無事に濟んだ事に依り一段の緩みも來してはならぬ既に調印濟みのロンドン條約批准問題あり我々はこれが實施に全力を注がねばならぬ又綱紀肅正に就ては既に起つた處はこれを明確にして戒めとなし將來はこれを堅く嚴守せねばならぬ更に選擧革正問題に就ては速かにその實現を期せねばならぬ教育費一千萬圓の國庫負擔に依り國民負擔を輕減し得たるも我等はこの程度で滿足せず更に將來は減税に向つて努力せねばならぬ各種社會政策は各般の狀勢に鑑み協力一致之れを行ひたい、要するに二百七十名の威力に依つて國利民福政策の實行を期したい

鄭州邦人保護要求
南京政府は引揚を希望

【東京十四日發電】南京政府外交部は上村南京領事宛國民軍飛行機は近く鄭州を襲撃することゝなつたから同地における貴國人に對し危險を避くる爲め引揚方を電命されたしとの通告をして來た、この報告に接した外務省では協議の結果鄭州在住の邦人を直ちに引揚げしむることなく北平公使館主席書記官をして閻錫山及び馮玉祥氏に對し鄭州における邦人の保護を要求することになり既にその手續きを了した

廣東軍遂に桂平占領

【廣東十四日發電】蔣介石氏の最後的激勵に奮起した廣東軍は廣西軍が難攻不落と頼んだ桂平の要害に對し十一日來水、陸、空から總攻擊を爲し十三日夕を占領した、廣西軍は武宣南寧方面に退却中なるも目下平樂方面の白崇禧軍を北江方面より廣東省に侵入させん爲めの作戰とも見られてゐる

徐州、漢口地方を二週間內に攻略
馮玉祥軍の意氣込み

【北平特電十五日發】南北兩軍は愈々隴海線方面で衝突近く大決戰が行はれるものと豫想されたが當地に達した情報によれば馮玉祥氏は二週間內に徐州、漢口を占領する意氣込みで先づ隴海線方面に主力を集中二十餘萬の軍隊を三路に分ちて進擊せしめて居る、右路は孫楚、萬選才軍で蘭封、考城一帶に駐まり、中路は鹿鍾麟軍で鐵道に沿ふて前進、左路は孫殿英軍で歸德、潁州、亳州、馬牧集一帶に七師の軍が滿を持し決戰に備へてゐる、尙第八方面軍總司令樊鍾秀軍は孫殿英軍と協力して敵に當るべしとの命を受け前敵總指揮任應岐軍は許昌上蔡方面より進擊中

籠城三ヶ月
降らぬ高桂滋軍
頑張り中央軍に對抗

【天津特電十四日發】濟南から歸津した反蔣派の劉子玉氏（舊直魯軍々長）の談によると、諸城莒縣に去る三月以來籠城してゐる第十九師長高桂滋氏及びその全軍は馮鴻逵軍に投降して改編されたと傳へられてゐるが、事實は

全く無根　蔣介石派の宣傳であつた、初めから陳調元氏の部隊范熙績軍が諸城を包圍し又蔣介石氏の部隊陳漢耀軍が莒縣を包圍して頻りに攻擊を加へたが高軍は孤立無援ながら克くこれを防ぎ往（ママ）々では猛襲するも落ちないので兵糧攻めに方針を改め包圍しが最近山東西部の戰ひが緊張し濟南附近が危ふくなつた爲め包圍を奉安の馬鴻逵軍に讓つた、斯くて陳耀漢軍は莒縣を、馬鴻逵軍は諸城を監視の形式で

包圍してゐるが城內からも一發も擊たず、城外からも攻擊せず睨み合つてゐるが面白いのは攻防兩軍で互に使節を交換して何事かを協議しつゝある一方城內の野菜が缺乏した場合は包圍軍が無料で供給し物々交換の取引も行はれ城內の住民も休戰狀態なので平常通り營業をつゞけてゐる、高桂滋氏が今後如何なる態度を取るか疑問だが目下の狀態では依然

投降せず頑張つてゐる、一般は之を民國內戰の三大籠城の一だとし敵味方共に「好看！」と稱高氏に敬意を表してゐる（誠眞は高氏）

呉佩孚氏の通電
和平のため居中調停

【天津十三日發電】四川に在る呉佩孚氏は次の如き通電を全國に發した旨十二日當地にて江北招撫使齊燮元氏側から發表された

國民は今や戰亂に厭けり、余は地を川中に避くこと四年、國事を問はざること久しきが各方敦促の情に感じ且つ西夫責ありの義に從ひ歡止するに忍びず即日四川を出で居中調停の勞を取らんとす、戰爭を如何にして阻止すべきや、統一は如何にして完成すべきや、教育は如何にして改進すべきや、政治法律は如何にして國情に適應すべきや、國民の生計を如何にして至善たらしむべきやに就て海內賢達の示教を希ふ

〇南軍來降續出

【北平十四日發電】齊燮元氏は隴州に江北招撫使署を設けたが歸余は南方に在ること二十餘年江南は第二の故郷で既に南軍中から投降を希望して來てゐる者が多い今回江北の招撫に努力するが閻馮兩氏を助けて速に戰事を終了せしめたいと考へてゐる孫傳芳氏極力余を援助することになつてゐる云々

齊、孫兩氏の起つた時、呉氏の右通電は各方面から非常に注目さる

奉天派の軍事會議

【吉林十三日發電】張作相副司令は張學良長官より本月十五、六兩日時局軍務會議を開催するにつき出席すべしとの召電に接したるを以て十四日赴奉すべく吉海鐵路局に列車の準備を命じたと

ヂルシュ族遂に叛亂

【ボムベイ十五日發電】從來英國の統治に忠實であつた印度西北部の土地のヂルシュ族も遂に叛亂を起しミラムシヤ附近のダッタケルを占領した、北部のジリスタン駐屯軍は飛行隊の應援を得てこれを擊退したが擊退された

財部全權が各方面に寄附金

【ハルビン特電十四日發】財部全權一行は昨日來哈し、山口多聞中佐、福田啓二、外務省溝口省一、吉田少佐、三藤書記官、馬世田重太郎大佐、鹽田大佐等十三名で本日午前出發したが、隨員一行は京城に立寄るか否か未定である、尙全權は離哈に際し民會三百圓、誠志會百五十圓、滿鐵俱樂部二百圓、警察署百圓、小學校三十圓を夫々寄附した

在滿同胞の元氣な顏は愉快
十四日長春市中を見物後
財部全權元氣で語る

【長春特電十四日發】財部全權一行は十四日午後三時十七分長春着多數官民及び各小學校生徒の盛大な出迎へを受け萬歲の聲裡に杖をくゞり元氣よくヤマトホテルに入り、小憩の後、自動車を驅つて市中を巡視、西公園に赴きこの程竣工した海軍記念碑に參拜し四時二十分破れるやうな萬歲聲裡に歸朝の途に就いた、財部全權は往訪の記者に對し統帥權問題其他政治的談話を一切さけて左の如く語つた

長いシベリア鐵道の旅行を續け南に來るにつれて明るい氣分がする、殊に滿鐵附屬地に一步を印し同胞の元氣な顏を見て愉快だ、十六年前一度通過したことはあるが夜であつたから見られなかつたが、今度初めて附近の風景を見る譯である、聞けば一萬の同胞がゐるさうだが市中を見物しても到るところにテニスコートやグラウンドなどを散見する、道ゆく人も活氣に滿ちてゐる、貴紙を通じて在滿同胞が益々元氣よく奮鬪されるやう告げて貰ひたい、私の健康も大分よくなつたので京城に一泊し直ちに歸京する豫定である

關東廳の官有土地處分方針を樹立
新に調查委員會設置

關東廳では從來滿洲政治界の癌といはれたる土地拂下げ貸下げ其他官有財産の處分に關する方針を確立、その嚴正公平なる制度たる官有財産土地調査委員會を設けこれに關する一切の調査を遂げたる上長官の諮問に答申その決定をなすことゝなつたが關東廳では十三日附を以て左記關東廳關係官職者を以て右委員に任命、本月廿四日頃第一回委員會を開會する筈であるが昨秋來の拂下げ貸下げ關係書類は全部で二百餘件に及んでゐる

△內務局長紳田純一△事務官中谷政一△同日下辰太△同竹內德亥△同源田松三△同松田芳助（以上委員）△事務官源田松三△屬二宮米內山震作（以上幹事）△屬二瓶晴△同中澤基一△同大橋將實（以上書記）

人事

▲善導大師參拜團　一行十八名は十五日來連、十八日奉天へ向ふ豫定

關東廳辭令（十三日附）

旅順工科大學教授　野田淸一郎

旅順工科大學普通試驗委員長ヲ命ス

旅順工科大學同委員ヲ免ス　小倉勉

同　助手　內藤傳一

旅順工科大學普通委員ヲ命ス

任旅順工科大學教授

叙高等官七等

九級俸下賜、職務俸四百圓下賜　從六位　瀨谷佐次郎

任關東州公立實業學校長

叙高等官五等八級俸下賜

補大連市立商工學校長

旅順工科大學海科助教授　茂木善作

兼任關東廳中學校教諭

叙高等官七等

旅順第一中學校勤務ヲ命ス

關東廳遞信技手　城　靖

依願免本官

簡易保險局書記兼關東廳遞信書記　多米　實

免兼官

關東廳技師　倉賀野　晋

岩手縣及東京市ヘ出張ヲ命ス

安興子

秩父宮さまが橘山からのお歸り道で遼子營の支那農家へ成らせられたとき▲御案內申上げたのは全線の驛長中の元老で首山の名物男として知られてゐる男澤芳三郎氏であるが▲殿下が味噌甕の蓋をおとりになつたので「これは虫がわくほど美味しい味噌でございます▲支那人の申しますのには虫ども美味いものと不味いものをよく存じてゐまして虫がわくから美味いと申して居ります」と御說明申し上げたところ殿下には扈從者を顧みられて「御哄笑遊ばされたと洩れ承る▲また奉天で支那商が骨董の僞物をホテルに持ち込んだのを入田滿鐵囑託が發見し台覽に入れることを取り止めたといふ支那らしいエピソードが傳へられてゐる。

特産

定期後場（銀建）

▲大豆（新調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　百七十車

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（強調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　三萬九千枚

▲豆油（見越）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　一千箱

▲高粱（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　八車

▲包米（出來不申）

現物後場（銀建）

品名	寄付	大引
混保大豆　袋込	七〇五〇	七〇六〇
大豆　裸物　出來高	三十車	
普通大豆（袋物）	六九六〇	六九六〇
出來高	二十車	
豆粕	二二八五	二二八五
出來高	一千枚	
豆油	二〇一〇	二〇一〇
出來高	二千箱	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔

定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　期近　二百二十五萬圓

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　銀對金　一萬四千圓　銀對洋　二萬二千圓

神戸米穀（十五日）

大豆現物　[illegible]
先物　[illegible]
豆粕現物　[illegible]
先物　[illegible]
滿洲小麥　[illegible]
豆油現物　[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	不申	不申
大紡新	[illegible]	[illegible]
鐘紡新	[illegible]	[illegible]
日糖新	[illegible]	[illegible]
郵船	不申	不申
東新	[illegible]	[illegible]

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
中信	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]
豆中	[illegible]	[illegible]
豆先	[illegible]	[illegible]

東京株式（短期）

	品	新
寄	五	東
引	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]

神戸期米

限月	後場寄	後場引
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]

東京期米

限月	後場寄	後場引
八月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]

滿日地方版

撫順

殿下をお迎へ申上げ 水も漏さぬ警戒 守備隊と警察の活動

秩父宮樣をお迎へするに方り沿線警備の重任に當れる撫順守備隊は全將卒をあげて一ケ月前よりそれぞれ遺漏なきを期してゐたが、十四日午後七時頃より十五日午後四時頃まで撫順驛、撫順驛間に百十五名の將卒を出動せしめ橋梁その他要所要所を徹宵警戒した、又十五日お召列車の到着直前は總守曹長以下五名はモーターカーにて奉天、撫順間線路を御警戒申し上げた又撫順署も全員出動御道筋は勿論全區に亘り警戒し御旅路安らかならん事を衷心から御祈りした

六師團の激戰地 秩父宮殿下が御視察 遊ばされた孤家子

昨十五日秩父宮殿下の御視察遊ばされた孤家子驛附近は沙河を占領した吾が軍が長驅奉天を衝かんとしたる際沙河、奉天間で**最も激戰**のあつた地である第六師團、大久保支隊の後備歩兵第廿二聯隊第七中隊は卅八年三月九日午前十時孤家子附近に達した時敵兵五、六十名其北方の黄泥坎及鐵匠屯方面に退却中なるを發見し之を追擊して黄泥坎南方に達した際意外にも優勢なる敵の大軍に遭遇して茲に激戰を交へ死傷續出した、その時第六師團右翼隊の前衛が進出して所屬砲兵を張沙屯（孤家子驛東方約二千米突）に進入せしめ共に黄泥坎の敵に當つたが、敵もなかなか頑強で容易に**接近する**ことが出來なかつたのでその一部を黄泥坎の東方約千米突の腰堡方向に出し敵の側背を突かしめ樣としたが之亦功を奏せず、腰堡に停止した右翼隊本隊は同日午後零時三十分張沙屯に到着しその西北端に砲列を敷き歩兵四十五聯隊を腰堡方面より歩兵三聯隊を孤家子東方より黄泥坎の敵を攻擊せしめ同午後七時頃不落

陸上競技台覽の秩父宮殿下

秩父宮殿下には十四日奉天醫大構内における全滿インターカレッヂの陸上競技會にお成り御興深く台覽遊ばされたが、御寫眞（上）は會場中央に設けられたお席にて御觀覽の殿下（下）參加選手への御會釋

耀く榮譽 お召電車に侍つた人々

昨十五日秩父宮樣の御便乘を忝ふしたる光榮の電車運轉手は炭礦運輸課新原友三、桃井良太郎の兩氏で炭礦きつての技術優秀者、亦車掌辻省三、平田泰之助の四氏とも過ぐる年高松宮殿下御來撫を得たる時も光榮に浴した人々である、且つ御便乘の電車は先年撫順各小學校に御眞影の御下附あつた際奉戴した由緒ある電車である

年增藝者の自殺未遂 痴話喧嘩の果

十四日午後五時市内長崎屋止宿の奉天柳町某亭藝妓金彌こと坂田トク（三七）がカルモチンを多量に嚥下自殺を計つた、この女は先年撫順新楊町金龍亭に貞奴と名乘つて出てゐた頃から現發電所勤務古賀某と云ふ妻子ある男といゝなかになり、約二十日前より來撫前記長崎屋に止宿古賀と媾曳をしてゐたが兩日前痴話喧嘩の揚句この世が嫌になり毒藥自殺を計つたもので、目下撫順醫院で加療中であるが生命危篤

奉天

滿洲出身のテノール 平間氏の獨唱會 明夜公會堂で開催

滿洲出身聲樂家「テノール」平間文壽氏の來奉を機會に十七日午後七時から公會堂に於て獨唱會が開催される事になつた曲目は左の如し

▽第一部▽

一、「イ」悲しき母（トステイ）「ロ」聖母禮讚（マスカーニ）
二、「イ」六騎（山田耕作）「ロ」城ケ島の雨（同）「ハ」樹立（同）
三、「イ」濱邊の歌（成田爲三）「ロ」ねむの花（宮原禎次）「ハ」濱の購曳（山田耕作）

▽第二部▽

四、「イ」晝の夢（梁田貞）「ロ」ゆく春（山田耕作）「ハ」春の宵（同）
五、「イ」捨てた巻（同）「ロ」大島節（貫原禎編曲）「ハ」船頭うた（伊藤裕司）
六、「イ」歌劇ミニオンより（トーマ）「ロ」歌劇カヴァッレリア（マスカーニ）ル、テイカーメより
（伴奏齋藤佐和）

春祭りに賑ふ巷

十四日から奉天神社の春季大祭で献燈の提灯各戸につけられ各所の幟は強風に靡へり奉天神社參拜者引も切らず、境内に於ては煙火、活動寫眞、相撲等の餘興あり十四日の宵祭は殊の外お祭り氣分が漲つてゐた

人事

▲太田關東長官 十四日朝來奉
▲山本兵庫縣特高課長 十四日朝過奉長春へ
▲林外務省事務官 十三日安東より過奉長春へ

四平街

市民協會の役員 總會で決定す 會長には山添氏就任 ◇…副議長其他は近く互選

既報の如く四平街市民協會定期總會は十三日午後七時より滿鐵社員倶樂部階上に於て開催された、全會員數百六十一名の内出席者八十五名、委任狀持參者四十三名外に三浦地方事務所長、杉山高等刑事臨席、山添會長より就任七ケ年五ケ月に亘る會の推移につき感想を述べて開會の辭に代へ、平岡書記より昭和四年の事務報告、鶴見次世氏より昨年の決算並に本年度の豫算の原案説明何れも異議なく可決、それより山添會長は再び議長席につき動議に移つたが例の協會革新問題も何等議に上らず玉木氏より運動會開催方と竹村氏より地方多年の懸案である公會堂建設促進方につき希望を述べしのみで極めて靜謐裡に動議を終了、引續き會長選擧の無記名投票に移り開票の結果

一一五票山添尚江、七票鶴見次世、四票竹本二丸、一票桂馨三、一票竹村石次郎

にて山添氏當選、更に二十名の議員は同じく無記名投票の結果

一一九桂馨三、一一七鶴見次世、一一四伊藤新八、一一二櫻井教輔、一一一木藤品次郎、一〇三和田庄太郎、一〇二山口成淳、九九田中佐重郎、九八添田澤二、九五坂本直吉、九五石川直吉、九三竹村石次郎、八九飯塚寵之助、八八島村喜久馬、八七竹本二丸、八七佐藤龜記、八七池田耕、六九松田琢海、六七岸久藏、六一工藤久三郎

の諸氏當選、孰れも就任せるが副會長並に常任議員は近く評議員會を開き互選する筈

鐵嶺

晩春のひと夜を 敬老の催し 色とりどりの餘興澤山 十八日公會堂で公開

鐵嶺青年團第三回敬老會は既報の如く來る十八日の日曜日に開催と決定し、在鐵六十五歳以上の高齡者四十名、及び來賓として各方面の官民有力者に招待案内狀を發送したが當日は午後一時までに神社に集合、高齡者青年團員來賓等參列して式典を擧げ記念撮影後、慰安會場たる公會堂に到り山内團長開會の辭を述べ、來賓の祝辭、高齡者の**答辭を**終つて午後三時半から慰安會に移り、左のプログラムによつて各方面應援の餘興があるが、此の餘興は從來一般に公開されざるものと思はれてゐたさうであるが主催者側では高齡者を喜ばせる爲め一般多數の入場觀覽を希望するので午後三時半開始と同時に一般にも公開する、今年は郵便局の親和倶樂部員が今春奉天で大喝采を博したといふ得意の演藝「切られ與三」を出し機關區の實藤、瀧谷兩氏が又得意の義太夫「壺坂」入で**滑稽な**ところを見せ、鐵嶺岡氏一派の「喜劇」あり青年團員も紀藤顧問を中心に一幕物「父歸る」に初舞臺を踏まうといふ、其の他萬安、鐵嶺ホテル、松花ホテル等美妓の出演は勿論、少女倶樂部の舞踊、童謠、尺八（都山流琴古流）、琵琶、謡曲等十九回の出し物で午後十時半頃に閉會の豫定だと

慰安舞踊會 來月一日開催

鐵嶺滿鐵社會係では滿鐵クラブ員の慰問として來月一日大連在住舞踊の大家荒川夫人外二名の舞踊家を招聘し家庭趣味普及の舞踊を公開しクラブ員の慰問會を催ふすと

少女歌劇團 あすから開演

日本少女歌劇團の一行は明十七日華々しく當地に乘込み沿線各地で好評を博した「ジャズバンド」及び幕無し二十景「東洋一周大レヴュウ」其の他ダンスに歌劇に舞踊に一行四十名が華やかな出演を爲す由

遼陽

特別委員を選み けふ初審議會 副會長問題は後廻し 市民更生會の協議

遼陽市民更生會では十三日午後七時から公會堂日本間に緊急評議會を開催、萩岡副會長病氣靜養其の他の用件で約二ケ月間内地歸省に付、其の間臨時代理者を置くか又は副會長員數增加の件に付協議したが、會則變更を要する事に付副會長問題は後廻しとし現在調査中のものを十五日迄必ず取纏め、且つ各區から特別委員二名（城内一名）を選出し十六日午後一時から同所に於て第一回審議會を開催することゝして散會した

輸組の 旅商隊 成績良好なら 繼續的に

遼陽輸入組合の風月堂、たぬき屋、岡田洋行、辻商店、中川商店の五名は早顯の慫慂と斡旋により十三日から約一週間の豫定で旅商中であるが、成績が良ければ高粱繁茂季節までの數ケ月を利用して有力な團體を組織し組合幹部の指導と滿鐵商工課の援助の下に商業實習所とも連絡して繼續的に實行する計畫であると、工場撤廢の打擊と不景氣に祟られてる遼陽商人の企てとしては極めて恰好のものとして一般から賞讚されて居る

新井博士送別 けふ午後六時

遼陽土曜會では十六日午後六時半から公會堂に於て公主嶺醫院長に榮轉する新井博士の送別會を兼ね例會開催に付なるべく多數有志の出席を希望すと、因みに會費二圓當日持參申込みは當番幹事師團司令部遠藤（電八二）滿日支局（電三四八）へ

兩氏劍道昇段

滿鐵遼陽道場劍道部の田畑壯次郎氏は初段に、萩之内清氏二段に列せられ滿鐵運動會長から免狀の下附があつたので見坊支所長から交

瑞氣全市に溢れ けふ宮殿下を迎奉る 午後零時五十分公主嶺驛御着 ◇伺候は四時半より◇

【公主嶺】戰蹟御視察中の秩父宮殿下には今十六日午後零時五十分公主嶺驛に御到着遊ばされるが當日の御日程及び奉迎送者の心得は大體左の通りである

御日程

▲午後零時五十分公主嶺驛御着御召車内に於て寺内獨立守備隊司令官單獨賜謁
▲驛ホームに於て列立者に賜謁、終つて驛長御先導、鐵道部長御誘導にて午後一時驛御出發
▲憲兵分隊長御先導駐屯地司令官軍參謀長、警務局長、憲兵隊長御扈從し泰平通を農事試驗場へ御臨
▲午後一時五十分農事試驗場御出發、畜産道路を經て畜産科へ御臨
▲午後二時四十分畜産科御出發、畜産道路農事試驗場前霞町を經て午後三時五分將校集會所へ成らせらる
▲午後三時四十分獨立守備隊第一大隊御見學
▲午後四時御假泊所へ入らせらる
▲午後六時三十分將校集會所御招宴場へ成らせらる
▲午後七時三十五分御假泊所へ入らせらる

奉迎送者心得

一、奉送迎者は御到着並に御出發前三十分までに泰平通指定場所に集合、當驛御通過の際は驛構内指定の場所に整列すること
一、殿下御滯在中並びに公主嶺驛御通過の日は各戸國旗を掲揚すること
一、御道筋の諸馬車及び一般の交通は御通過二十分前に之を停止せしむべきを以て、豫め御道筋以外の道路による事

奉送迎者服裝

文官及び地方側フロック又はモーニングコート）和服は紋付羽織袴、又は之に相當する不敬に亙らざること

伺候者資格

△列立賜謁者 六位、勳六、功六以上の有位有勳者、在鄕軍人分會長、地方委員、正副驛長、同委員、敎化團

伺候の時刻

十六日午後四時三十分より午後六時までの間、伺候者は御假泊所に伺候者名簿準備あるを以て職官位勳氏名を記載すること

開原驛御通過 午前十時—昌圖は十時半

【開原】在滿同胞の齊しくお待ち奉れる秩父宮殿下は十六日午前八時奉天驛御發車開原驛御通過は同十時昌圖驛は十時三十六分御着五分間停車同四十一分發車相成るが**開原驛**に於る奉迎送者は驛上りホーム最南端より各官公衙及び各團體地方代表、在鄕軍人分會、青年團、青年聯盟、小學校生徒の順位に整列し一般奉迎送者は其後方に整列する事

昌圖驛に於ける奉迎送者は御召車に向つて將校、有勳者在鄕軍人、小學校生徒其の後方に一般奉迎送者は整列する事 尚ほホーム内に於ては御警衛係員の指示を受け當日は各戸國旗を掲揚する事

九分間御停車 九時十六分鐵嶺御着

【鐵嶺】秩父宮殿下に於かせられては今十六日午前九時十六分鐵嶺驛に御着プラットホームに於て官民の御出迎へを受けさせられ停車九分再び北行の御豫定と承る、奉迎市民は左記注意要綱を固く守り謹んで奉迎申上ぐべきである

奉迎送心得

一、奉迎送者は御召車到着廿分前までに必ず所定の場所に集合すること
一、服裝地方代表者は可成モーニング、フロックコート又は紋服を着用せられたし
各團體員にして制服ある者は制服着用のこと
一般奉迎送者は不敬に亙らざる服裝を爲すこと
一、奉迎送者は驛構内に携帶品を持入らざること奉迎送者には豫め身體檢査を爲す
一、敬禮、正服正帽の團體員は引率者の指揮により擧手の禮、一般の奉迎送者は最敬禮とす
一、屋上、階上、車馬上其他の高所（塀、柵、樹木）に於て奉迎送せざること

奉迎送の位置

地方代表者及將校並に同相當官は中ホーム中央
本家側ホームには南端より滿鐵社員、健兒團、青年團、在鄕軍人分會、軍隊、婦人會、學校生徒等各團體が整列し一般奉迎送者は其の北に續くこと

光榮の賜謁者

【撫順】十五日秩父宮御來撫に際し驛頭ホームに於て列立賜謁の光榮に浴したるものは左の如し

△步兵少佐池田直三△步兵大尉東長生△步兵中尉村上永吉△同角田市朗△少尉後藤秀乾△軍醫米澤政郎△憲兵分隊長田村勝治警視寺田良之助△局長福永高介△炭礦次長久保孚△岡村金藏△國松綠△中野忠夫△大垣研△郡新一郎△大橋顯三△今泉卯吉△佐藤應兆郎△坂口兌△前島昊一△馬場彰△志岐武一郎△平石榮之助△片山嵩△長徙川清雄△內野捨一△大尾袈裟助△飯村憲五△三好兼吉△寺田嘉次郎△植村良男△棟久藏△瀧澤嘉一郎△瀧野多嘉雄△米澤信二△小野求太郎△鈴木貞江△荒木馨△岡雄一郎△升巴倉吉△高井恒則△宇木甫△齋藤護邦△伊東直△山口武吉△土生琢介△鶴丸熾一郎△吉田弘策△石橋壽人△眞鍋好雄△井術享△三好十六△南家礦次△野口直徹△田中長吉△原口正德△寺西圭之△古賀初市△窪田利平△中島右仲

支那部落を訪はせられ 數々の御下問 男澤首山驛長恐懼す

【遼陽】秩父宮殿下が男澤首山驛長の御案内で達子堡部落に支那農家に御立寄り農家の生活狀態に付詳細御視察遊ばされた際男澤驛長から昨秋收穫の根付高粱數本を御覽に供したるに、達子山寫眞館謹製の橋山附近高粱繁茂の寫眞と對照遊ばされ根付高粱は陸軍大學の標本となす樣にと御附武官に御下命あつたと、殿下は更に同部落の寺小屋に成らせられ教育の狀態教科書、修業年限、教師の資格、月謝等に付次から次と御下問あらせられたので御案内申上げた男澤驛長も殿下が如何に下情に通ぜさせ給ふかと奉答に恐懼したと

營口

砲煙天に轟き 猛火新市街を包む 目覺しかつた婦人救護班の活動 砲兵隊の演習終る

滿城野砲隊の當地における攻防演習は既報の如く十四日午後三時より四時まで新市街を中心として行はれた、攻擊軍の隊長は宮本砲兵中尉、步兵隊長兒玉步兵中尉、騎兵分隊長は宰砲兵曹長、野砲兵第七中隊長高橋砲兵中尉等にして、防禦軍の隊長は松澤砲兵大尉、步兵隊長は城步兵中尉、騎兵分隊長は小川士官候補生、野砲兵第八中隊長は木村砲兵中尉等にして消防隊**婦人救護班**之に加はり在鄕軍人は步兵隊に參加し奮戰したるが午後三時四十分頃より埠頭倉庫南方空地に砲列を敷きたる三門の野砲は、營口驛附近に現はれたる敵軍に對し砲擊を開始し砲聲殷々として天地に轟き耳も聾せんばかりであつた、次いで攻擊軍の步兵隊が營口警察署と消防隊との間に現はるゝや平本洋行前の空地に陣地を敷ける步兵隊は小銃及び**機關銃を以**て猛射を加へたるも攻擊軍は益々躍進して猛擊するので防禦軍は死傷相繼ぎ、婦人救護班の活躍目もさむるばかりであつた、攻擊軍の砲彈の爲め新市街は見る見る大火災を起し滿鐵消防隊必死となつて活動し、一方攻擊部隊の一部は步兵突擊の準備として鐵條網の破壞を企て彼我の距離益々接近し戰鬪愈々猛烈を加へ來る時突擊戰に移り休戰となつた、川村砲兵聯隊長の閱兵講評あり、後ち新兵器の供覽があつて演習に終りを告げたが日支人の觀戰者數千何れも進步せる戰術に感嘆の意をもらして居た、砲兵隊は十五日午前七時大石橋に向つて出發した

附された

平間文壽氏獨唱會

滿洲出身の聲樂家平間文壽氏の獨唱會は十五日午後七時半から小學校講堂に於て開催された

人事

▲三宅茂氏（滿陽醫院長事務取扱兼醫長）十三日安藤事務長の東道で各所歴訪着任挨拶
▲見坊地方事務所長 十三日夜赴連
▲長山警察署長 十四日奉天往復

ポスター展 廿二日から開催

公私經濟緊縮委員會營口支部では内務省社會局より送付の經濟統計圖表及各府縣より送付の緊縮宣傳ポスター多數を圖書館に陳列し、來る二十二日より同二十六日まで毎日午後一時より同九時に至る期間展覽會を催すにつき是非多數の來觀を希望すと

輪組役員決定

輸入組合にては去る十三日公會堂に於て第二回定時總會を開きたるが役員選擧の結果左の諸氏當選した

△監事秋山保太郎、乃美熊太郎
△評議員に須崎平右衞門、坂井喜則、山住市藏、三井八五郎、尾崎玉尾十二郎、熊谷德次郎、尾崎菊三、森田信造、辻茂太郎、田邊源吉、安彥美三、池田桑作

安東

陸境關稅問題を 商議大會に提出 奉天、京城兩商議と打合はせ 好轉を期す—荒川會頭談

日本商議臨時大會は來る二十七、八、九の三日間大阪商工會議所に於て開催される事となつたが、同大會に緊急提案として安東商工會議所からは陸接國境三分の一減稅撤廢問題を提案するに至る模樣で目下準備を進めて居る右につき荒川會頭の意見は左の如く語つた

未だ安東商議が提案するとは決して居ないが、大體問題が問題である爲め安東が中心となつて提案するに至るであらう、之等の點に就ては**既に**奉天京城兩商議とも大體の打合せも濟んでゐるが、正式に提案するとなれば今一度具體的協議をする必要がある、幸に奉天から庵谷會頭、京城から副會頭が會議に列席する事となつてゐるから、安東からは代表を送れないが、庵谷君が極力說明の勞をとつてくれるであらうから、內地側を動かして多少なりとも本問題の好轉を期したいと思つてゐる

十一萬圓を突破 十二日夜慰勞會開催 春季競馬の賣上高

安東春季競馬は六日間好天氣に惠まれ大盛況裡に十二日を以て終りを告げた、競馬倶樂部創立後第一回目の競馬で、此の競馬の盛否は倶樂部の運命の分るゝところとして役員は言ふに及ばず關係方面全部が頗る緊張振を示して努力した甲斐あつて馬券の賣揚總額十一萬六千圓と言ふ**好成績で**あつた、十二日最終日に行はれた倶樂部賞、領事賞、高尾理事長賞爭奪競馬は次の優勝馬に下附された

倶樂部賞 時計一個 觀覺山（馬主）原田市松
高尾理事長カップ 津駒（馬主）橫畑幾久
宇佐美領事カップ 山蝶（馬主）山崎敬助

尚競馬倶樂部慰勞會は十二日午後七時半から料亭丸小に於て開催**出席者は**大津地委議長、高橋商議會頭、瀨之口副會頭、山川協銀專務、若月大連競馬倶樂部委員長、川俣安新社長、荒川安東競馬倶樂部委員長、井上競馬倶樂部幹部外各役員等約五十名で荒川會長の挨拶に對し大津議長謝辭を述べ更に若月太郎氏の讚辭ありて宴に移り、遊南兩地攫拔きの美妓酒間を斡旋主客充分の歡をつくして十時頃散會した

騎乘停止は遺憾

安東春季競馬大會は賣揚總額約十一萬六千圓と言ふ好成績で終りを告げたが、唯憾みとされたは期間中に騎乘停止の處分を受けた二名の騎手を出した事である、右に關し競馬倶樂部某幹部は語る

春季競馬が豫想以上の好成績裡に終りを告げた事は感謝に堪えない、騎手の騎乘停止處分は規程に依つたものである、パトウリン井內兩騎手は奉天から來たもので**兩騎手**に對し安東競馬期間中に再び騎乘出來る樣にと諸手連名で競馬會本部に嘆願書を提出して來たが會の威嚴に關するので採用しなかつた、氣の毒な事ではあるが止むを得ない、騎乘停止處分は一期間であるから次期には出場しても良いのである

因に處分を受けた騎手は露人パトウリン及井內輝光の兩騎手である

新義州署長 田中警視 十三日着任

新任新義州署長田中警視は十三日午前十一時三十七分着列車で新義州に直に道廳を訪問したる上新義州署に到着全署員を三階の講堂に集め一場の訓示をなし初對面の挨拶を終へたる後記者に語る

從來新義州署は新任者の署長は前例なし何れも警視級でも老練なる人ばかりが任命されてゐるとかで、私の今回の任命に對しては官民各位の鞭撻指導に依つて出來得る限りはやります、鞭撻される覺悟でやります

田中氏は劍道の達人にて頑丈なる體格の持主、明快な應待振りは初對面の者にも好印象を與へる

外材防遏對策 運賃半減は絕望か

木材界の不況は今や全國的となつたが殊に鴨、黑兩沿岸より產出される鮮內產の木材は沿海州、樺太方面の輸移入材に壓迫され相場も下落の一方を辿つて居る爲め、總督府山林部は外材の流入を防止し兩江材を保護する意味から、鮮內材の運賃半減方を鐵道局に向つて交涉を開始した、然し鐵道局では運賃低下のみに依つて外材流入を防ぐことは其の效果尠しとの見解から容易に應じない結局鐵道局が之に應じない時は、山林組合が總督府の補助を得て小型發動機船を多數購入し鴨綠江材は安東より仁川邊まで自力で運搬しようとの計畫が進められて居ると傳へられ、木材界不況の折柄其の成行は相當注視されてゐる

五龍背溫泉の大改築

安奉線五龍背溫泉の經營は愈々來る六月一日から現經營者の手を離れ旅館會社の直營となる事となつたが、之れと同時に全屋、浴槽其他庭園等に到る迄大改造を爲す筈

不逞鮮人逮捕

義州郡批峴面亭山洞二二二農當時住所不定金德河（三一）は同洞白神源は十九名の同志と共に大正九年より不逞團の群に投じ殺人、放火傷害强盜等あらゆる兇暴を逞しうし爾來久しく滿洲方面に遁走各地を轉々としたが、此程コッソリと歸鮮し姓名新義州を徘徊中新義州署員に逮捕されたが、取調も一段落つき十四日局送りとなつた

開原

軍人會の行軍 十八日昌圖天鏡山方面 參加申込は十六日中

開原在鄕軍人分會にては來る十八日昌圖天鏡山に左記により行軍を實施する事に決せりと

一、十八日午前六時三十分開原驛發貨物列車にて出發、昌圖驛着直ちに同驛南方二里八丁に位する天鏡山へ行軍（石山迄バラス車に便乘交涉中）山頂にて記念撮影、休憩の後石山まで歸りて晝食、昌圖驛に歸着したる後時間の都合にて日露戰役最後陣地記念碑を見學し午後四時五十分昌圖驛發同五時三十一分開原驛に歸着解散す
一、晝食並に間食（乾麵麭）は分會にて準備し、正會員、贊助、名譽會員は無料、其の他の參加者は金五十錢宛を申受くと、なほ參加者は十八日午前六時十分迄に開原驛前に集合する事とし、參加希望者は十六日までに各班長に申込まれたしと

入江事務長着任

開原醫院事務長入江理氏は着任挨拶の爲め十四日各方面を歷訪した

貧乏人に購買力を與へよ
國民所得の尠い日本
國産愛用に當面して

どこの國でも金持はコスモポリタンである、金さへあれば世界中から最上等の品物を取寄せることが出來る、洋服にしてもイギリスの生地を取寄せて作る、手織がよければスコッチ・ホームスパン、アイリッシュ・ドネガル——何でもお好み次第である。

貧乏人の購買力

貧乏人はさうはゆかない、彼等は已むを得ざる國産愛用者である その國産さへも思ふやうには買へない、彼等に今少し購買力を與へよといふ議論が勢を得て來た、さうすれば國産品の需要も増加するであらう、アメリカの「賃銀革命」とか「高い賃銀の經濟」とかいふのも畢竟その狙ひどころは國産愛用——國内産業の繁榮維持である、近代的の産業は總て大量生産である、從つて大量需要がなければ成り立たない、大量需要の消長は大衆の購買力の増減から起る。

日本の國民所得

インド人はドウテイといふ大巾の綿布を身に纏ふ、小賣値段にして一疋分邦貨一圓か二圓ぐらゐ、わが國でも近年これを作つて年々三、四千俵インドへ輸出してゐる インドには三億の民衆が居る、不振をかこつイギリスの綿業者が斯う言つてゐる、三億のインド人が各々一年に今一疋餘分にドウテイを買つてくれたら、ランカシアの綿織會社は忽ち息を吹き返すと、大衆に向つて消費を節約せよと呼びかければ、應と答へて出て來るものは産業不振の鬼である、その鬼を擊退するために政府は今や國産愛用——即ち國産品の消費促進運動を始めやうとして居る、ところが日本國民の所得は他の國民に比べ非常に少い。

一人國民所得(昭和三年)

		圓
アメリカ	九百億ドル	一、三〇〇
イギリス	四十億ポンド	八〇〇
フランス	二千百億フラン	三〇〇
ドイツ	六百億マーク	四二〇
日本	百二十億圓	二〇〇

國民所得の少い日本の産業界は海外の購買力によつて維持されてゐる、世界的不景氣が來て、輸出が振はなければ日本の産業が萎微するのは當然である。

日本の個人所得

わが國の購買力が振はないのは富の分配が不公平で貧富の懸隔が甚だしいからだといふ説がある、大藏省の調べによると昭和三年度の第三種所得税納税者は左表の如くである

個人所得

千五百圓以下	二八二、一五五人
二千圓以下	二二四、一〇七
三千圓以下	一六七、六八三
五千圓以下	一四三、三四四
七千圓以下	五一、三二四
一萬圓以下	三四、五九〇
一萬五千圓以下	二三、三五八
二萬圓以下	一〇、一一九
三萬圓以下	八、九六〇
五萬圓以下	五、九三二
七萬圓以下	二、一七七
十萬圓以下	一、二九八
二十萬圓以下	一、一五〇
五十萬圓以下	四二八
百萬圓以下	一四〇
二百萬圓以下	一八
三百萬圓以下	五
計	九四六、六八八

アメリカに就いて右と同じやうな表を作り、日米の比較をして見ると日本では年收五千圓以下が納税者總數約百萬人の八割四分に當り、アメリカでは五千ドル以下が納税者總數二百五十萬人の六割四分になつてゐる、要するに貧乏人の割合は日本の方が多く、金持の割合はアメリカの方が多いといふことになる。

廿一個條々約
無效論の再檢討
中華民國國恥記念日に際し

法學士 渡邊龍策

【下】

(二)無效論の第二理由

日支條約無效の第二の理由として唱へられる所は、該日支條約は强制に基いたものなるが故に無效であると云ふのであつて、これは支那側に於て機會ある度毎に力說される所である、併しこれは法律上から論じても事實上から見ても共に理由をなさないものである。

先づ法律的見地から之を論じて見よう。條約は合意なるを以て其の成立する爲めには双方の國家の意思の一致がなければならない。己の判斷力を奪はれて無意識、又は無理に調印せしめられた條約の無效なることは個人間の契約と同じである。併し謂ふ所の自由意思とは條約の談判調印の任に當る全權委員その人の自由意思を云ふのであつて、その代表する國家の自由意思ではない。國家の機關として談判調印に當る全權委員に對して加へられたる暴行强迫に因つて結ばれた條約は、眞の國家意思の一致なしと認むべく、無效を主張し得るのであるが、國家が强國の威壓を受けた結果、又は戰爭に敗れた結果として結んだ條約も、國際法上は有效なものと看做されるのである。若し然らずとすれば、戰勝國の銃劍の前に成る講和條約の如きは殆ど成立する機會がなくなり又戰敗國が何時でも其の欲する時に於て無效を主張するに至り、國際關係の安全は保し得られない。國際法が未だ强力に依る紛爭解決を禁ずるまでには行かぬ爲めに、强力に依り締ばれた條約の效力を否認することが出來ない現狀にあつては致し方ない事である。この見地よりして往年の日支條約談判を見るに、談判者その人の意思の自由は何等妨げられてゐなかつたので、この點に於て條約の無效を主張し得べきものではないと信ずる。

更に之を事實上から見る時に、該條約の無效、從つて關東州租借地、南滿洲、安奉兩鐵道の返還を主張するのは實にピント外れである。何となれば、大正四年の日支條約は最後通牒によつて其の内容の大部分を支那が承諾したものではない、該條約の大部分はそれ以前に既に協定が遂げられて居つたものである。それを日本の關東州租借權の延期は不當の事情の下に擷取したものであるといふのは、ちと虫がよすぎはしまいか。

ましてやその最後通牒なるものも、當時支那政府側より國内の異論を取鎭むる必要上、之を發して呉れとの秘密の依頼があつたがために發せられたものであるとの噂が屢なりとせば尙更のことである 時の外務大臣加藤高明伯も亦公然と

最後通牒は讓歩するに際し支那國民に對して袁世凱の顔を立てるために彼に依つて懇願されたものである

との言を洩らしたことは、敢てブロンソン・リー氏のジャパンタイムス紙上に於けるすつぱぬきを俟つまでもないことである。

(三)支那の取るべき道

以上の如く所謂二十一箇條約、即ち大正四年五月廿五日調印の日支條約なるものは無效は、何等道理に合せるものが無いのである。にも拘らず今日に至るも支那側論客は十年一日の如く同じ論鋒を以て無效を口にしてゐるのは遺憾な事である。勿論世界の形勢は日増に變遷する。時代の變化と共に支那の狀勢も大分變つて來た。そこに古き條約を新しき條約に改め時代に適合せしめねばならぬ必要があらう。だが、改訂せざる條約はそれが早晩改訂を要するものとしても、それを無效とすることは國際秩序の許さゞる所である。

十年一日の如く二十一箇條問題を大切にして、そしてその振廻し方までも型にはめて置く間には、世界の一足先に進んで行つてしまふ。支那本國の所謂輿論のリーダーたる若き人々が反省して、内容そのものゝ整備に努力するならば二十一箇條問題の如きは何かあらん。期せずして彼等の正當なる要求は國際平和場裡に圓滿遂行貫徹されてゆくであらう。

螟蟲類の研究
=世界人類の爲に=
間島へ來たカートライト氏

米國農務省昆蟲局技師東洋部主任ウキリアム・カートライト氏は螟蟲寄生蜂に關する調査研究の爲去る四日同省技師吉川正雄氏を帶同し朝鮮經由で來龍、目下間島總領事館囑託稲名農學士の助力を得て專ら研究材料の蒐集に努めてゐるが、カ氏の來間は突然のことではなく、昨年の春吉川技師が

北鮮旅行 の序を以て試みに來間した結果、間島が粟螟蟲寄生蜂の研究上頗る有望なる地方であることを知り、次いで同年の秋後藤助手の來間となり生活史研究の爲め數萬匹の螟蟲がワシントンへ發送されたのであつた、ところが途中その八十五パーセントが病菌のため死滅したので、研究上若干の支障を來たし、同時に此病菌が果して間島に於て既に螟蟲に働きかけてゐるものとすれば、螟蟲の天敵として此の病菌もまた有効に

利用し得 られるのではないかとの疑問が生じて來たので、愈々東洋部主任カ氏の來間となつたものである、而して昨年來間島において新種と見られる粟螟蟲の寄生蜂が三種發見されてをり、此のうち一種は朝鮮の元山鐵城等に於ても發見され、その分布區域は先づ元山までと見られてゐるが、他の二種は現在のところ間島だけで發見されてゐるものであつて、以上三種の寄生蜂は目下ワシントンの本省においてタイプ・スペシメン(基本標本)に照らし合はせてゐるとのことである。右についてカ氏は大要左の如く語る

螟蟲の天敵は日本、朝鮮を通じて現在

十二種が 判明してゐるが各種の地方的分布區域は未だ完全には明瞭ではない、世界の何處かで有効なる種類を發見すれば他地方の螟蟲驅除に利用し得られるのだが、氣候その他環境の關係上米國の全土に繁殖せしめることは困難で、勢ひ其の利用は地方的に制限される、此の研究は決して米國のみの利益でなく、其の利用は全人類に莫大なる利益を與へる日本でも農林省の

桑名博士 が力を入れ各府縣の學校、農事試驗場等を連絡を執つて材料の蒐集其他調査上多大の便宜を與へられ共同研究の形となつてゐる、當地方でも日支一般人士の理解ある援助を希ひ度い

同氏の滯在は約二週間の豫定で此の間螟蟲四、五萬匹を蒐集し、結果によつては今夏再び來間して寄生蜂の生活史、習性等を直接現地について研究する心組である

と=寫眞はカ氏=(間島特信)

探偵小說 女妖(90)

江戸川亂歩作 横溝正史
伊藤幾久造畫

古塔の老婆(十)

河內莊の表まで來ると、門は左右に開いたまゝになつてゐた。

浪子はそれを見ると急いで馬車から飛び降りる。他の人たちもそれに續いた。

古い城廓の中は森閑として物音一つ聞えない。それが一層浪子を不安にした。最早取返しのつかぬ事が起つてゐるのではなからうか小夏は既に、あの恐ろしい惡魔の毒手にかゝつてゐるのではなからうか。

さう思ふと浪子はがくがくと足が慄ふのを覺えた。

「一體、何處へ小夏ちやんを連れて行つたのだらう」

人々は恐ろしげにそつと顔を見合せながら呟く。

「多分、あの塔の頂邊の、誰も入るものゝない小部屋に違ひない。彼處なら、誰にも知られずに、三月でも四月でも人を押込めておく事が出來るからね」

一番この塔について詳しい老役人がさう言つた。

「塔の頂邊の小部屋ですつて?」

浪子は聞き返す。

「さうです。昨日、お利枝婆さんが殺されてゐた、あの下の部屋です」

「ぢや、其處へ案内して頂戴。さア、一刻も愚圖々々してゐる場合ではありません。かう言つてゐるうちにも、どんな恐ろしい災難が小夏ちやんの身の上にふりかゝつてくるかも知れたものぢやありませんよ」

さういはれると、今迄愚圖々々してゐた村の人々も一齊に奮ひ立つた。

小夏——あの可憐な小夏——彼女を憎むべき惡魔の手にゆだねてどうなるものぞ、村の人々ははつきり理由は知らないながらも、何かしら切迫した事情が小夏の一身を取卷いて、渦卷いてゐる事が察せられる。彼女も亦、昨日お利枝婆さんのやうに、痛ましい犧牲者となるのではなからうか。

老役人を先頭に立てゝ、人々は又しても昨日と同じ螺線狀の階段を登つて行つた。皆一様に口を噤んで、時々恐ろしげな溜息をはつと洩らすばかりである。突然、浪子が

「アレー」

と言つて立止る。

見れば埃つぽい階段の上に、くつきりと白く、小さい靴の跡がついてゐるのではないか。

「小夏ちやんのだ!」

人々は息を吞む。

然り!

この古塔に登る者に、こんな小さい小供の靴跡が、小夏以外にあらうとは思はれぬ。

「ぢや、やつぱりこの塔の上にゐるんですね」

「さうだ!やつぱりあの、誰も知らない小部屋の中にゐるに違ひない」

うねうねと蛇のやうに曲りくねつた螺線狀の階段を登つてゆくとやがて、其處に一寸した廣い廊下があつた。仰げば昨日お利枝婆さんの殺された塔の頂上が見えた。

それを見ると人々は、今にも其處から血汐でも垂れて來さうな無氣味さを感じるのであつた。

「此處です。此處です」

ふいに先頭に立つてゐた老役人はさう言つて立止つた。見ればそれは一見壁としか見えない扉で、餘程注意しなければ、其處に扉などがあらうとは思はれぬ。

人々は息をつめて中の樣子を覗いた。

中からはことりとも音がしない。浪子は暫く聞耳を立てゝゐたが、やがて決心を決めると、つかつかと歩みよつてそつと、その扉に手をかけた。

扉は難なく、スーツと開く。

薄暗い、ごみごみとした部屋の中、其處に蒼白い顔が、まるで幽靈のやうに浮いた。その顔を見た途端、浪子は

「あつ!」

と叫んで扉を握つてゐた手を離した。

意外!其處に浮いた白い顔は……

通俗病理 皮膚病の話

皮膚病を掻くのは一番惡い 小兒には指サックをかけよ

皮膚病は大抵痒い、稀には痒くないものもあるが多くは痒いからツイ掻きたくなる、大人でもさうであるから子供は無論掻く、特に幼兒は無意識にそれを掻くから注意しないと病氣を身體中に蔓らせて仕舞ふ。痒いから掻くと其の部分が刺戟されるために一層痒くなり終ひには搔つて取りたい程痒くなるものである、さうして掻いた爲に腫れ上つたり血が出たりして、それが爪に附着し、他を掻くと直ぐ傳染して行く、誠に始末が惡いしかし子供はそんな事を云つたとて痒いのを我慢しては居ない委細構はず掻くからさういふ場合には親が注意して手袋の樣なものか指サックの樣なものを穿めさせて爪で直接搔かぬ樣にしてやらなくてはいけない。

皮膚病にも色々……

皮膚病と云つても種類は多い、中には命を奪ふ怖るべきものもあるが大體膿を持つ性質のものと膿を持たぬものと二樣である。膿む方には濕疹、膿疱疹、膿痂疹などがあり、膿まぬ方には白癬菌によつて起る色々なものがある。膿む方は俗にくさ、とびひなどゝ云はれる種類で膿まぬ方はたむし、はたけ、しらくも、ぜにがさ、なまづなどゝ呼ばれてゐる類である。まだ其他にも皮膚科に屬する病氣は澤山あつて一々述べたら長くなるから略すが、何と云つても一番困るのは膿を持つ種類である、この種類のものは大抵最初にポツリと赤く粒の樣なものが生じて痒いものである。虫にでも螫された位に思つて掻くとズンズン擴がつて水を持ち掻き破るとその汁の付いた所へドシドシ蔓つて行く、胎毒などゝ云はれて無心の幼兒が頭や顔一面に膿疱を出してゐるのは皆この種の病氣なのである。

物凄い皮膚結核……

皮膚病の本は皆黴菌で色々の種類があるからどれも同じものと思ふ譯には行かない。中には結核菌が皮膚面の目に見えない樣な小さな傷から潜入して怖るべき皮膚結核を起すことがある、狼瘡といふ病氣はこれで狼瘡結節といふ小點から漸次に潰れ出して段々と變化して深部を破壞し鼻も口も潰れ裂けて狼に食はれた樣になつて死んで仕舞ふといふ物凄いものである、又或る種のものは寄生虫が皮膚の下にトンネルを作つて四方八方に擴がつて行くひぜんと稱するものはこれで容易に治らない。表面から藥を塗布した位ではトンネルの中の虫は死なゝい、地下鐵道へ飛行機から小爆彈を落した位で大した威力を揮ふ譯に行かないのである、ひぜん三年しつ三年、治つて三年また三年といふ位で厄介なものといふの外はない。

罹つた時の手當……

なぜ皮膚病にかゝるか、皮膚に疵があるからである、或は皮膚が荒れてゐるからである、或は體質の異常から皮膚の抵抗力が弱くなつてゐるからである、或は胃や腸の機能が完全でないからである。決してだしぬけに皮膚病は起らない必ず原因があるものである健康な人で皮膚がよく手入れされてゐれば容易に外部から病菌などが侵入し得るものではない、皮膚はそれ程に强い力を有してゐるものなのであるから皮膚病に罹らぬ心得はいつも皮膚を丈夫にして置くといふことである。

しかし不幸にして皮膚病に罹つたら輕い中に注意して仕舞ふ樣に手當しなくてはならぬ、素人が强烈な殺菌藥などを無暗に用ふることは禁物である、却つて病氣を增惡させることがある、深達力のある、殺菌力のある、さうして皮膚を荒さずに保護する性質の藥を用ゐて蔓延を防ぎ同時に皮膚を丈夫にするのがよい方法である、家庭の常備藥としては『ヨーチ水』などが安全で有効である、この藥を綿に含ませて濕布の樣に患部を包んで置くと大抵の皮膚病は輕くて濟んで仕舞ふばかりでなく肌が美しくなるといふ特色がある。鬼に鐵棒である經濟的でもある。これから暑くなると子供や婦人は虫にさゝれたりアセモに苦しめられたりして皮膚藥を使ふことが多くなる、さういふ場合にこの『ヨーチ水』は理想的である。

家庭とコドモ

尊き母性愛 (下)
『母の日』の教訓

高崎能樹

母親の慈愛は餘りに絶大で、どんなに讃美しても物足りない事は無論であります。けれども今度は位置を代へて讃美を受くる母親自身の立場になつて見ませう。眞に

愛に生きる には果して現在のまゝでよいでありませうか。子供を尊く生かす爲めに充分の準備がありませうか、むしろ母親は正しく理解されるよりも餘りに歎はれ過ぎてはゐないでせうか。可なり反省の餘地があるやうに思はれます。スミス夫人はその著「幼兒の教育」の中に「多くの母は正しき天性を授けられてゐるが、悲しむべき事には正しき見識を缺いてゐる、ありていに言へば今日地上に於ける有ゆる

專門家中で 母といふ素人くらゐ自分の事業に對して素養の乏しいものはない」と申して居りますが、必ずしも過言ではありますまい、實際私共は既に數人の子供を生みても尚母としての資格なき人を見ることが多いのであります。母は子供に取つて肉體の母たる丈けでなく、精神の母となることが最も大切な任務であります。母親の心を刺す悲みは、その子供が病の爲めに永久に眼を閉づることよりも、罪の子となつて永久に母のハートから離れ去ることであります。されば母親はまづ自らの戀を襲ひ、盲目的な愛に溺れず、飽くまでも美しき模範を示して、人格的に感化することが大切なことであります。私の尊敬してゐる

「天の夫人」 は、若きお產の後に「奥様！男のお様子が立派にお生れになりました」といふ產婆の言葉を聞き「神様よ、あなたは只今この賤しきしもめを、尊き靈魂の宿された幼き者の母として下さいました。思へばあまりに尊い務めでもあり、又重荷でもあります。どうぞ私を聖めてお用ひ下さいませ。あまりに賤しく、罪深き爲めに尊き靈性を傷つくることの御座いませんやうに！神様よ！私は嬉しう御座います。けれども又心配でも御座います。何故かなれば私は餘りに罪深う御座いますから。願はくは罪人なるしもめを憐み給へ！」と繰返し／＼祈られたと云ふ事でありますが、心ある母親は子供に對する時、まづ自らの

無力と罪深 きことを悟るでありませう。實際母の務めは祈りなしには出來ません。神の前に、又子供の前にまづ自らの聖められん事を願ひ全く自我を殺し、神よりの賜物を以て心に満たすことを努めねば眞の教育は出來ないのであります。實に神の御前に自分の一切を投出して仕舞ふことが第一條件であります。それから修養に努め、良書を愛讀して、母性に授けられた愛情を神聖にし、その態度を聡明にすることが必要であります、即ち母親は子供を教育すると共に、絶えず自己を教育せねばならぬのであります……世界で有名な文豪や偉人や科學者たちは、その幼少の頃斯うした母に指導を受けて、その大成の基礎を造つてゐるのであります。男と結婚して、良書と離婚する婦人は母たる資格を失ふ者と云はねばなりません。

トツトノ　オバチヤン　コンチワ、イヽオベベ、キテ　ドコヘ　イツテキタノ？　オヤオヤ　ハイカラナクツダコト、トツトノ　オバチヤン　ハイカラダ　ネ、

大チヤンノ　モウジウガリ (108)

ハルミチ作　ジラウ畫

ドジンドモハ　ワイワイ　サワグバカリデス　大チヤント　ヲヂサンハ　ソノマニ　テツポウヲ　カマヘ　ウワバミノ　アタマヲ　ネラツテ「ドドーン」ト　一セイシヤゲキヲ　シマシタ

大アタマヲ　ウチヌカレタ　ウワバミハ　タカイ　キノウヘ　カラ　オソロシイ　モノオトト　イツシヨニ　シタニ　オチテ　マモナク　シンデ　シマヒマシタ

此の頃される　鯖の料理法

鯖は食膳を賑はしてゐた鰹もボツ／＼終りに近づきこれからはいよ／＼鯖の盛漁期に入る、味も一年中で最もよい時である。元來鯖は値段の安い魚であるだけに何となく立派な御馳走にならぬやうな氣がするが決してさうでない、鯖くべき滋養分を持つてゐる、日本人が此上ない御馳走と思つてゐる鰹や鮪などよりどれ位身體のためになるかわからない、鯖の料理法を二三擧げて見やう、先づ何と言つても一等うまいのは鹽燒である

◆鯖の鹽燒　先づ新らしい鯖を買ひ頭を切り、腹部を開いて腹を洗ひ去り、直ちに三枚におろして鹽でくるんで置く、かくて一時間ばかり經つて水で洗ひ、よく起つた火の上に鐵架を渡し其の上にのせて皮目の方から燒くのである、おろし生姜を添へて食べる

◆鯖の付燒　前と同じやうに三枚におろし腹骨を去つて二十分間ほど醬油に漬け程よく燒いて之に生醬油を注ぎおろし大根を添へて食べる

◆鯖のたまり燒　鯖の切身を味噌に醬油と味淋と味の素を入れてどろ／＼に溶いたものゝ中に一晝夜漬けて置く、燒く時は味噌を十分かき落して洗はずにそのまゝ串又は燒網で燒く、ほどよく燒けた頃皿に取り微塵生姜をふりかけて食べる、微塵生姜といふのは根生姜の皮を剝いて細かく微塵に刻み酢に浸したものを布に包んで絞つたものである

◆鯖の葱ぬたあへ　三枚におろし腹皮を去り小骨を拔いて小さく切り、すぐに酢の中に浸し一二分經つてから之を目笊に上げる、一方別に味噌に少量の砂糖を加へ、之をざつと擂り、味加減を試みた上裏漉にかけ更に別に葱の白い部分を茹で、之を堅に裂いて酢で洗ひすぐに酢を切つて一寸五分位の長さに切り、この三品を程よく混ぜ合せ、小皿に盛り分けて供す、味噌生姜をかけても妙である

茶はこうして　風味よくのむ

一口に 茶と言つても、玉露のやうに飲んだあとで何とも言へない風味を殘すものもあれば、又お茶の仲間入りをしたといふに過ぎない番茶の類もある、しかし出し方入れ方によつては優良品も味が落ち、番茶も馬鹿に出來ない味の出るものである、一體茶の中で一番優れたのが玉露、その次が煎茶、下つて番茶といふ順序である、此の外點茶に用ひる薄茶濃茶もあれば、紅茶もある。玉露にする茶は二三百年も年數を經た樹から採るのであるが

茶の樹 が古ければ古いほど佳いものが採れる、採取する前には豫じめ其の新芽に日覆をするこうして置くと柔かい色のよい葉が出來るのである、玉露のやうな上等の茶は番茶並に沸騰した湯を入れたら臺なしである、一度沸騰した湯を半分以上冷してから使はなければならぬ、煎茶は玉露と番茶の間で、一度沸騰した湯がちよつと冷め加減の時入れるとよい味が出る、煎茶は澁味と匂ひの高いのを賞美する、亦

番茶は 茶としては一番劣つたものであるから風味はないがよく火で焙じてから出すと香ばしい味が出る、湯はよく沸騰してから用ひるのである

カメラ遍歷　大連郵便局の巻　―その二―

日々取扱つてゐる數多くの郵便物の中には隨分奇拔なものや滑稽な間違ひをしたものが少くない、他縣へ送る手紙に「何々郡何々村」など〻郡名を落したもの、姓名だけしか書いてないもの、さうかと思ふと裏面は完全に記載してあるのにかゝはらず宛名のところがブランクになつてゐるもの、これぢや如何に郵便局でも配達のしやうがない、それから支那の切手を貼つたのなどは土地柄有りさうにも思はれるが、收入印紙を麗々しく貼つたりする者があると思ふと實に情なくなる、更に奇拔なのは通常葉書を二枚糊でくつゝけて往復葉書としたものなどがある、それから無暗に端書など通信文を記載したもの、葉書の表面に通信文を書いたもの、風俗壞亂の猥褻な繪を封入したものなど忙しい掛員を手古摺らせること夥だしい

◆　◆

此のやうにして條數のテストを經た郵便物は一々縣別地方別に分類され、各區の分は一まとめにしてズックの袋に納め堅く封をして夫々汽車汽船或は飛行機に託送されるのである

◆　◆

斯のやうに郵便物を繰り出すと同時に他局からの郵便物は船毎汽車毎、飛行機の着くごとにめまぐるしく到着する、之らの郵便物は配達通信夫の配達するもの局内に於て交付するもの私書函に配布すべきもの留置のもの

無集配局所に送るもの等に大別し、市內配達の分は四十四人(市外は一人)の配達人が夫々自分の分擔區域の分を道順に揃へ嬉しい便り悲しい便りを大きなカバンに詰め込んで所定の時間に威勢よく配達に出かける、しかし持つて出た郵便物の幾分は次のやうな事故のために持ち返らねばならない

番地記入のないもの
同居者の肩書のないもの
門標の出てゐないもの
門標が增減して不分明のもの
全然町名が相違したもの
轉居先不明のもの
勝手な番地記入のもの

◆　◆

ずつと以前に於ては支那方面との通信は極めて不便であつたが現在では北平、天津、青島、上海及それより以南は毎日奉天を經京奉並に津浦線によつて發着してゐる青島、上海へは大連汽船の大連丸西京丸、長城丸等の出帆を利用することになつてゐる、又芝罘へは隔日に便船で發着、ハルビンへは毎日二回發着してゐる

◆　◆

歐洲方面への通常郵便物は方向全く相反する二つの線がある、一つは神戶又は橫濱を經、更にシヤトル或はサンフランシスコを經由して大西洋を橫斷するもの、今一つはシベリア鐵道に依りモスクワを經由するものであるが此の線路を希望する場合は VIA SIBERIA と朱書しなければならない、この線によれば米國經由に比し約半分の日數で到達する、シベリア經由の郵便物は火曜日午前八時發及土曜日午前十一時發列車に間に合ひさへすればハルビンで歐洲行直行列車に直ちに連絡することが出來る、又シベリア經由は郵便物の到着は火曜日と土曜日の午後六時である―此の項未完―【寫眞說明＝便船を待つ外國行郵便物の山】

滿日案內

薩長内閣と政黨内閣
日本主義を捨てた政黨

伊藤彦造畫

維新に際し、薩長が勤王の急先鋒となつて策動し、幕府を倒して王政復古に至らしめた動機は何であるか。

薩藩は其の當地せる琉球に屢々外人が寄港したので、海外が文化の進んで居ることを知り、又長藩は馬關海峡を擁し、外船の屢々たる往來に依て海外の侮るべからざるを知り、此の二大藩に於ては對外心が旺盛になつて居たのである。他藩で見ると、詔に聞く位で實地外人にも接せず外船も見ないのだから、薩長の勤王倒幕論を以て危險思想視して居たのである。

薩長では、我國が對外的の國防なく、外敵襲來せんか一大危機である、徳川幕府の下に擧國一致で外敵に當るといふことは到底出來ない問題である、そこで第一に幕府を倒して王政に復し、皇室を中心として擧國一致で對外策を執らねばならぬとして、薩長二藩が勤王の急先鋒となつて遂に明治維新の大業を成就せしむるに至つたのである。

その間薩長は夥しい犠牲の士を出し、無量莫大なる戰費を消費したのである。故に薩長内閣が明治時代中得意の地位を占めて居つたのである。徳川幕府は十五代、三百年といふ長い間覇權を握つて居たが、薩長内閣は僅か五十年、遂に歐米摸倣の政黨内閣論の爲に勢力を失ふに至つたのである。

附言　薩長内閣の時はどうであつたか、日清戰爭あり、日露戰爭あり、其の難局に當つて過たず、輔弼の任を完うし、國威を發揚し國家の發展に盡したものである。然るに現代の政黨内閣になつて何をしてゐるかといふと、政權爭奪に夢中になつて黨爭に耽り、政權の盥廻しをする爲に不淨金をバラ撒き、其の間惡事醜行が行はれ、思想を惡化せしめ收拾すべからざる狀態に陷り、國民の士氣は將に地を拂はんとして居るのである。今や我國は對外問題、不景氣襲來、失業問題、國民の生活問題等國家多難の時である。政黨も代議士も政爭心を去つて、協力一致國家の爲に盡せ。

第二篇 教育美談 右其百〇一 左其百〇二 有田音松
英米と日本の大勢 内政を顧みよ日本國民

伊藤彦造畫

我が日本は歐米文化を採り入れて殆ど歐米化の日本となつたが、翻つて經濟上から考へて見ると、米國は天産に惠まれ賦與豐富であり、土地は廣く加ふるに勤勉であり、自給自足して有り餘るので大量生産に依て、國産品を全世界に輸出する大成金國であるから、如何に人口增加するも意とせず、將來の發展は隆々たるものである。

又英國にしても、機械工業で行詰りに瀕して居るといふことは、スペングラーが「沈み行く黄昏の國」と題して西歐文明の沒落の原理を評いて居るが、英國はまだ印度やアフリカ其他に尨大なる版圖があるから、愈々行詰つたら局面打開の途もあるであらう。

退いて我が日本を考へて見ると、都市の有様は殆ど歐米化したが、經濟上はどうか、人口は激增し土地は狹く天産乏しく自給自足の出來ない狀態に陷りつゝあるのである。然るに我が國民は英米のやうな裕福な國民の浮華放縱なる贅澤振を眞似て狂態見るに忍びざる狀態で、政治家も學者も歐米模倣狂に陷り新人がつて國の亡びるのも顧みないといふ慨はしい現狀である。國に日本固有の良風美俗は今や地を掃ひ、亡國への道程を辿りつゝあるのである。

附言　米國や英國は、國が富んでおり國土は廣いので如何なる贅澤でも出來るであらうが、日本といふ國は英米と異つて地域は狹く、人口は日々激增するので今や食糧問題に惱まされ、行詰りの斷崖に立たんとして居るのである。此の問題を如何に處理せんとするかゞ焦眉の問題である。然るに政黨は此の難局を顧みず、政權爭奪に狂奔し其の醜態見るに忍びず、國民は歐米の浮華放縱を摸倣し奢侈華美に流れ、國家の經濟狀態をも顧みざる淺猿しき狀態である。嗚呼、繁榮の裡に衰亡の兆ありで、今にして目醒めざるに於ては國家は衰退で、滅亡である。軍備も何の用をもなさず、戰はずして滅する外はないのである。國民よ覺醒せよ、奮起せよ、此の難局に。

亡國の兆？ 悲しむべき社會相

愛知醫科大學でレントゲン診察を受け腹膜炎に肺尖加答兒と決定
最後の療法有田藥で全快

皮膚病に罹り二ケ月ばかり隨分苦しみ漸く治つたが、その後どうも食事が進まず何となく氣分が惡く次第に腹が張り時々痛みさへ感じる樣になりましたので、近くの醫師に診斷を受けましたら腹膜炎との事故私を始め家族一同非常に驚き、萬一にも誤診であつて呉れゝばとの望みを以つて愛知醫大に行きレントゲンで診て貰ひましたら腹膜炎は勿論の事、肺尖加答兒さへ併發してゐるとの事に二度ビックリ致しましたが仕方がありませんから一生懸命に醫者の治療を受けてゐましたが、一向快方に向ひませんので心配は重なり體は段々瘦せる許りでしたので困つて居ました折柄或朝の事、新聞を見て居りますと有田ドラッグ藥で私と同病の方が譯なく全治したといふ全快談が出てゐましたのを見て、此の藥ならば確かに治るに違ひないと自信を持つた時には飛び立つ程の嬉しさでした。さうなると、もうジッとしてゐる事が出來なく直ぐ樣名古屋市榮町七丁目有田ドラッグ專賣所へ行つて主任樣に今日迄の經過を詳しく御相談申しましたら大變御同情して下さいまして、本病に對する攝生法を精神的にも肉體的にも色々と懇切に御聞かせ下さいました。さうして有田音松樣鑑製の有田特製治肺劑と血液素とを買求めて歸宅後直ぐと服用しましたら二三日目から早や何となく氣持がよく、服藥前は毎日午後二時頃になると三十八度位の發熱があり、少し歩行すれば逆上し息切がして呼吸が困難となり腹が張つて苦しく腹痛を感じましたが、此の樣な症狀が次第に消滅して四十日間服藥しましたら日を追うて良くなり、もう治つたやうな感が致しましたので某醫院の博士の診斷を受けましたら侵された跡はありくと判つてゐるが業務上差支へなきものと認める、後が大切であるから暫く注意せよと申されたので私は勿論者の喜びは非常なものでした、今日では無事に働いて居ります。實際考へて見るに攝生法を守り及び腹部をよく溫め、この病氣を治すには何より先づ精神を落付け、つまらぬ事を絶對に考へないで前より少しでも良くなつたらばその事を感謝しつゝ適度の運動をし精神を輕快にし其他安靜を保ちつゝ確つかりこれらの事項を守つて治して行くといふことが如何に必要であるかを感じました。どうか世の中の同病者の方は一刻も早くこの有難い有田音松樣鑑製藥を服用して全快されん事を切に希望致します。

名古屋市東區杉村町柳原二九七九番地
全快者 太田繁夫
親權者 太田新之助

太田繁夫樣

赤十字病院で肋膜炎と診斷 更に肺尖カタルも併發
有田藥で全快するまでの體驗記

風邪に冒され頭が重く僅かの事をしても體がだるく次第に重くなりますので、一ケ月程經つて水戸市日本赤十字支部病院にて診察を受けました處ろくまくが惡いと診斷せられ、約三週間程加療致しましたけれども良くなりませんので更に他の内科專門醫の診察を受け肺尖加答兒を起してゐると診斷せられ、約一ケ月間通ひましたけれども熱も下らず體はますく衰弱するばかりで此分にては到底全治の見込はなきものと悲觀して居りました。處が父の友人の娘さんが有田ドラッグの藥で肺尖加答兒が全快し其の後三ケ年になるも再發せず健康に愉快に暮して居られ、この病氣なら是非有田ドラッグの藥を服んで御覽なさいと勸められたので、父が早速水戸市銀杏坂有田ドラッグ專賣所に行き病氣の容態を詳しく申上ました處、主任樣よりこの病氣に對する治療方法として空氣、日光、安靜、慰安、服藥等現在の容態に對する詳細なる御注意を受け療養の宜しきを得れば必ず全治する故絶對安心して服藥する樣敎へられ、有田音松樣鑑製の治肺劑と有田血液素とを一週間分買求め生光と云ふ養生法の詳しく書いた本をいたゞき父が歸宅後此の話を聞かせてくれましたので自分のこの難病も全快するものと決心し、敎へられた通り毎日午前九時午後三時の二回體溫を記入し安靜に自宅に於て服藥致しました處、三日目には咳も止まり體溫も以前は三十七度六分以上でありましたのが三十六度台の平熱に下り痰も減じ頭の痛みも去り食事も日毎に進む樣になりましたので大いに力を得、一週間毎に體溫表を父が持つて行つてその後の經過を述べ、その都度種々御指導を受け續き五週間服用致し身體も非常に恢復致しましたので、以前からの痔疾も此の際にと思つて醫師の手術を受けその間引續き有田藥を服用し都合十一週間の服用にて肺尖の方も痔疾の方も全快致しその後農業の手傳ひをしても更に異狀がありません。念の爲と醫師の診察を受けました處、身體各部共何等異狀なく至極健康との診斷書を得ましたので實に血肉湧き躍る思ひが致しました。全く有田音松樣鑑製劑の效果と主任樣の御指導の宜しきとに依る賜と深く感謝致し家内一同は喜んで居ります。この病氣で難儀せらるゝ方は有田ドラッグ專賣所に就き御相談せられる事をお勸め致します。

茨城縣東茨城郡稻荷村大字大串五十四番地
全快者 前野武男

前野武男樣

醫者並に病院と 商會の藥

商會が是れまで取扱つた全快者中には、病院に入院又は醫者にかゝり服藥中、商會の藥を服んで全快した人も澤山あり、又病院や醫者をやめて商會の藥のみにて全快した人もあるのであるが、いづれかといふと、病院や醫者にかゝりつゝ商會の藥を服用せられた方が安全である。それは、素人目では病狀が良いやうに見えても、病症の惡化しつゝあることもあるから、醫者や病院の診療を受けつゝ商會の藥を服用せられることが、最も安全なる全快への近道である。

有田ドラッグ商會主 有田音松

鍋島侯累代の居城

龜甲城 又榮城 とも稱す

肥前佐賀城

天文年間龍造寺家兼築城。天正十八年鍋島直茂の領となり、慶長十三年直茂規模を擴大し鍋島家累代の居城となる。

佐賀城は當時名城として稱へられ天主閣は本丸の西にあつたが火災に遭ひ、幕府の築城制限に依り其の再築を見なかつたものである。明治七年江藤新平等の亂あり、兵火に罹つて烏有に歸した。

かつけからろくまく炎 有田藥で全快

和洋料理の見習研究の爲め東京へ出た年の夏の初め頃から脚氣を惹起し非常に難儀致しましたが、それからは毎年發病しますので心にも留めず捨てゝ置きました。丁度六月初めの暑さも加はり初めた頃から又々脚氣が起り難儀してゐたところ、例年とはどうも身體の樣子が變つてだるく胸が痛むので醫師に診察を受けた處、乾性肋膜炎と申され一方ならぬ驚きでありました。醫師の申されるには、これまで徹底的に脚氣の治療をしなかつた爲め身體が衰弱して起つたのであると申されましたので、二ケ月ばかり醫師の加療を受けましたが、何等効果を認められず一層心細く家内の者共も心配一方ならぬ有樣で、今度は肋膜專門醫の診斷を受け加療を受ける事四ケ月更に全快に向ふ樣子は見えず失望の極に達して居りました、折柄天の惠みとでも申しませうか、有田ドラッグ商會の新聞廣告がふと目につき私と同じ樣な病人が皆立派に全快して感謝文を發表して居られるので、この藥なら私は救はれる事が出來るだらうと早速飯田傳馬町一丁目有田ドラッグ專賣所へ參り主任の方に相談致しました處親切に養生法や藥劑服用方法を敎へて下されたので、直樣有田音松樣鑑製の治肺劑と有田血液素とを買求め服用しました處其效果は偉大なもので一週間服用で身體の具合が大變よく、更に四週間服用しました處全快の氣分になり再び專門醫の診斷を受けましたら全快と申され、自分ばかりでなく家内中の喜び一方ならず此樣な良劑があるのを知らず醫藥萬能の考へを持つてゐたことを今更の樣に後悔致しましたが、然し却つて有田音松樣鑑製藥劑の貴いことが一層徹底的に判りました。

下平民夫樣

長野縣下伊那郡龍丘村字時又二九三
全快者 下平民夫

產後から難病に 同病者に有田藥を勸む

產後の日立からろくまく炎になり乳呑子もありますので家族の者にも非常に心配をかけて居ましたがおかげで二ケ月程でよくなりましたので暫く靜養のために自分の里方へ遊びに行くことにしました。何分田舍で交通不便の爲め四里程の道を徒歩で行つたものですから翌日非常な發熱をして身體に疲勞を覺えるので、お醫者さんにかゝり專ら醫藥を服用養生してゐましたが病は重るばかりで一ケ月した頃腹膜炎になり、腹は大きく膨れ今度は肺まで惡くなつて來たとのことで兩親はもとより自分ながら生きた氣持せず涙ながらに死を覺悟して悲しい日を待つて居る有樣でした。毎日退屈なので新聞を見るのが常でした。目についたのが有田ドラッグの廣告で、同病の方が多く全快されてゐるので急に有田ドラッグ藥を服用してみたくなり、幸ひ主人も見舞に來て呉れましたので醫師と相談の上試藥してみる事になりました。大阪心齋橋の發賣元へ照會致しましたところ懇切に通信指導を受け有田音松樣鑑製の特製治肺劑と血液素をお送りして戴きましたので、其通り養生法を守り服藥し始めましたら意外にも藥效現はれ服藥の日より食事も進み非常に經過良好なので其後引續き四週間を連服しその頃丹後の宮津驛前にも有田ドラッグのある事を知り要心の爲めに更に宮津で血液素のみを三週間分買求め連服して全く達者な身體になる事が出來ました。かゝる難病がくれ有田藥で全快したかと思へば明けて居ります。その後は再發もせず丈夫で働いて居ります。附近に同病者があると必ず有田藥をお勸め致して居りますので服藥して全快せられた方も澤山あります。

京都府竹野郡網野町御後通り
全快者 松村きぬ

松村きぬ樣

全快者の續出
新聞發表の全快者は五十人に一人位

新聞紙上に發表する全快者は五十人に一人位の割合で然もこれ等の人は自己の苦しんだ體驗から全快の歡喜を得たので、世の同病に惱む人々を一人でも多く全快の幸福に導かんとて、自發的に寫眞と實歷談の發表を申込まれたものである。新聞に發表以外にも夥しい全快者がある譯で、一般病者が商會の藥を服用して全快したからとて御本人の承諾が無い限り決して無斷で新聞紙上に發表するものでないから、安心して服藥せられ一日も早く全快せられたいものである。それに商會では藥を買ふ、買はぬにかゝはらず各地の專賣所で肺病ろくまく患者の養生法を懇切にお敎へしてゐるから最寄專賣所について相談せられるがよい。

神佛信仰 難病がケロリと全快

二月頃より何となく身體の具合が惡いのでお醫者さんに診ていただきました處、肋膜炎と申され不治の病と悲觀して此の上は神佛の加護に縋る他ないものと稻荷樣を信仰し始めました處稻荷樣の申されるに有田ドラッグの藥がよいからとの事でした。早速甘木八日町有田ドラッグ專賣所へ訪れいろく病氣の話を致し主任樣から養生法を親切に敎へられ有田音松樣鑑製の治肺劑と有田血液素を買求め二三日服用致しましたに、食事も大變進み氣持もよくなり六週間連服致しましたら以前より身體も壯健になりました。念の爲めと先生に診ていたゞきましたところ全快といはれました故私の喜びはもとより家内一同大喜びしてゐます。

福岡縣朝倉郡三輪村大字栗田
全快者 池田まさの

池田まさの樣

百瓦服めば四百瓦の血が出來る
有田血液素

一名オーゾール 定價四圓

身體の衰弱者、虛弱者が普通滋養物として第一に攝取するものは牛鳥肉、魚類、玉子、ソップ等である。是等の品は無論滋養物には違ひないが何れも胃腸の消化作用によらざれば滋養とはならないのである、所で衰弱者や虛弱者の胃腸は消化作用が弱くなつてゐるから是等の滋養物を攝取すれば、反對に胃腸を害する結果となるのである。故に大學病院に於ても、入院患者に對して流動性の滋養物を攝取せしめ、若くは食後消化藥を服用せしむるのである。併しこれとても滋養療法としては、まだ完全とはいひ難いので當商會は之を憂へ有田血液素を創製したのである。本品の特色は如何なる胃腸の惡い人でも、胃腸の消化作用を受けずに服めば直に胃中に於て溶解してそれが血となり全身の滋養となるのである。

有田血液素を服めば、左の如き著しき效力を顯はすのである。

（一）顏面蒼白の人は直に顏色等に血色を顯はす事
（二）體重增加する事
（三）血液增加するを以て氣力を增す事
（四）冷性の人は身體に溫味を增す事
（五）その他病後產後の一般衰弱者、虛弱者、天性の弱者、運動不足、腦病、腦膜、心臟病等の貧血者には缺く可からざる補血滋養の血液素である

何は本品有田血液素は補血劑として有效なる主成分 Heamoglobin を如何に多量に含んでゐるかに就ては內務省衛生試驗所分析表に依りて知らるべし。

報告

大阪市南區末吉橋通三丁目五番地 依賴者 有田音松
第壹四九號 一 オーゾール 壹種 （ヘモグロビンノ定量）
右ノ名稱ヲ附シ當所ニ提出シタル品ハ暗赤色ノ乾燥セル粉末ナリ之ガ分析ヲ遂グルニ本品百分中ニ檢出セル（ヘモグロビン）ノ含量左ノ如シ
（ヘモグロビン）（酸化ヘモグロビントシテ）八五・五
大正二年四月二十九日
內務省大阪衛生試驗所 所長衛生試驗所技師 平山松治
主任衛生試驗所技師 森茂

偽ニセ物を賣るものがありますから有田音松鑑製の文字に御注意下さい。

肺病ろくまく全快者續出

天下の大問題となつた良藥

有田ドラッグ商會主 有田音松

肺病は死病なりとして、醫學界で持て餘して居つた、其の難病が商會の良藥で、續々全快者が出來るので、商會ではそれを天下の新聞に發表したのである。サア醫界は勿論社會一般の注視の的となり、其の結果東京の大新聞の問題となつたり全國の一萬からの香具師が、人寄せの材料に惡用するに至り、官廳でも捨て置くことの出來ない立場となり、新聞に發表した全快者を全國の警察に囑託して嚴密なる（一年半の日子を費し）調査をせられた結果、僞りでなく眞實の全快者であつたので、公明正大となつた譯である。商會では誰に憚ることもなく、否な立派なる全快者と藥の有效なことが立證せられた次第である。「之れをしも信ぜざれば天下に信を置くものなし」迷ふ事なく商會の良藥に賴つて一日も速く全快せられんことを祈る。

肺病ろくまく請合藥

品名	八日分	十六日分
別製治肺劑	十五圓	二十八圓
特製治肺劑	十圓	十九圓
有田コール	八圓	十五圓

本劑の服用に依り咳を鎭め、食慾を進め熱を去り盜汗を防ぎ、腦を靜めて安眠せしめ、目に見えて輕快に向はしむ。殊に別製治肺劑は今回新に最有効の高貴藥を配劑し一日も全快を早める樣苦心したる良劑にして、その効偉大なり。尚何れも醫藥との併用差支なし、故に醫藥と共に本劑を服用する時は全快速やかなり

警告

紛はしき 一二セ藥 を賣る者あり

御買取の際左の如く藥袋並に藥瓶に

本舗 大阪内本町二
發賣元 大阪心齋橋南詰 東京日本橋通二
『有田ドラッグ』
『有田音松鑑製』

この文字あるものを必ず御買取あれ

有田ドラッグ商會主 有田音松

東洋一のチエーンストアー

有田ドラッグ西部專賣所所在地

關西發賣元 大阪心齋橋南詰
關東發賣元 東京日本橋通三

左記所在地の專賣所にて必ずお買取あれ

◉滿州
大連但馬町角 旅順敦賀町 鞍山赤城町 遼陽東洋街 安東縣市場通 奉天紅梅町 撫順東六條 鐵嶺敷島町 開原新市街 四平街 營口永世街 哈爾賓傳家甸

◉朝鮮
京城本局前 京城黃金町 京城練兵町 釜山辨天町 仁川宮町二 大田榮町一 群山東榮町 浦項本町 全州高砂町 木浦榮町 麗水港町 大邱弓町 金泉錦町 馬山京町三 光州本町 兼二浦本町 鎭南浦碑石里 平壤局前 新義州常盤町 元山本町三 咸興本町二 羅南生駒町

滿鮮發賣元 京城郵便本局前
台灣發賣元 台北本町二丁目

砂塵吹き揚る中に陸上競技を御覽

十四日午後滿洲醫大において

御滯奉中の秩父宮殿下

【奉天特電十四日發】十四日朝文官屯の御見學を終らせられ御歸奉遊ばされた殿下には御疲れを御厭ひもなくホテルで御晝食の上直ちに醫大における御親閲および全滿インターカレッヂ

競技會に 御臨場遊ばされた、この日朝來風吹き砂塵濛々と吹き揚げてゐたが拜觀の光榮に浴せんものと、正午すぎより小學校その他團體の人々つめかけ殿下の御來場を御待ち申し上げた、殿下には午後二時十分御臨場奥山醫大主事の御先導で右入口より御入場役員、教專、工專、醫大、小學生の各選手に御會釋を賜はり中央設けの席に御就きになれば十川滿市氏は醫大音樂隊の吹奏する君ケ代と共に御座前のポールに日章旗を揭げいよく競技を開始した、殿下には

突風を物 とも遊ばされず戰帽の顎紐をかけられ奥山主事の御說明で競技を御覽になり三時四十分御機嫌麗しく全員奉送の裡にホテルに御歸還遊ばされた

台覽競技の成績

台覽競技の成績は左の如くである

▲棒高跳　一等久恒木曠（工專）三米六三A、二等西田良智（工專）三米四〇、三等宮田誠作（教專）三米三〇最初の高さ二米七〇で開始したが醫大二名は二米九〇で落ち久恒好調をつゞけて勝つ

▲千五百米競走　一着成毛侃治（醫大）四分四二秒八、二着江刺家敏夫（醫大）三着森崎一郎（教專）總始トップを切り六十米の差で勝つたがタイムとしては見る可きものではない

▲槍投　一等川野達也（教專）四九米八（二）二等伊藤英策（醫大）四六米三一三、三等晴山昌邦（醫大）四二米一〇川野ラストに五十米ラインを越したがファウルす

▲小學生四百米リレー　一着彌生チーム（橋野享、山川繁、山崎照男、星野邦彥）二着春日チーム、三着教專附屬チーム、四着敷島チーム、五着加茂チーム、彌生第二走者頑張つて敷島を拔き星野力走して各チームを引き放つて斷然勝つ

▲一千米メドレーリレー　一着醫大チーム、二着教專チーム、三着工專チーム百、二百、三百まで教專トップを切り醫大約四十米を離されてゐたが醫大の今井力走ストレートに入るころ前二者に迫りゴール三十米附近で教專を拔き約二米の差で勝つ

「運動競技によつて日支提携してゆきたい」

秩父宮、張學良氏に對しお言葉

奉天に於る御招待宴

【奉天特電十五日發】十四日午後六時四十五分からヤマトホテルにおいて催された林總領事の御招待宴に先だち、秩父宮殿下には午後六時十五分ヤマトホテルに御訪問せる張學良氏と親く御面會あり握手をお交はしあり森岡領事と陶尙明氏の通譯にて

學良氏 少し健康を害してゐますが無理をして是非御機嫌平伺のためと考へて參りました、宴會にも出席し晩餐を御共にいたしたいのですがどうぞ御諒察願ひます

との挨拶に對して殿下はお心からこれをお悅びあり病氣中態々訪問して下さつて感謝する、聞けば貴下は運動方面に餘程興味を以て勸めて居られるといふ事であるが、運動競技で何處迄も日支提携して行きたい

との極めて親みのあるしかも意義あるお言葉を賜り、また「學良氏は日本內地に行つたとの事であるが何處に行かれたか」との御下問もあつた

御會談 五分間で終へさせられ更に固い握手を交はさせられ同六時四十分、學良氏はヤマトホテルを辭した、態々總領事の御招宴に移り殿下は日支名士等と御一緒に御會食あり、最後に森島領事の「殿下の御健康を祝す」との乾杯をあげ七時五十分盛大裡に散會した、漏れ承る處によると殿下は毎日の御視察にも御疲れなく益々御機嫌麗しくヤマトホテルにおいても午後十一時まで內外の諸新聞を御閱讀あり、なほ御閱讀の際は雜誌まで御讀遊ばされるとの事である

十七日御日程

十五日撫順炭礦御見學の秩父宮殿下には十六日公主嶺に赴かせられ十七日も同地御滯在の御豫定であるが宮殿下十七日の御日程は左の如くである

▲午前八時　御假泊所御出發▲同八時二十分騎兵隊練兵場御成（御講話孫田中佐）▲御假泊所御歸還の時間は未定

御道筋 一、御假泊所司令官々邸より陸軍道路武士道鐵道町一、二丁目を經泰平通より驛前に出て堀町五、六丁目を一直線に東方に向ひ遠方踏切を越え騎兵隊練兵場を遮斷一直線に騎兵隊へ

二、騎兵隊より御往路の反對に御歸還

聖上・皇后葉山へ

照宮御同伴で

【東京十五日發電】天皇、皇后兩陛下には來る十七日午後一時宮城御出門、照宮樣御同伴にて葉山御用邸に成らせられ十九日還幸啓遊ばされる旨十五日仰出された

琥珀細工と高麗燒獻上

撫順炭礦から

【撫順特電十五日發】秩父宮殿下の撫順における御動靜は夕刊所報の如くであるが御膳に供へた琥珀細工に非常に御興をもたせられ、御自分御選定遊ばされたものなど十一點を炭礦より獻上した、また露天掘より掘出した約六百年前の高麗燒も併せて獻上した

きのふ沿線へ出發の滿鐵慰安車

酒肴料下賜

撫順の關係者へ

【撫順特電十五日發】畏くも秩父宮殿下には十五日お傍近く奉伺した御說明役御先導者お召電車の運轉手車掌等の炭礦從事員に對し特に酒肴料を下賜された光榮に浴した人々はたゞ感涙に咽んでゐる

伺候

仙石總裁安東へ

星ケ浦別莊にて靜養中の仙石滿鐵總裁は一兩日前より快方に向ひつゝあるが沿線御視察中にあらせられる秩父宮殿下に伺候のため來る二十一日頃大連出發安東へ赴く筈で鍋島秘書のほか山崎文書課長も多分隨行することにならう、尙總裁は殿下伺候後奉天、撫順、鞍山を視察の豫定だといふ

賀陽大妃宮

腦貧血に罹らせらる

【東京十四日發電】賀陽宮大妃好子殿下には十四日朝天沼御別邸において輕い腦貧血に罹らせられ高木軍醫正の拜診を受けさせられたが午後は別狀あらせられず御心配申し上ぐる程ではない由午後三時宮內省より公式發表された

初味覺夏の

鯖やサワラ出盛る

「さば、さーば、さば！」海の蒼さをそのまゝ肉の中まで浸み込ました樣な水々しいすつきりした形の魚が籠に山と盛られて行商人に擔がれてゆく、今が鯖の出盛りだ、昨今乃木町の水產會魚市場へ龍口沖からあがる鯖は毎日二萬六、七千本宿く船ごとに山と積まれて來る、値段も三百目以上もある大きなのが一匹七、八錢といふ殆ど捨賣同然で今が一番安い、次に多いのはサワラで毎日六、七千本漁れ百匁十錢位だ、若葉萠ゆる麗春の候、利刀の双の樣に引き緒つた肉が市場の店頭に躍る有樣はおよそ食慾を刺戟するものだらう、近海の牛鰯は未だ少し早く、本月の二十日すぎに漁れ出す見込みだといふがドウした加減か本年は不漁だらうと悲觀の向が多い、また出盛つた蝦はゴ、一週間位が壽命で段々少くなつてゆく（寫眞は出盛るサバ）

海軍記念日の色んな催し

海軍協會支部で決定

來る二十七日の海軍記念日に海軍協會大連支部では十四日午後三時から市役所で幹事會を開き協議の結果、當日午後一時五十五分から春日池の畔にゼット旗を揭揚し同二時から煙火を利用して軍艦を打ち揚げこれに二十五日旅順から廻航した驅逐艦「桑」の機關銃隊が參加し空中模擬戰を行ひ、同二時三十分からは池中の模擬軍艦二隻に對し水雷爆破を行ひ、樂隊を編成して行進曲その他を演奏、且つ驅逐艦は種々のラッパを吹奏、同四時からは特に青年訓練所入所生を「桑」に便乘させ海士で種々の諸技演習を爲し老虎灘沖から探照燈を照す事にした、尙二十五、二十六の兩夜は協會にて「桑」乘組員を市中の各活動寫眞館に招待しその勞を犒ふ事にした、因に「桑」は二十八日午後旅順に廻航の豫定である

實業入りの中川選手

前大毎外野手

本社主催の實滿野球戰も目前に迫り滿俱實業兩選手は連日猛練習に必死となつてゐるが、かねて實業團に新入の噂あつた大物打ち、前大毎の中川金三選手が十四日二十時三十分着の急行で來連した、驛のプラットホームに喜色を浮べて出迎へた實業團安藤、岩瀨、小島其他多數の選手關係者等に包まれながら同選手は優しい聲で語る

明治大學では外野をやり湯淺投手時代に黃金時代を作り米國遠征を試みました、大連は明治時代に二回來ました、あこがれの地に來たことを喜んでゐます、實業團の一員として球界のために一心にやりたいと思ひます、私は一昨年末大毎退社後大阪の自分の家にゐましたが、關西は矢張り中等學校の野球が一番盛んです、專門程度では目下洋行中の關大でせう

氏は下關中學では投手として中國に名を馳せ明治に入つては外野手となり、大毎入社後も依然外野手として働らき大物打ちとして日本に有名な選手であるが氏は大連にては三井生命に入社の豫定である

議院騷擾取調べ

檢事局活動を開始

【東京十四日發電】東京地方裁判所檢事局では十四日午後三時より代議士志賀和多利氏に係る傷害事件につき告發者たる原、小久江兩代議士並びに重要參考人として木暮代議士を召喚取り調べを行ふ處あり更に東、庄司兩氏の公務執行妨害の告發に對しては士屋、小山柵瀨、濱野氏等を參考人として取り調を行つた

赤十字巡回

施療好成績

延人員二萬人餘

赤十字大連支部が四月十日から行つてゐた管內の巡回施療は十三日終了したがこの二十七日間に施療した實人員は三千三百八十七名延人員二萬三百六十八名の多數に達した、實人員で最も多いのは消化器病の一千百六十一名、その次ぎが皮膚病およびその附屬器病の五百五十六名、眼およびその附屬器病の五百十二名、トラホームの三百八十三名、呼吸器病の二百三十五名、全身病の百四十八名、神經系統百三十六名の順序で成績は頗る良好であつたなほ同支部大連診療所では來る二十六日から患者の入院を許す由である

土屋代議士

告發人として取調らる

【東京十五日發電】東武、庄司良朗兩代議士を公務執行妨害で告發した土屋淸三郎氏は、十五日午前十一時再び告發人として東京檢事局に召換され當時の模樣につき聽取された

倉元代議士

歲費の盜難

一千四百圓也

【東京十五日發電】十五日午前六時ごろ麻布廣尾三三、代議士倉元要一氏方八疊の居間の用簞笥の抽斗に入れてあつた十四日貰つたばかりの歲費千四百圓の現金が何者にか竊取されてゐるのを女中が發見鳥居坂署に訴へ出た、同署で取調べたところ午前三時ごろ湯殿の潜戶から怪漢が忍び入り竊取逃走せるものゝ如く大きな足跡の外手懸りなく犯人嚴探中である

樂しい五月まつり

日時　五月十八日（日曜日）午前十時より—午後二時半まで

場所　大連運動場—參會參觀隨意

參加團體　市內各社交婦人會、各宗教婦人會、各高女同窓會、各女學校、各小學女生、各公學堂女生、中華青年會女子部等

演技順序　▲五月祭合唱歌全員▲旗體操小學校女生（小學校五年以上女生）▲五月をどり女學校生徒▲をどり中華青年會女學生▲五月をどり小學校女生▲トウインクル、ダンス女學校生徒▲五月をどり一般婦人▲行進（プロネード）婦人女子全部▲君ケ代合唱全員

主催　大連市

後援　滿洲日報社

退職辭令の取り消しを訴願

小學教員が知事を相手取り

【東京十四日發電】東京府下王子第一尋常小學校の元訓導三名は牛込東京府知事を相手取り田中文相に對し退職辭令取り消しの採擇を要求する訴願を提出したこの種の訴願は今回が始めてゞこれに刺戟されて今後も續出するものと見られ判決の結果は非常に注目されてゐる

帝法第一回戰

法政先づ勝つ

【東京十四日發電】帝法野球第一回戰は午後三時天知（球）新田、三宅（壘）審判の下に帝大先攻にて開戰五A對四で帝大惜敗し五時九分閉戰した

バッテリー　帝大（古館、野本、小林）法政（若林、西垣、倉）

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
帝大	1	1	1	1	0	0	0	0		4
法政	0	0	0	1	2	0	0	0	2A	5A

田鳴の紅白競獵會

十八日に開催

大連獵友會主催、本社後援の春季第二回田鳴紅白競獵會は來る十八日三十里堡、西嶋嶼一圓に於て擧行することゝなつたが、參加者は十八日午前一時大連驛に集合、一時二十分發貨物列車にて出發、歸途は十一時四分三十里堡驛發、十二時卅分大連驛着、紅白組合せは第一回のまゝなるも新參加者は抽籤して分け、賞品は勝軍および個人賞一等より五等まで授與、なほ同日は午後六時より信濃町「ミツワ」に於て親睦會を催すことゝなつてゐる、尙獵參加者も振つて出席して貰ひたいと、會費二圓當日持參のこと、因に紅白戰參加者は團體割引の都合があるため大連市對馬町一大連獵友會事務所（電話七三二四番）に通知されたいと

大相撲

初日大賑ひ

優勝旗返還式

【東京十五日發電】大相撲夏場所は十五日初日の蓋を開けた、毎場所吉例の五十錢デーとあつて早朝から好角家が詰めかけ十一時頃までに九分通りの入りだ、今場所から協會の英斷によつて四本柱の檢査役が土俵から下にさがつてしまつたので土俵は邪魔物が無くなつて好評である、仲入り後恒例の挨拶のため入間川總務取締役が協會幹部や大關、關脇を伴つて土俵に現はれ一場の挨拶を朗讀し、それから東方三役が出場して優勝旗返還式を行ひ協會幹部高砂千がこれを受取り式は滯りなく濟んだ

ブラック機

桑港を出發

【サンフランシスコ十四日發電】世界一周飛行の途次日本を訪問したバルチモア、サン新聞社長ヴァリーア、ブラック氏は十四日愛機に乘じてバルチモアに向け當地を出發した

佐世保臺灣間長距離機到着

【臺北十四日發電】今朝四時二十分佐世保を出發した佐世保—臺灣間長距離飛行の海軍機二機は午後三時四十七分クルベー灣に着水した航程七百七十哩所要時間九時間

惠比須神社の緣日を定む

信濃町市場の繁榮策に

大連信濃町市場では敬神の念を喚起し併せて市場繁榮の目的から五月から十月まで毎月二十日、二十一日の兩日を市場構內に祀る惠比須神社の緣日と定めこの兩日を特に現金廉賣デーとし現金買に限り一割引とし夜間は十時まで營業する事にしたが、また特價品その他特價提供品は一定の場所に集めて販賣する事になつた、なほ露店の營業も許し餘興として喜劇我酒家五郎蝶蝶を公開し、紅提灯百五十個と且つ日本麥酒會社から寄贈された岐阜提灯五百個を吊る七同樣日本麥酒會社より寄贈されたビール旗五百筋を市場內廊下店頭等に交叉し大いに景氣を添へやうと云ふ段取りで準備を進めてゐる、惠比須神社の緣日は滿洲で初めての催しであるから兩日は相當賑ふ事であらう

新しい十圓札

【東京十四日發電】日本銀行にては今回新樣式の十圓兌換券を五月二十一日から流通せしむる事となつた

圖畫教科書原畫展覽會

來る十六日から十八日まで毎日午前九時から午後五時まで市內敷島町商工會議所で圖畫教科書原畫展覽會が開らかれるが、會場には東京圖畫教育研究會所藏の圖畫教科書原畫とその他の高級印刷畫八十數點および石川寅治、南薰造、畫伯等の水彩畫、鉛筆畫作品二十數點をも陳列すると

內地畜產界視察

關東廳倉賀野技師は十九日から約一ケ月の豫定で東京及び岩手、山口各府縣に出張岩手縣においては同廳種馬所の種馬三頭、及び農事試驗場用小岩井農場產牡牛一頭を購入し山口縣では肉用種牛調査、東京においては農林省陸軍省にて種馬補給に關する打合せをなす

西久保弘道氏重態

【東京十五日發電】西久保弘道氏は腎臟結石を病み千葉縣東葛飾郡八幡町の自邸で靜養中であるが、十四日重態に陷りリンゲル液およびカンフルの注射を行つてゐる

大俱、工大蹴球戰

來る十八日大連運動場に於て擧行される五月祭終了後午後四時より同所に於て大連俱樂部對旅順工大のラグビー試合を擧行することになつた

バード少將

【パルボア（パナマ）十四日發電】南極探險を終へて歸米の途にあるバード少將は今日當地に到着した

寫眞個人展

近來支那側における寫眞研究熱は加速度的に向上し苟くも新人たる資格の一にさへなつてゐる際、斯界に有名なる居哲隱氏の來連を機會としてその作品百餘點を紹介するため中日文化協會主催のもとに十七日午前十時から午後五時まで同協會內に個人展覽會を催すことになつた參觀隨意

善導大師法要

今年は淨土教の高祖善導大師入滅後一千二百五十年に相當するといふので、大連明照寺住職吉武堯雨師を初め內地淨土宗の僧侶ら十九人が青島北平、奉天等を巡錫し遠忌法要を修する筈であるが、大連の明照寺にては十六日午後一時から法要を營むことになつてゐる

南高家族會

來る十八日午前九時から星ケ浦ホテル前海岸において南高青年團主催にて同郡出身者家族會を催すにつき希望者は市內山縣通チエーリー商會吉田又藏氏宛（電七二一二番）に申込まれたいと、會費は一家族金一圓

日活現代劇臺本より　この母を見よ（三）

崎面座同人構成

映畫キャスト

原作　エリイザ、オルゼシュコ「寡婦マルタ」より
脚色　八木保太郎
監督　田坂具隆
撮影　伊佐山三郎
父　桑木元　南部章三
母　倭子　瀧花久子
子　中子　松平千鶴子
街の女　祥子　入江たか子
乾氏夫人　英百合子
おみつ　佐久間妙子
臼田夫人　津島ルイ子
娘瑠璃子　小西節子
婦人用品店主　常盤操子
よね　島村靜子
滿村　等　大原仁美
大村書店主　村田廣壽

若い美しい『寡婦の新生活』——これだけの言葉で、もう思ひ盡せない程の多岐多難な『女』の運命に同情せねばならない

桑木家——

建物の階上へ通ずる綺麗な階段から、むさくるしい衣服を纏ひ、泥まみれの長靴や地下足袋をはいた幾人かの男が引つきりなしに立ち現はれた。これはさま〴〵な家具を運び出す人足で、その手に運び出される家具——マホガニイ製の食卓、ダマスク織の腕椅子、しやれた衣裳箪笥、大理石の平板を張つたテイ・テイブル、可なり大きな幾つかの姿見、二鉢の夾竹桃——等で飾られた倭子達の家は恐らく小綺麗で樂しい家庭であつたのも昨日の夢となつた。

人足は次から次へと運び出したそして戸口に立つてぢつとしてゐる倭子と、驚きの眼を見張つて居る中子の傍を通つては、門脇に引込んである荷車に積み込んで行つた。

そして或る日

一人の大學生が息せき切つて桑木家へ飛込んで來た。

奧樣、奧さん　早く病院へ　先生が大變です！

平和な一家を突然襲つたこの嵐は冷たい死の手へ……

倭子が病院へ驅つけた時には桑木は冷たい死の手へ……

腦溢血——

桑木の若さと、健康と、勤勉さとは、汲んでも汲んでも汲み盡せない泉だつた筈だのにその泉は思ひの外早く涸れてしまつたのである名醫の診療も、同僚や教へ子の温かい看護も遂に甲斐なく、愛しい妻倭子や、唯一人の愛兒中子に「左様なら——」を告げるひまも無く、淋しく死んで行つたのであつた。

夫の死と共に倭子の家庭的幸福は終りを告げたばかりでなく、彼女の物質生活の基礎をなして居た總てのものも同時に足下から滑り出してしまつたのである。

勿論幾分の貯金が無いでも無かつたが、それが何にならう？　極めて近い明日の糧に過ぎぬではないか。

倭子は品物の一つ〳〵を見送つた。彼女に取つて二度と返つて來ない過去をまざ〳〵と眼の前に現はしてくれる懐しい記念品の數々——奪はれた幸福の物言はぬ證明者、その一つ〳〵に彼女は最後の別れを告げねばならなかつた。

母樣、私達のお家は…

中子は強く母の着物を引張つた時計は三時半を示して居る。電燈は薄暗く、世界は不氣味な深夜の沈默を守つて居た。

中子が云つた彼女達の新らしい家——あまり美しくない下宿屋の二階で、明日への努力を決心した倭子は、よく眠つてゐる中子に母の慈愛を囁いた。

母さんは

倭子は二十五歳、中子は五歳。其の前途には……

【寫眞は瀧花久子松平千鶴子南部章三島村靜子】

きつとナ子ちやんを幸福にしてあげますよ

新刊紹介

▲富士（六月號）　堀部安兵衛の卷（小島政二郎）喜劇王チヤツプリン（寺田鼎）夢の港（益田甫）炎を踏む女（三上於莵吉）朱判の鬼の手（小泉長三）戀車（吉川英治）その頃を偲ぶ（川島芳子夫人其他七氏）その頃を偲ぶ（大錦卯一郎）あけてビツクリ秘藏珍藏玉手箱等（定價五十錢、東京駒込坂下町大日本雄辯會講談社發行）
▲春泥（五月號）　子浦及下田（木村莊八）等（定價廿五錢東京府下北多摩郡東調布下沼部其社發行）
▲フイルハーモニー（五月號）　オネガーの管絃樂曲（菅原明朗）等定價卅錢東京府下在原郡中延新交響樂團發行
▲大乘（五月號）　妙法蓮華經（大谷光瑞）等（定價四十五錢京都紀伊郡堀内村字堀内三夜莊内其社發行）
▲婦人と新社會（五月號）　定價十錢東京四谷南伊賀町其社發行
▲ポケツト型野球記錄帖（小泉葵南著）東京日本橋柳川通河内書店發行
▲蒼空（井上信子第二句集、白石實三編）川柳句集、昭和元年以後の作品「何う座り直して見てもわが姿」等三百餘句を載す流石に滋味のある作品揃ひである（定價八十錢東京落合萬ケ谷柳樽寺川柳會出版部發行）
▲航空時代（五月創刊號）　航空時代の誕生（阪谷芳郎）時運の要望に合致（小泉又次郎）其他大毎與村總務、東朝美土路主幹、下村副社長、緒方編輯局長、西野空輸社長始め各專門家執筆、用紙も體裁も相當に好い（定價五十錢東京銀座皆川ビル其社發行）
▲婦人運動（五月號）　溫情主義の破綻（奧むめお）等（定價二十錢東京市牛込本村町職業婦人社發行）
▲作品（五月號）　ルウベンスの僞畫（堀辰雄）等（定價三十錢東京神田通新石町其社發行）
▲農民闘爭（五月號）　定價二十錢東京小石川小日向臺町マルクス書房發行
▲青年學生愛誦集　校歌、寮歌、軍歌、唱歌、民謠等日本各地で愛誦されてゐる通俗的な歌を集めたもの（定價卅錢東京神田中猿樂町大光館書店發行）

滿日俳壇　募集規定

次回課題「雷」「毛虫」「薔薇」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切五月二十日▲封筒に「滿日俳記」と明記▲宛先東京市牛込區若松町八二島田青峰

滿日勝繼聯珠（七）

中央聯珠社大連支部第一次戰譜
第八回（その二）
先番　高橋桂山　上木三山
△定先隨意打六號桂新月【四段井村永治講評】

本局は前局と對比して含味されたい。黑（五）は正着でよろしい。白（六）は後手の常套手段たる笹手策である。乙にて三號嵐月、四號水月、五號[illegible]たも選されたことになつた。[illegible]（六）に對し黑（七）の組立は何[illegible]
▲感想【上[illegible]白く】（六）は「イ」叉は「ロ」も[illegible]面白いと思つたが、桂山君では[illegible]う甘く乘つても吳れまいし、結局常套な手段に落ちた